

# Clavinova®

---

取扱説明書

CLP-480

組み立て説明については巻末をご参照ください。

# 安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してごくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

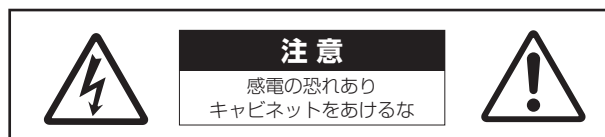
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

## ■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

# 警告

## 電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コード / プラグは、必ず付属のものを使用する。

ほかの電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

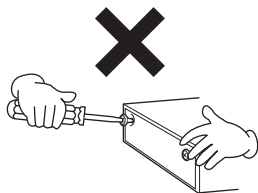
## 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になりません。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 電源 / 電源コード



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかがをしったりする原因になります。



必ず実行

この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。

この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がかがをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。また、キーカバーで指などはさまないように注意する。

禁止

お客様がけがをするおそれがあります。



キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

禁止

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

禁止

本体が破損したり、お客様やほかの方々けがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

禁止

聴覚障害の原因になります。



## イス



不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様やほかの方々けがをする原因になります。

禁止



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

禁止

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



イスには二人以上ですわらない。

禁止

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



イスにすわったままでイスの高さを調節しない。

禁止

高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がけがをしたりする原因になります。



イスのネジを定期的に締め直す。

必ず実行

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。

必ず実行

イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

## 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷、誤動作、およびデータの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- ・ つや出し仕上げのモデルの場合、本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てないでください。表面にひびが入ったり、はがれたりする原因になります。
- ・ 極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

### ■ データの保存に関する注意

- ・ 楽器本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB記憶装置/コンピューターなどの外部機器に保存してください。
- ・ 保存したUSB記憶装置の万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSB記憶装置にバックアップとして保存されることをおすすめします。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ・ ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・ 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。
- ・ この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この楽器は、以下の規格に対応しています。

#### GMシステムレベル2

代表的な音色配列フォーマットの1つである「GMシステムレベル1\*」を、さらに表現力を高める機能にまで拡張したフォーマットです。

\*多くのMIDI機器がGMシステムレベル1に対応しており、市販のミュージックデータの多くがGMシステムレベル1で作られています。

#### XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。CLP-480のXG音色グループ内の音色で録音した演奏データの音色配列は「XG」になります。

#### GS

ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハのXGフォーマットと同様、GMシステムレベル1の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。

このたびは、ヤマハクラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。  
この楽器の優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。  
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

## 付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)
- ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)
- 保証書
- ユーザー登録のご案内  
ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。
- 電源コード
- ヘッドフォン
- 高低自在イス

## 取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

### ■ 冊子マニュアル



#### 取扱説明書(本書)

クラビノーバの機能や使いかたを説明しています。

#### • 基本編

ご使用前の準備について説明しています。簡単な準備だけでピアノ演奏を楽しめます。さっそく音を出してみましょう。

#### • 応用編

内蔵曲を再生したり、演奏を録音するなど、練習に役立つ機能について説明しています。

#### • 詳細設定編

クラビノーバをさらに便利に使いこなすための細かい設定について説明しています。

#### • 付録

メッセージ一覧や音色一覧(詳細版)などの資料を掲載しています。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

### ■ PDFマニュアル



#### データリスト

エフェクトやMIDIに関する資料が掲載されています。



#### MIDI入門

MIDIについての詳細や使いかたを説明しています。

ヤマハマニュアルライブラリーのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「CLP-480」など)を入力して「検索」をクリックします。

ヤマハマニュアルライブラリー  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

# 特長

## グランドピアノの真の表現力「リアルグランドエクスプレッション(RGE)音源」

---

奥行のあるコンサートグランドピアノを演奏するような弾きごたえと表現力が楽しめる音源です。いっそうクリアに響く音色はもちろん、スタッカートで弾いたときには歯切れのいい音を、ゆっくりと指を離したときには長く余韻を残す音を表現できる「スムーズリリース」を新搭載。ピアノ演奏の本質を徹底的に追求し、グランドピアノらしい豊かな表現力を生んでいます。

## グランドピアノのような音の響きを実現「GPサウンドボードスピーカー」

---

GPサウンドボードスピーカーとは、本体の背面に付いているスピーカーから音を出して、グランドピアノの響板のように音の響きや広がり感を演出する機能です。

## 「ナチュラルウッド(NW)鍵盤象牙調仕上げ」 + 「リニアグレードハンマー」

---

象牙調仕上げ鍵盤は、象牙に近い適度な吸湿性があるので、指が滑りにくく、しなやかなタッチ感が得られます。温かい色合いも魅力です。また、アコースティックピアノの鍵盤と同様に白鍵の内側には木材を使用し、さらに、すべての鍵盤のハンマーの重さが違う(低音部が重く、高音部は軽い)リニアグレードハンマーを採用していますので、グランドピアノのような重量感のある弾き心地が楽しめます。グランドピアノと同様にペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

## トライ・アンプシステム

---

トライ・アンプシステムとは、高、中、低域のスピーカーにひとつずつアンプを搭載するシステムです。これにより、各スピーカーから出る音がクリアになると同時に、音域ごとの音量バランスがより最適に調整され、厚みと広がりのあるサウンドをお楽しみいただけます。

## USBフラッシュメモリーからオーディオファイルを再生/録音

---

USBフラッシュメモリーなど、USB記憶装置に入っているオーディオファイル(.wav) を楽器で再生できます。また、ご自分の演奏をオーディオファイル(.wav)としてUSBフラッシュメモリーなどのUSB記憶装置に録音することもできるので、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送し、演奏を聞くことができます。



# 目次

安全上のご注意.....	2
注記(ご使用上の注意) .....	6
付属品(お確かめください).....	7
取扱説明書について.....	7
特長.....	8

## 基本編 10

各部の名前と機能.....	10
ピアノとして演奏する.....	12
電源を入れる.....	12
譜面立てを使う.....	13
譜面止めを使う.....	14
画面の明るさを調整する[CONTRAST](コントラスト).....	14
音量を調節する[MASTER VOLUME](マスターボリューム)..	14
ヘッドフォンを使う.....	15
響板効果をかける[S. BOARD SPEAKER] (GPサウンドボードスピーカー).....	15
ペダルを使う.....	16
メトロノームを使うMETRONOME [ON/OFF].....	17
タッチ感度を変える.....	17
楽器の基本操作.....	18
クラビノーバのお手入れ.....	19

## 応用編 20

いろいろな楽器音(音色)で演奏する.....	20
音色を選んで弾く.....	20
音色デモ曲を聞く.....	21
音に効果をかける(プリリアンス/リバープ/コーラス).....	23
2つの音色を重ねて鳴らす(デュアル).....	24
鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット).....	25
曲(ソング)を再生する、練習する.....	27
再生する.....	27
再生に関する便利な機能.....	30
右手または左手パートだけを再生する(MIDIソング).....	31
繰り返し再生する(MIDIソング).....	32
演奏を録音する.....	33
録音の方法.....	33
パートを指定しない録音(MIDI/オーディオ形式).....	34
パートを指定する多重録音(MIDI形式).....	36
そのほかの録音方法とテクニック.....	37
ソングファイル进行操作する[FILE/SONG SETTING] (ファイル/ソングセッティング).....	41
ファイル画面の基本操作.....	42
ソングを削除する「Delete」(デリート).....	43
ソング名を変更する「Rename」(リネーム).....	43
ソングをコピーする「Copy」(コピー).....	44
ソングを移動する「Move」(ムーブ).....	45
USB記憶装置にフォルダーを作る 「MakeFolder」(メイクフォルダー).....	45
USB記憶装置をフォーマット(初期化)する 「Format」(フォーマット).....	46

MIDIソングを再生しながらオーディオソングに変換する 「MIDItoAUDIO」(ミディトゥー オーディオ).....	47
USB記憶装置の容量を表示する 「DriveProperty」(ドライブ プロパティ).....	47
USB記憶装置を接続したとき、ソングを自動呼び出しする 「SongAutoOpen」(ソング オート オープン).....	48
表示文字の種類を切り替える 「CharacterCode」(キャラクターコード).....	48
他の機器と接続する.....	49
端子について.....	49
USB記憶装置を接続する.....	51
コンピューターと接続する.....	52
外部MIDI機器と接続する.....	53

## 詳細設定編 54

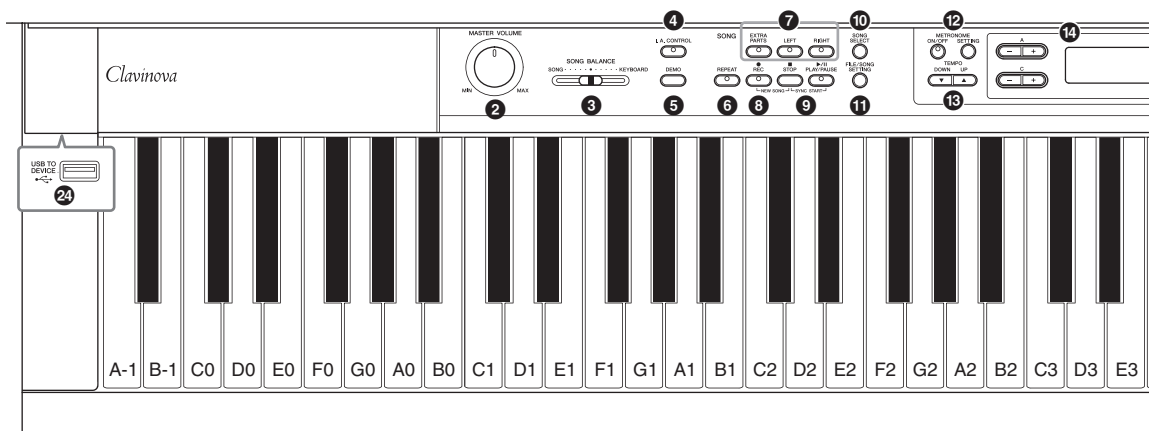
設定項目の一覧表.....	54
ソングの録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング) .....	57
メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING](メトロノームセッティング).....	60
音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING](ボイスセッティング).....	61
音響効果の詳細設定.....	67
その他の詳細設定[FUNCTION](ファンクション).....	68

## 付録 75

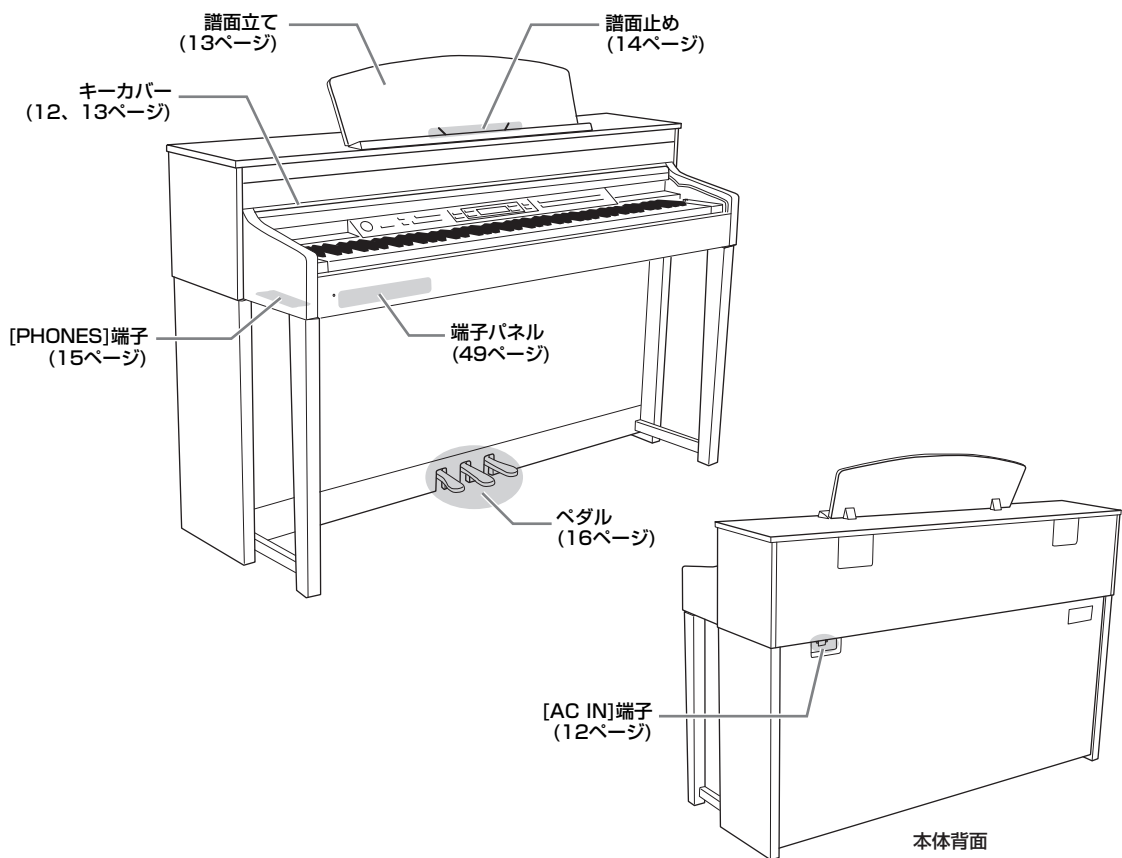
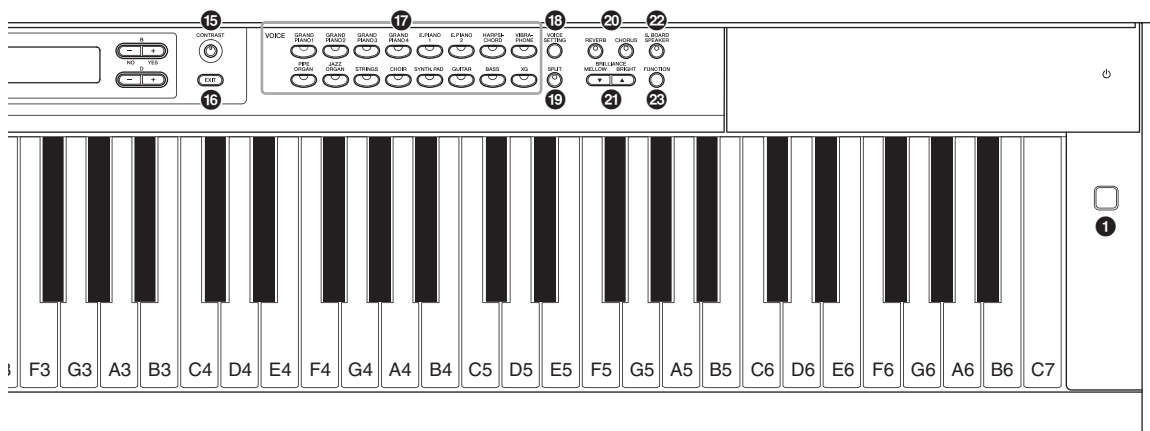
音色一覧(詳細版).....	75
[VOICE SETTING]で設定できるエフェクトタイプ.....	77
XG音色一覧.....	78
XGドラムキット一覧.....	82
メッセージ一覧.....	84
困ったときは.....	88
クラビノーバを組み立てる.....	89
仕様.....	93
別売品のご紹介.....	94
別売ミュージックデータ紹介.....	95
ミュージックデータのご使用にあたって.....	95
索引.....	96
保証とアフターサービス.....	99

## 各部の名前と機能

### 操作パネル



- ① [  $\odot$  ]電源スイッチ ..... 13ページ
- ② [MASTER VOLUME]ダイアル ..... 14ページ  
マスター ボリューム  
 楽器全体の音量を調節します。
- ③ [SONG BALANCE]スライダー ..... 40ページ  
ソング バランス  
 曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調整します。
- ④ [I. A. CONTROL]ボタン ..... 14ページ  
アイエー コントロール  
 音量の大小に合わせて、音質を自動的に補正します。
- ⑤ [DEMO]ボタン ..... 22ページ  
デモ  
 音色グループごとのデモ曲を再生します。
- ⑥ [REPEAT]ボタン ..... 32ページ  
リピート  
 1曲を繰り返し再生したり、指定の範囲を繰り返し再生したりします。
- ⑦ [RIGHT]、[LEFT]、[EXTRA PARTS]ボタン ..... 31、36ページ  
ライト レフト エキストラ パーツ  
 ソングの特定のパートをオン/オフします。
- ⑧ [REC]ボタン ..... 33ページ  
レコード  
 ご自身の演奏を録音します。
- ⑨ [PLAY/PAUSE]、[STOP]ボタン ..... 28ページ  
プレイポーズ ストップ  
 楽器本体に入っているピアノソング50曲/録音した演奏を、再生したり停止したりします。
- ⑩ [SONG SELECT]ボタン ..... 27、38ページ  
ソング セレクト  
 再生や編集する曲を選びます。
- ⑪ [FILE/SONG SETTING]ボタン ..... 41ページ  
ファイル ソング セッティング  
 ソングファイルの操作や、ソングの録音/再生に関する設定を行ないます。
- ⑫ METRONOME [ON/OFF]、METRONOME [SETTING]ボタン ..... 17、60ページ  
メトロノーム オン オフ  
メトロノーム セッティング  
 メトロノームを鳴らしたり、拍子などを設定したりします。
- ⑬ TEMPO [DOWN][UP]ボタン ..... 17ページ  
テンポ ダウン アップ  
 曲やメトロノームのテンポ(速さ)を設定します。
- ⑭ A~D [-][+]ボタン、画面 ..... 18ページ  
 各ボタンの近くに表示されている項目や数値を、選択したり設定したりするボタン群です。
- ⑮ [CONTRAST]つまみ ..... 14ページ  
コントラスト  
 画面の明るさを調整します。
- ⑯ [EXIT]ボタン ..... 18ページ  
エグジット  
 画面を音色表示(基本画面)に戻します。
- ⑰ 音色グループボタン ..... 20ページ  
 音色を選びます。
- ⑱ [VOICE SETTING]ボタン ..... 61ページ  
ボイス セッティング  
 音色や効果に関する詳細設定ができます。
- ⑲ [SPLIT]ボタン ..... 25ページ  
スプリット  
 鍵盤を左右の領域に分けて、別々の音色で演奏できます。
- ⑳ [REVERB]、[CHORUS]ボタン ..... 23ページ  
リバーブ コーラス  
 音に残響(リバーブ)や広がり感(コーラス)を付けます。
- ㉑ BRILLIANCE [MELLOW][BRIGHT]ボタン ..... 23ページ  
ブリリアンス メロ  
 音の明るさを調節します。
- ㉒ [S. BOARD SPEAKER]ボタン ..... 15ページ  
サウンド ボード スピーカー  
 GPサウンドボードスピーカーの効果オン/オフします。
- ㉓ [FUNCTION]ボタン ..... 68ページ  
ファンクション  
 タッチ感度や音の高さの微調整(チューニング)、MIDIの設定などの詳細設定ができます。
- ㉔ [USB TO DEVICE]端子 ..... 51ページ  
トウー デバイス  
 USB記憶装置を接続して、録音した曲を保存したり、記憶装置に入っているデータを楽器本体で再生します。



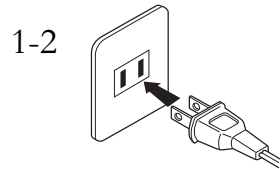
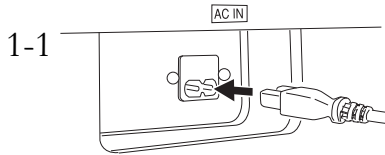
# ピアノとして演奏する

この楽器では、ペダルを使ってアコースティックピアノと同様の演奏ができます。また、ピアノ演奏に役立つメトロノーム機能も紹介しています。付属の「ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)」をご活用ください。

## 電源を入れる

### 1. 電源コードを接続する

最初に本体側のプラグを<sup>エーシーイン</sup>[AC IN]端子に差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。[AC IN]端子の位置は「各部の名前と機能」(11ページ)でご確認ください。

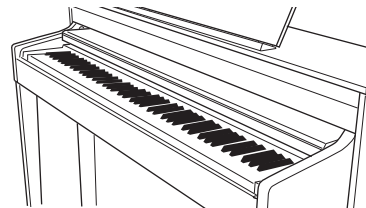


### 2. キーカバーを開ける

少し持ち上げて奥へ押し込むと、操作パネルが見え、キーカバーが完全に開いた状態になります。鍵盤演奏だけでなく、操作パネルを使って、音色を選んだり、ソングを再生/録音したりできます。



鍵盤だけが見え操作パネルが隠れた状態で、キーカバーを止めることもできます。アコースティックピアノのような感覚でお使いいただけます。



#### ⚠ 注意

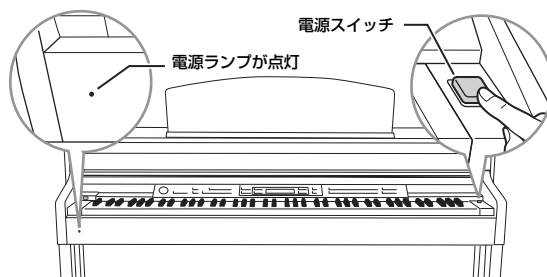
- キーカバーを開閉するときは、両手でゆっくりと行なってください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの縁と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。
- キーカバーを開けると、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

#### 注記

[USB TO DEVICE]端子に別売のUSB記憶装置を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB記憶装置を接続したままキーカバーを閉じると、記憶装置がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。

### 3. [⏻]電源スイッチを押して、電源を入れる

本体パネル中央の画面が表示が現れ、本体前面左の電源ランプが点灯します。



### 4. [MASTER VOLUME] マスターボリュームダイヤルで音量を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら調節してください。詳しくは、音量を調節する[MASTER VOLUME](14ページ)をご参照ください。

### 5. 楽器を使い終わったら、[⏻]電源スイッチを押して電源を切る

画面の表示が消え、本体前面左の電源ランプも消灯します。



**注意**

電源が切れた状態でも微電流が流れています。楽器を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

### 6. キーカバーを閉める

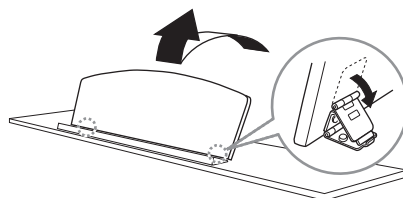
手前に引いて、静かに降ろします。



## 譜面立てを使う

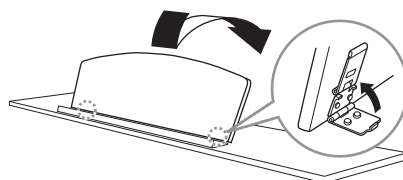
### 立てるとき

1. 譜面立てを、止まる位置まで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を下ろします。
3. 金具が固定される位置まで、譜面立てを戻します。



### 倒すとき

1. 譜面立てを、止まる位置まで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を上げます。
3. 譜面立てに手を添えて、ゆっくり戻します。



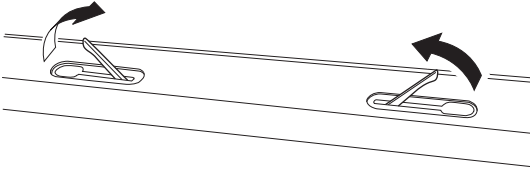
**注意**

金具が固定されていない位置で譜面立てを使用したり、放置したりしないでください。また、譜面立てを立てたり倒したりするときは、途中で手を離さないでください。

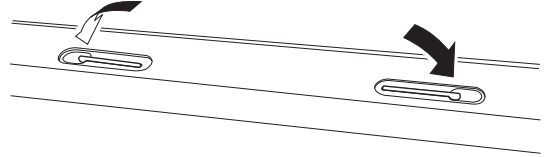
## 譜面止めを使う

譜面立てに置いた楽譜のページを止めることができます。

### 使うとき

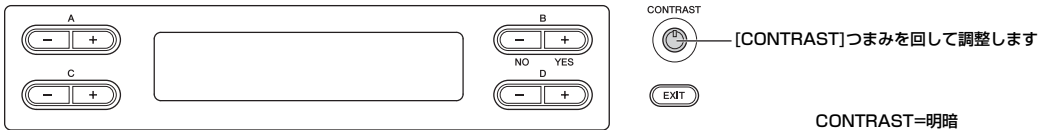


### しまうとき



## 画面の明るさを調整する[CONTRAST](コントラスト)

本体パネル中央の画面の右横にある[CONTRAST]つまみを回して、画面の明るさを調整します。



## 音量を調節する[MASTER VOLUME](マスターボリューム)

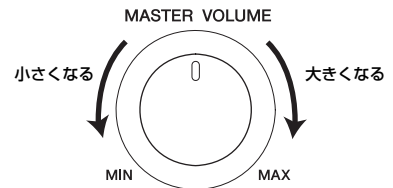
本体パネル左の[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。

MASTER VOLUME=全体の音量

[MASTER VOLUME]ダイヤルを動かすと、[PHONES]端子やAUX OUT端子の出力レベルも変更されます。

### ⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



## I. A. コントロール(インテリジェント アコースティック コントロール)

インテリジェント アコースティック コントロール

I. A. コントロール (Intelligent Acoustic Control)とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的に音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。

I. A. CONTROL



[I. A. CONTROL]ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。

オンにすると、ランプが点灯します。I. A. コントロールは、この楽器のスピーカーからの出力音のみに有効です。

I. A. コントロールの効果のかけ具合を設定することもできます。設定方法は67ページの「音響効果の詳細設定」をご覧ください。

## ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンを<sup>フォンス</sup>[PHONES]端子に接続して使います。[PHONES]端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。

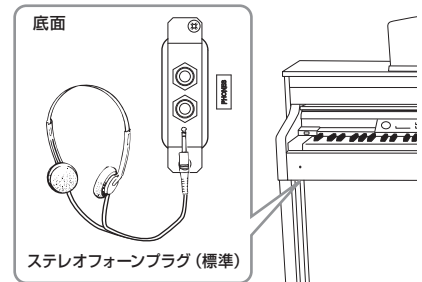
1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。

### ⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

### 別売ヘッドフォン

ヤマハヘッドフォン HPE-160

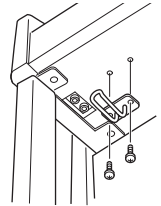


## ヘッドフォンハンガー

付属のヘッドフォンハンガーを取り付けると、本体にヘッドフォンを掛けられます。付属のネジ(4×10mm)2本で、図のように取り付けてください。

### 注記

ヘッドフォンハンガーにヘッドフォン以外のものを掛けしないでください。本体またはヘッドフォンハンガーが破損する場合があります。



## 響板効果をかける[S. BOARD SPEAKER](GPサウンドボードスピーカー)

S. BOARD SPEAKER (GP Soundboard Speaker)とは、<sup>ジービー サウンドボードスピーカー</sup>本体の背面に付いているスピーカーから音を出して、グランドピアノの響板のように音の響きや広がり感を演出する機能です。



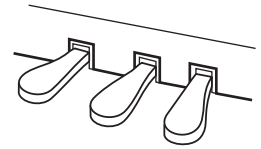
[S. BOARD SPEAKER]ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。  
オンにすると、ランプが点灯します。

GPサウンドボードスピーカーの効果を最適にするためには、本体の背面を壁から1~2cm離れたところへ設置してください。

GPサウンドボードスピーカーの効果のかかり具合を設定することもできます。設定方法は67ページの「音響効果の詳細設定」をご覧ください。

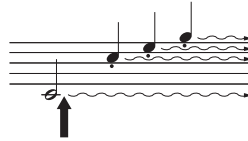
## ペダルを使う

この楽器には、3本のペダルが付いています。



### 右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音が長く響きます。また、グランドピアノの音色を選択して踏んだ場合には、グランドピアノの響板や弦の共鳴効果(サステインサンプリング)が付きます。共鳴効果のかかり具合は、[FUNCTION] (71ページ)で調節できます。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

#### NOTE

どのグランドピアノ音色にサステインサンプリングが付くかは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)を確認してください。

#### NOTE

[VOICE SETTING]の「RPedalFunc」/「CPedalFunc」/「LPedalFunc」を使って、各ペダルへ別の機能を割り当てることができます(65ページ)。

### ハーフペダル機能

ダンパーペダルを踏んでいない状態と、完全に踏み込んだ状態の中間の状態を「ハーフペダル」といい、グランドピアノのダンパーが弦に触れるか触れないかの微妙な状態を指します。この楽器のダンパーペダルはハーフペダルに対応しており、どの程度踏み込んだらハーフペダル効果がかかるか(ハーフペダルポイント)を、ファンクション(70ページ)で設定できます。

### GPレスポンスダンパーペダル

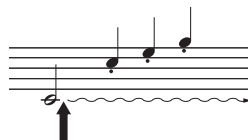
この楽器のダンパーペダルは、ペダルを踏んだときの感覚をよりグランドピアノに近づけたGPレスポンスダンパーペダルです。ハーフペダルのポイントを体感しやすく、ハーフペダル効果をかけやすいのが特長です。楽器の設置場所など状況によって、踏み心地が異なる場合があるので、必要に応じてハーフペダルポイントを好みの状態に設定してください(70ページ)。

#### NOTE

ペダルには、工場出荷時にビニール袋をかぶせてあります。GPレスポンスダンパーペダルの効果を最大にするには、ビニール袋を外してください。

### まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

#### NOTE

「PIPE ORGAN」、 「JAZZ ORGAN」、 「STRINGS」、 「CHOIR」の音色および「XG」の一部の音色では、まん中のペダルを踏むと、音が減衰せずに持続して鳴り続けます。

### まん中のペダルと左のペダルのスタート/ストップ機能切り替え

[FUNCTION]の「PedalPlay/Pause」で、まん中のペダルか左のペダルをパネルの[PLAY/PAUSE]ボタンと同じ機能に切り替えることができます(70ページ)。

### 左のペダル(ソフトペダル)

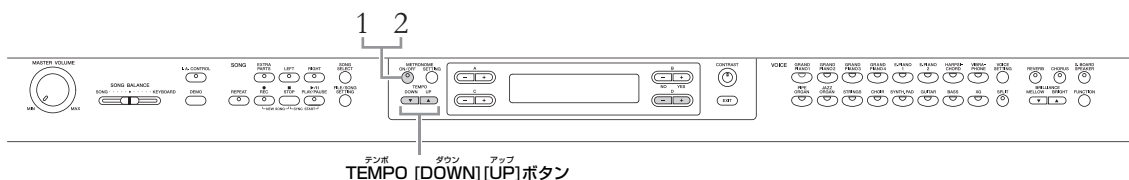
このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんが、効果をかけたい場合は、ペダルを踏んでから鍵盤を弾きます。

ただし、「Jazz Organ」と「Mellow Organ」音色を選ぶとロータリースピーカーの回転の速い/遅いの切り替え(RotarySpeed)、 「Vibraphone」音色を選ぶとビブラートのオン/オフ(VibeRotorOnOff)機能に切り替わります(64ページ)。



## メトロノームを使うMETRONOME [ON/OFF]

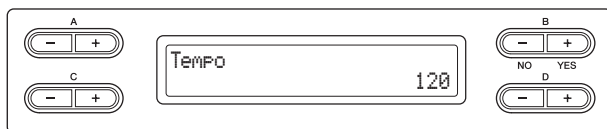
この楽器は、メトロノーム(ピアノの練習でよく使われる正確なテンポを刻む道具)を備えています。ご利用ください。



### 1. <sup>メトロノーム</sup>METRONOME [ON/OFF]ボタンを押して、メトロノームを鳴らす

#### テンポを調節する

テンポ ダウン アップ  
TEMPO [DOWN]または[UP]ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。



TEMPO [DOWN]/[UP]またはD [-]/[+]ボタンでテンポ(5~500: 1分間の拍数)を調節します。TEMPO [DOWN]と[UP]またはD [-]と[+]ボタンを同時に押すと、テンポは初期設定(120)に戻ります。

エグジット  
[EXIT]ボタンを押すと音色表示に戻ります。

### 2. METRONOME [ON/OFF]ボタンを押して、メトロノームを止める

#### メトロノームの詳細設定

METRONOME [SETTING]ボタンで、拍子、メトロノームの音量、メトロノームの音色を設定できます(60ページ)。

## タッチ感度を変える

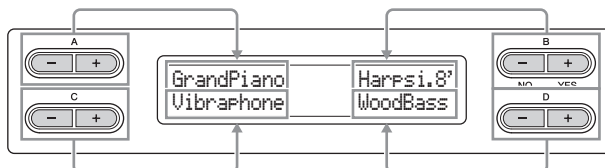
鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付きかた(タッチ感度)を変えられます。使う音色や演奏する曲、好みによって使い分けてください。設定方法は68ページの「その他の詳細設定[FUNCTION]」をご覧ください。

## 楽器の基本操作

この楽器にはいろいろな機能があり、機能ごとに詳細設定ができます。難しそうに見えますが、画面の見かたと基本操作がわかれば、操作は簡単です。

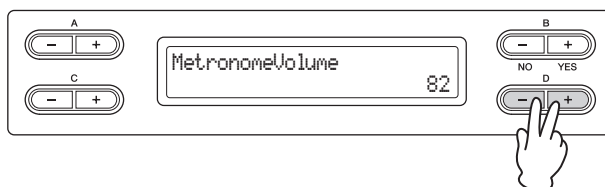
### 設定項目を選ぶ/値を設定する

A [-][+]~D [-][+]ボタンを押して、項目を選んだり値を設定したりします。画面の表示位置とA [-][+]~D [-][+]ボタンの位置が対応しているので、どのボタンを押せばいいかひと目でわかります。



### 設定を初期設定の値に戻す

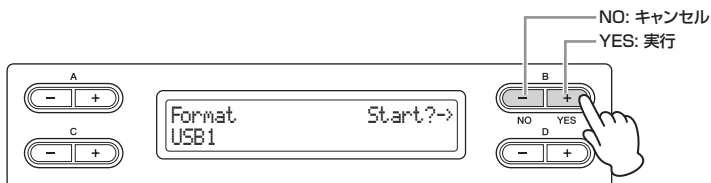
いろいろ値を変えてきたものの、初期設定の値に戻りたいときは、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押します。



A [-][+]~D [-][+]ボタンのほかに、これらと同じ形をしているテンポボタンやブリリアンスボタンも、左右同時に押すと初期設定の値に戻ります。

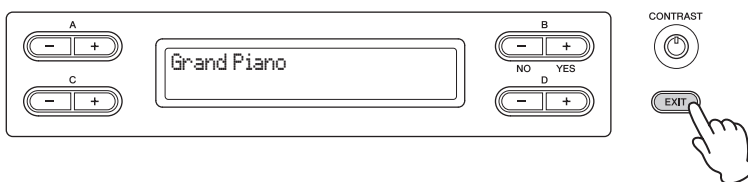
### 設定を実行/キャンセルする

画面右上に質問形式の表示が出たら、B [+ (YES)]/B [- (NO)]ボタンを押して実行/キャンセルします。



### 音色表示(基本画面)に戻る

画面での設定やメッセージの確認が終わったら、エグジットボタンを押して音色表示に戻ります。



## クラビノーバのお手入れ

クラビノーバをいつまでもきれいに保つため、下記のお手入れを定期的に行なうことをおすすめします。

### ■ 本体やイスのお手入れ

- 乾いたガーゼのような柔らかい布や、水を固く絞った柔らかい布で拭いてください。  
鍵盤の頑固な汚れには「エレクトーン・クラビノーバ用鍵盤クリーナー」をお使いください。

注記 ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変色/変質の原因になります。

(つや出し仕上げのモデルの場合)本体にほこりや手あかが付いた場合は、乾いたガーゼのような柔らかい布で軽くふき取ってください。強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。つやを保つためには、ユニコンをピアノクロスに含ませてムラなく拭き、別の布で伸ばすように磨き上げます。ユニコンは楽器店などで買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

- 本体やイスのネジは、定期的に締め直してください。

### ■ イスの高さ調節

ハンドルを時計回りに回すと高くなります。(ご購入時には、ハンドルは固めに設定されています。)

### ■ ペダルのお手入れ

ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様、経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などで買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

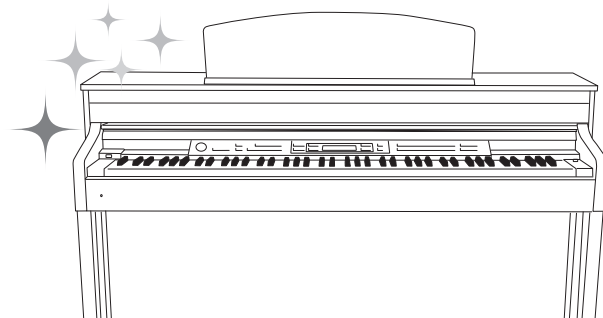
### ■ 調律

調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

### ■ 運搬方法

通常の荷物と一緒に運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立て前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いて運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。

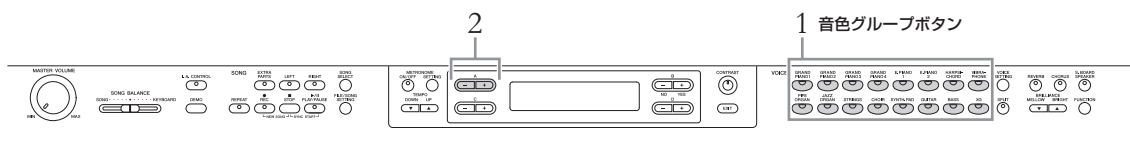
NOTE GPサウンドボードスピーカーの効果を最適にするためには、本体の背面を壁から1~2cm離れたところへ設置してください。



## いろいろな楽器音(音色)で演奏する

ピアノのほかに、オルガンや弦楽器などの楽器音(音色)を選んで弾くことができます。

### 音色を選んで弾く



### 1. 音色グループボタンを押して、音色グループを選ぶ

### 2. A [-]/[+]ボタンで音色を選ぶ

下記の音色一覧を参考にしてください。

### 3. 鍵盤を弾いてみましょう

#### 音色一覧

音色グループ	音色番号	音色名	
GRAND PIANO1 (グランドピアノ1)	1	Grand Piano	グランドピアノ
	2	Ballad Grand	バラードピアノ
	3	Rock Piano	ロックピアノ
	4	HonkyTonk Piano	ホンキートンクピアノ
GRAND PIANO2 (グランドピアノ2)	5	Mellow Grand	メローグランド
	6	Warm Grand	ウォームグランド
GRAND PIANO3 (グランドピアノ3)	7	Bright Grand	ブライトグランド
	8	Pop Grand	ポップグランド
GRAND PIANO4 (グランドピアノ4)	9	Live Grand	ライブグランド
	10	Dynamic Grand	ダイナミックグランド
E.PIANO1 (エレクトリックピアノ1)	11	DX E.Piano	DXエレクトリックピアノ
	12	Synth Piano	シンセピアノ
E.PIANO2 (エレクトリックピアノ2)	13	Stage E.Piano	ステージエレクトリックピアノ
	14	Vintage E.Piano	ビンテージエレクトリックピアノ
HARPSICHORD (ハープシコード)	15	Harpsichord 8'	ハープシコード8'
	16	Harpsichord 8'+4'	ハープシコード8'+4'
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	17	Vibraphone	ビブラフォン
	18	Marimba	マリンバ
	19	Celesta	チェレスタ
PIPE ORGAN (パイプオルガン)	20	Pipe Organ Principal	パイプオルガンプリンシパル
	21	Pipe Organ Tutti	パイプオルガントutti
	22	Pipe Organ Flute 1	パイプオルガンフルート1
	23	Pipe Organ Flute 2	パイプオルガンフルート2
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	24	Jazz Organ	ジャズオルガン
	25	Rotary Organ	ロータリーオルガン
	26	Mellow Organ	メローオルガン

VOICE(ボイス)=音色

音色の特徴をつかむには

音色グループごとのデモ曲を聞いたり(21ページ)、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)で各音色の特徴を参照したりしてください。

#### NOTE

音色によっては、鍵盤を弾く強さに応じた音の強弱(タッチ感度: 17ページ)が付かないものもあります。どの音色にタッチ感度が付くかは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)の「タッチレスポンス」欄を確認してください。

音色グループ	音色番号	音色名	
STRINGS (ストリングス)	27	Strings	ストリングス
	28	Synth Strings	シンセストリングス
	29	Slow Strings	スローストリングス
CHOIR (クワイア)	30	Choir	クワイア
	31	Slow Choir	スロークワイア
	32	Scat	スキヤット
SYNTH.PAD (シンセパッド)	33	Synth Pad 1	シンセパッド1
	34	Synth Pad 2	シンセパッド2
GUITAR (ギター)	35	Nylon Guitar	ナイロンギター
	36	Steel Guitar	スチールギター
BASS (ベース)	37	Wood Bass	ウッドベース
	38	Bass & Cymbal	ベース&シンバル
	39	Electric Bass	エレクトリックベース
	40	Fretless Bass	フレットレスベース
XG		XG音色	XG音色

\*XG音色については78ページの「XG音色一覧」をご覧ください。

### 手順1でXG音色グループを選んだ場合

XG音色グループには非常に多くの音色があるため、さらにグループ分けしています。20ページの手順1～2でも音色選択はできますが、下記操作をすれば、より効率よく音色を選択できます。

1. A [-][+]ボタンを同時に押して、XG音色グループおよびXG音色を2行表示させます。
2. A [-]/[+]ボタンで、グループを選びます。
3. C [-]/[+]ボタンで、XG音色を選びます。

### XG (エックスジー)

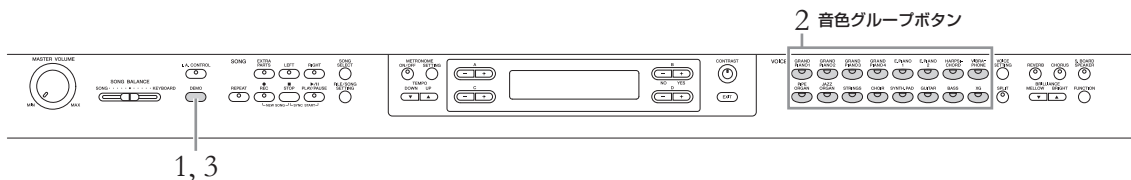
「GMシステムレベル1」(6ページ)をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

## 音色デモ曲を聞く

音色グループごとに1曲ずつ、音色の特徴がわかるデモ曲が入っています。

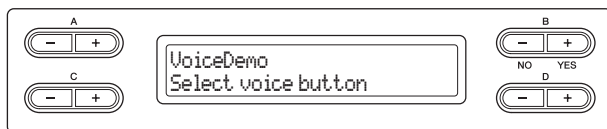
音色グループ	曲名	作曲者
GRAND PIANO1 (グランドピアノ1)	ワルツ 第2番 「華麗なるワルツ」	F. F. ショパン
GRAND PIANO2 (グランドピアノ2)	6つの小品 第2番 間奏曲 op.118-2	J. ブラームス
HARPSICHORD (ハープシコード)	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV.1058	J. S. バッハ
PIPE ORGAN (パイプオルガン)	オルガン小曲集 「神のひとり子なる主キリスト」 BWV.601	J. S. バッハ

上記音色グループのデモ曲は、既存の曲を編集/抜粋したものです。その他の音色グループのデモ曲は、ヤマハのオリジナルです。  
(© 2011 Yamaha Corporation)



## 1. [DEMO]ボタンを押して、デモ曲モードに入る

画面に「Voice Demo」が表示されます。



音色グループボタンのランプが順次点滅します。

## 2. 聞きたいデモ曲の音色グループボタンを押して、再生をスタートする

再生をストップするまで、音色グループボタンの左上から順にデモ曲が連続して再生されます。

## 3. [STOP]ボタンを押して、再生をストップする

デモ曲モードも抜けます。

## ピアノデモ(各サンプリング技術)やGPサウンドボードスピーカーを聞き比べる

### 1. [DEMO]ボタンを押してから、A [+]ボタンを押します。

画面に「Piano Demo」が表示されます。

### 2. 聞きたいピアノデモの割り当てられた音色グループボタンを押して、再生をスタートする

ピアノデモは、下記の表のように音色グループボタンに割り当てられています。

### 3. [DEMO]ボタンを押して、デモ曲をストップする

[EXIT]や[STOP]ボタンでストップすることもできます。

サンプリング技術		音色グループボタン	
ピアノデモ	ステレオサンプリング	GRAND PIANO1	
	モノサンプリング	GRAND PIANO2	
	サステインサンプリング	アリ(有効)	GRAND PIANO3
		ナシ(無効)	GRAND PIANO4
	キーオフサンプリング	アリ(有効)	E.PIANO1
		ナシ(無効)	E.PIANO2
ストリングレゾナンス	アリ(有効)	HARPSICHORD	
	ナシ(無効)	VIBRAPHONE	
GPサウンドボードスピーカー	アリ(オン)	PIPE ORGAN	
	ナシ(オフ)	JAZZ ORGAN	

#### モードとは

ある機能を実行できる状態を意味します。ここでは、デモ曲を再生できる状態のことを「デモ曲モード」と呼んでいます。

#### NOTE

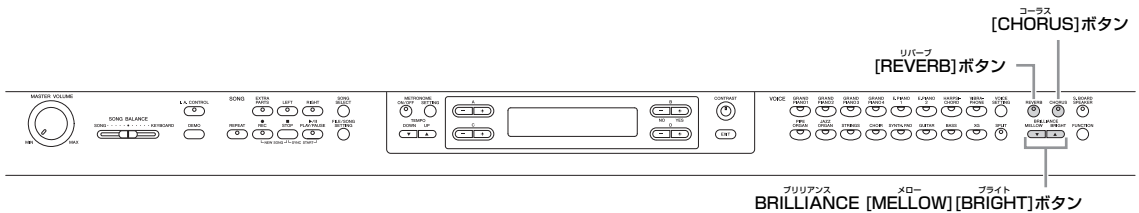
GPサウンドボードスピーカーについては、15ページをご確認ください。

#### NOTE

各サンプリングの説明や、どの音色にサンプリングがかけられるかは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)を確認してください。また、サンプリングのかけ具合を設定する方法は、70~71ページをご参照ください。

## 音に効果かける(ブリリアンス/リバーブ/コーラス)

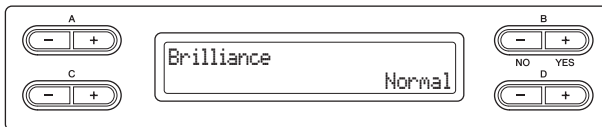
この楽器には、鍵盤での演奏音に3つの効果が用意されています。効果をかけると、演奏表現に幅を出すことができます。



### ブリリアンス

音の明るさを調節します。設定は、すべての音色に共通です。

ブリリアンス                      メロー                      ブライト  
BRILLIANCE [MELLOW][BRIGHT] ボタンを押して、明るさのタイプを選びます。



- Mellow 1~3 (メロー 1~3)  
柔らかくまろやかな音になります。1、2、3の順で音の柔らかさが増します。
- Normal (ノーマル)  
標準的な明るさです。
- Bright 1~3 (ブライツ 1~3)  
明るい音になります。1、2、3の順で音の明るさが増します。

### リバーブ

音に残響を加えます。コンサートホールなどで演奏しているような臨場感が味わえます。オン/オフは、すべての音色に共通です。

リバーブ  
[REVERB] ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。  
「GRAND PIANO 1」～「GRAND PIANO 4」の音色では、リバーブがオフの場合でもピアノの響板の響きを残すようになっています。

### コーラス

音に広がり感を加えます。

コーラス  
[CHORUS] ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。

コーラスのオン/オフは、[VOICE SETTING] ボタンの「ChorusOnOff」(63ページ)でも設定できます。

[CHORUS] ボタンでの設定は、別の音色が選ばれると無効になります。一方、「ChorusOnOff」での設定は、音色ごとに記憶され、その音色が選ばれると自動的にコーラスのオン/オフも切り替わります。

#### NOTE

初期設定：Normal

#### 音がひずむ場合は

「Bright 1~3」に設定すると、音量が少し大きくなります。音量(マスターボリューム)が大きくなっている状態では音がひずむことがありますので、音量を少し下げてください。

#### NOTE

初期設定：オン

#### NOTE

[VOICE SETTING] ボタンの「ReverbType」でリバーブのタイプを設定し、「ReverbSend」でリバーブのかり具合を音色ごとに設定できます(62ページ)。

#### NOTE

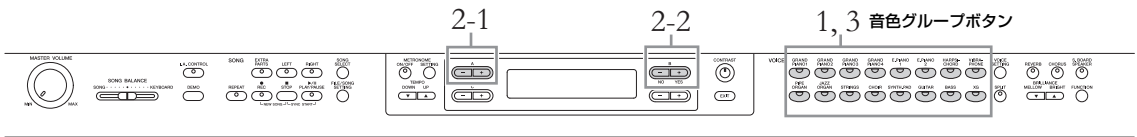
初期設定:  
音色ごとにコーラスのオン/オフが設定されています。

#### NOTE

[VOICE SETTING] ボタンの「ChorusType」でコーラスのタイプを設定し、「ChorusSend」でコーラスのかり具合を設定できます(63ページ)。

## 2つの音色を重ねて鳴らす(デュアル)

2つの音色を重ねて鳴らします。系統の違う2つの音色(違う音色グループの音色を組み合わせる)を重ねてデュエットさせたり、同じ系統の2つの音色(同じ音色グループの音色を組み合わせる)を重ねて厚みのある音色を作ったりできます。



### 違う音色グループの音色を組み合わせる

- 異なる2つの音色グループボタンを同時に押して、デュアルモードに入る

デュアル=2つの



画面の左側に表示される音色を第1音色、右側を第2音色と呼びます。

- 重ねる音色を選ぶ

2-1 A [-]/[+]ボタンで第1音色を選びます。

2-2 B [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンで第2音色を選びます。

鍵盤を弾いてみましょう。

- 音色グループボタンの1つを押して、デュアルモードを抜ける

### 同じ音色グループの音色を組み合わせる

- 音色グループボタンを1つ押す

- 重ねる音色を選ぶ

2-1 A [-]/[+]ボタンで第1音色を選びます。

2-2 B [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンで第2音色を選んで、デュアルモードに入ります。

第2音色は、B [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンを押すと画面に表示されます。



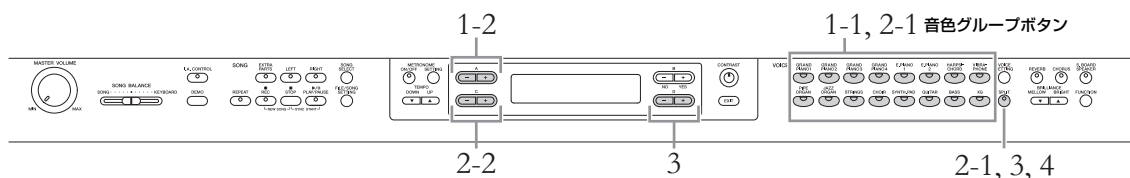
鍵盤を弾いてみましょう。

- 音色グループボタンを1つ押して、デュアルモードを抜ける



## 鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)

鍵盤全体を左右の領域に分け、別々の音色で演奏できます。左側で「<sup>ベース</sup>BASS」の音色などでベースパートを、右側でメロディーパートを演奏したりできます。



### 1. 右側の音色を選ぶ

- 1-1 音色グループボタンを1つ押します。
- 1-2 A [-]/[+]ボタンを押して、音色を選びます。

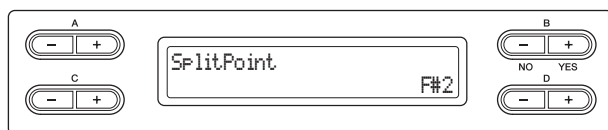
### 2. スプリットモードに入って、左側の音色を選ぶ

- 2-1 [SPLIT]ボタンを押したまま音色グループボタンを1つ押して、左側の音色グループを選びます。
- 2-2 C [-]/[+]ボタンを押して、音色を選びます。



### 3. [SPLIT]ボタンを押したままD [-]/[+]ボタンを押して、スプリットポイント(左右の境め)を決める

または[SPLIT]ボタンを押したままスプリットポイントにしたい鍵盤を押します。



スプリットポイントは「F#2」が初期設定になっています。



F#2 中央の「ド」(C3)

鍵盤を弾いてみましょう。

### 4. [SPLIT]ボタンを押して、スプリットモードを抜ける

スプリット=分ける

**NOTE**  
スプリットポイントに当たる鍵盤は、左側に属します。

**NOTE**  
スプリットポイントは、[FUNCTION]の「SplitPoint」でも設定できます(70ページ)。

## スプリットとデュアルを同時に使う



### 右側の音色を選ぶ

#### デュアルを使わない(右側の第1音色)

選びかたは、20ページを参照してください。

#### デュアルを使う(右側の第1と第2音色)

選びかたは、24ページを参照してください。

### 左側の音色を選ぶ

#### デュアルを使わない(左側の第1音色)

1. [SPLIT]ボタンを押したまま音色グループボタンを押して、音色グループを選ぶ
2. C [-]/[+]ボタンで音色を選ぶ

#### デュアルを使う(左側の第1と第2音色)

##### • 違う音色グループの音色を組み合わせる

1. [SPLIT]ボタンを押したまま異なる2つの音色グループボタンを同時に押して、デュアルモードに入る
2. 重ねる音色を選ぶ
  - 2-1 C [-]/[+]ボタンでデュアル第1音色を選びます。
  - 2-2 D [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンでデュアル第2音色を選びます。

##### • 同じ音色グループの音色を組み合わせる

1. [SPLIT]ボタンを押したまま音色グループボタンを1つ押す
2. 重ねる音色を選ぶ
  - 2-1 C [-]/[+]ボタンでデュアル第1音色を選んで、デュアルモードに入ります。
  - 2-2 D [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンでデュアル第2音色を選びます。  
第2音色は、D [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンを押すと画面に表示されます。

スプリットモードを抜ける場合は[SPLIT]ボタンを、デュアルモードを抜ける場合は音色グループを1つ押します。

# 曲(ソング)を再生する、練習する

この楽器では、内蔵曲や録音した曲、市販の曲データを総称して「ソング」と呼んでいます。単に再生して楽しむだけでなく、ソングを再生しながら演奏の練習ができます。

## ミディ MIDIソングとオーディオソング

この楽器で再生/録音できるソングには、MIDIソングとオーディオソングの2種類があります。

MIDIソングは、鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録したデータです。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報が記録され、音そのものは記録されません。記録された演奏情報にもとづいて、(クラピノーバなどの)音源部が鳴ることではじめて音になります。データ容量が小さく、また、音色の変更などの編集がしやすいのが特長です。

オーディオソングは、演奏した音そのものを記録したデータです。カセットテープやボイスレコーダーなどに録音するのと同じくみで記録したものです。携帯音楽プレイヤーなどでも再生できるので、ほかの人に自分の演奏を聞いてもらうことが手軽にできます。

MIDIについては、PDFマニュアル「MIDI入門」(7ページ)で詳しく説明しています。

この楽器では、以下のソングが再生できます。

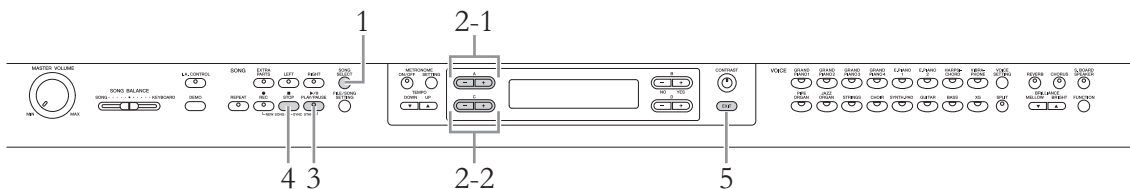
- 楽器に内蔵されているソング(ピアノソング50曲)
- この楽器での演奏を録音したソング(録音方法については33ページ参照)
- 市販のMIDIデータ: SMF (Standard MIDI File)形式またはESEQ形式(ピアノプレーヤ用ソングのみ)のファイル  
この楽器で再生可能なMIDIデータのサイズは、1曲につき約550KBまでです。
- 市販のオーディオデータ: WAV形式(拡張子「.wav」)ファイル(サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo)  
この楽器で再生可能なオーディオデータは、1曲につき80分までです。

### NOTE

この楽器で再生できるソングのフォーマットについては、6ページをご覧ください。

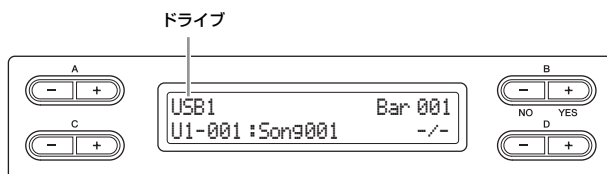
## 再生する

USB記憶装置に入っているソングを再生する場合は、USB記憶装置を本体に接続してください。USB記憶装置をご使用になる前に、「USB記憶装置を接続する」(51ページ)をご覧ください。



1. **ソングセレクト**  
[SONG SELECT]ボタンを押して、ソングモードに入る
2. **再生するソングを選ぶ**

2-1 A [-]/[+]ボタンを押して、ドライブ(データの保存場所)を選びます。



### クラピノーバの文字の種類

「CharacterCode」(キャラクターコード)を、再生するソングのファイル名に適した種類に設定してください(48ページ)。

## ドライブ(データの保存場所)

### • PRESET (プリセット)

楽器に内蔵されているピアノノソング50曲を選べます。付属の「ピアノで弾く名曲50選」に楽譜が掲載されていますのでご活用ください。

### • MEMORY (メモリー)

この楽器で録音したり、USB記憶装置から本体へコピーしたMIDIソングを選べます。

### • USB 1

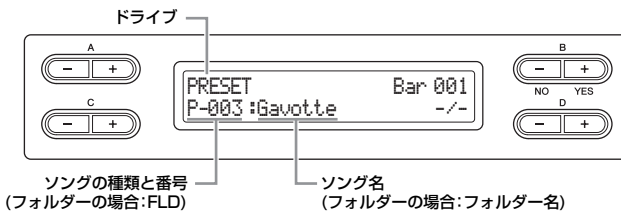
USB記憶装置が[USB TO DEVICE]端子に接続されている場合にのみ表示され、USB記憶装置内のMIDIソングを選べます。接続している機器の数によって、接続した順にUSB1、USB2などと表示されます。

### • USB AUDIO (USBオーディオ)

USB記憶装置が[USB TO DEVICE]端子に接続されている場合にのみ表示され、USB記憶装置(USB1)内のオーディオソングを選べます。

## 2-2 C [-]/[+]ボタンで、ソングやフォルダーを選びます。

ソング名の左には、ソングの種類を示すアルファベットとソング番号が、フォルダー名の左には、ソングの種類を示すアルファベットとフォルダーであることを示す「FLD」が表示されます。

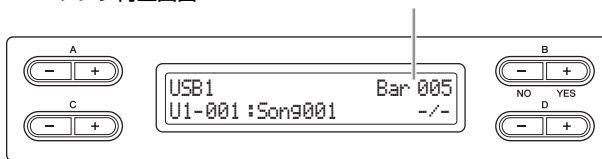


ソングの種類を示すアルファベットの意味は、41ページをご覧ください。

## 3. [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、再生をスタートする

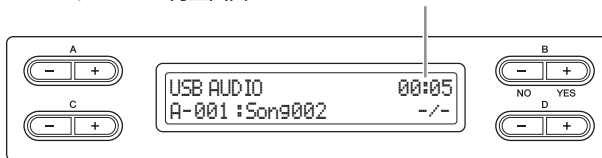
### MIDIソング再生画面

### 再生中の小節番号



### オーディオソング再生画面

### 再生時間



再生しながらご自身で鍵盤を弾くこともできます。その際、手弾き音の音色も変えられます。手弾き音と再生音の音量バランスは、[SONG BALANCE]ソング バランススライダーで調節してください(40ページ)。

### 一時停止

再生中に[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、一時停止します。もう一度[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、再スタートします。一時停止中は、画面右上の小節番号/再生時間が点滅します。

### NOTE

ソング名やフォルダー名が画面に収まらない場合、[SONG SELECT]ボタンを押すと全体(半角46文字まで)を表示できます。  
長い名前は、コンピューターであらかじめ短い名前に変更しておくことで選曲しやすくなります。

### NOTE

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D[+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D[-]ボタンを押して1つ上のフォルダーに移動したりできます。

### NOTE

「----: NewSong」は、ご自身の演奏を録音するために用意されている空のソングファイルです(34ページ)。

### NOTE

テンポは、自動的にそのソング特有のテンポにセットされます。「メトロノームを使う」(17ページ)での設定は無効になります。

### NOTE

再生に便利な機能を30ページで紹介しています。ご覧ください。

### NOTE

再生中に、メトロノームも使えません。この場合、再生をストップすると、メトロノームも同時に止まります。

## 巻き戻し/早送り

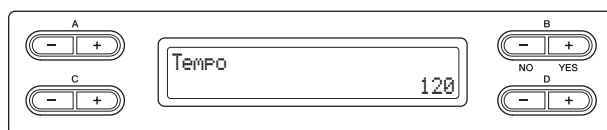
B [- (NO)]/[+ (YES)]ボタンを押すと、小節の巻き戻し/早送りをします。再生中でも停止中でも操作できます。

再生中にC [-]ボタンを押すと前のソングが、[+]ボタンを押すと次のソングの再生がスタートします。

## テンポの調節(MIDIソング)

MIDIソングは、TEMPO [DOWN]/[UP]ボタンを押してテンポを変更できます。  
[DOWN][UP]ボタンを同時に押すと、元のテンポ(そのソング固有のテンポ)に戻ります。

[SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲表示に戻ります。



## 4. 再生をストップする

[STOP]ボタンを押して、再生をストップします。<sup>ストップ</sup>[STOP]ボタンを押さない場合にも、1曲の再生が終了すると、自動的にストップします。

## 5. [EXIT]ボタンを押して、ソングモードを抜ける

## 再生に関する便利な機能

練習に役立つ機能をご紹介します。

### 右手または左手パートだけを再生する(MIDIソング)

MIDIソングは、右手パートだけを再生して左手の練習、左手パートだけを再生して右手の練習ができます。右手または左手パートだけを再生する方法は、31ページをご覧ください。

### 繰り返し再生する(MIDIソング)

MIDIソングは、1曲または1曲内のある範囲を指定して繰り返し再生することができます。難しいフレーズを繰り返し練習するときなどに便利です。上記のパート別再生の機能とあわせて使うこともできます。手順は32ページをご覧ください。

### 弾くと同時に再生をスタートする

鍵盤を弾くと同時に再生をスタートできます(シンクロスタート)。

ソングを選んだあと、ストップ [STOP]ボタンを押したままプレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE]ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、[PLAY/PAUSE]ボタンのランプがソングのテンポに合わせて点滅します。

(シンクロスタートを解除するには、もう一度同じ操作をします。)

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

### ペダルで再生/一時停止する

ファンクション [FUNCTION]の ペダル 「PedalPlay/Pause」(70ページ)で、まん中か左のペダルの機能を、再生/一時停止(パネルの[PLAY/PAUSE]ボタンと同じ機能)に切り替えることができます。鍵盤を弾きながら、ソングを再生/一時停止したいときに便利です。

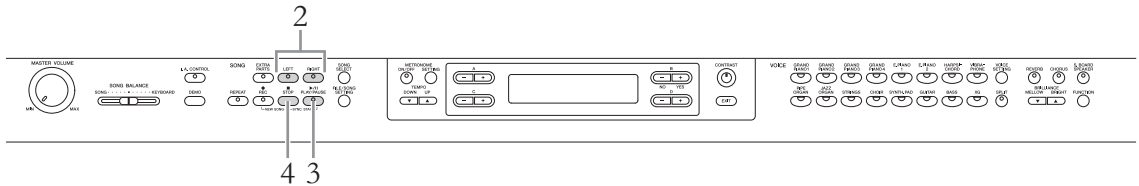
#### オーディオソングを繰り返し再生する

1曲を繰り返し再生することはできませんが、範囲を指定して繰り返し再生することはできません。1曲を繰り返し再生して再生する方法は、57ページの[FILE/SONG SETTING]の「SongRepeat」をご覧ください。

シンクロ=同時の、同時に起こる

## 右手または左手パートだけを再生する(MIDIソング)

内蔵曲などのMIDI<sup>ミディ</sup>ソングには、データが右手パートと左手パートに分かれているものがあります。このようなソングデータの場合、右手(RIGHT)パートだけをオンにして左手の練習を、左手(LEFT)パートだけをオンにして右手の練習ができるので、順序立てて練習を進められます。



### 1. 練習するソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

### 2. 再生をオフにしたいパート(右手は<sup>ライト</sup>[RIGHT]/左手は<sup>レフト</sup>[LEFT])のボタンを押す

ソングを選ぶと、[RIGHT] [LEFT]の両方のランプが点灯するので、オフにしたい(練習したい)方のパートのボタンを押して、ランプを消灯させます。それぞれのボタンは、押すごとに再生のオン/オフが切り替わります。

### 3. <sup>プレイ/ポーズ</sup>[PLAY/PAUSE]ボタンを押して、再生をスタートする

再生パートはお手本として聞き、再生をオフにしたパートを自分で弾いて練習します。

### 4. 再生をストップする

<sup>ストップ</sup>[STOP]ボタンを押して、再生をストップします。[STOP]ボタンを押さない場合にも、1曲の再生が終了すると、自動的にストップします。

#### NOTE

再生中でも、パートごとの再生オン/オフは切り替えられます。

#### NOTE

通常、[RIGHT]にチャンネル1、[LEFT]にチャンネル2、[EXTRA PARTS]にチャンネル3~16が割り当てられていますが、ソングによっては異なる場合があります。ボタンを押しても目的のパートのオン/オフが切り替わらない場合は、ほかのボタンを押してみてください。

#### NOTE

別のMIDIソングを選ぶと、両パートとも再生オンに自動的にリセットされます。

## 繰り返し再生する(MIDIソング)

ミディ  
MIDIソングでは、1曲または1曲内のある範囲を指定して繰り返し再生することができます。難しいフレーズを繰り返し練習するときなどに便利です。

### 1曲を繰り返し再生する

#### 1. 再生するソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

#### 2. リピート [REPEAT]ボタンを押して、繰り返し再生をオンにする

[REPEAT]ボタンのランプが点滅します。

#### 3. プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、繰り返し再生をスタートする

#### 4. ストップ [STOP]ボタンを押してソングをストップさせてから、もう一度 [REPEAT]ボタンを押して繰り返し再生をオフにする

[REPEAT]ボタンのランプが消灯します。

繰り返し再生は、別のソングを選ぶことでもオフにできます。

#### NOTE

1曲の繰り返し再生は、[FILE/SONG SETTING]の「SongRepeat」で設定することもできます(57ページ)。

### 指定の範囲を繰り返し再生する(ABリピート)

#### 1. 再生するソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

#### 2. [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、ソングの再生をスタートする

#### 3. 範囲を指定する

3-1 繰り返し再生の開始位置(A点)で、[REPEAT]ボタンを押します。

3-2 繰り返し再生の終了位置(B点)で、もう一度[REPEAT]ボタンを押します。  
カウント音が入ったあと、A点からB点までが繰り返し再生されます。

#### 4. [STOP]ボタンを押してソングをストップさせてから、もう一度 [REPEAT]ボタンを押して繰り返し再生をオフにする

[REPEAT]ボタンのランプが消灯します。

繰り返し再生は、別のソングを選ぶことでもオフにできます。

**ソングの先頭をA点にする**  
[REPEAT]ボタンを押してからソングの再生をスタートし、B点にした所で、もう一度[REPEAT]ボタンを押します。

**ソングの最後をB点にする**  
A点だけを指定して、ソングの最後まで再生します。ソングの最後が自動的にB点になります。



# 演奏を録音する

ご自分の演奏を録音してみましょう。この楽器では、録音したデータは下記の2つの形式で保存されます。

## ミディ MIDI形式

演奏をSMF(フォーマット0)のMIDIソングとして保存します。この形式での録音方法は、パートを指定しない録音と、パートを指定し演奏を重ねる多重録音の2通りです。MIDI形式では、録音後に部分的に録音し直したり、音色を変えたりなどの編集も可能です。この楽器で録音可能なMIDIデータのサイズは、1曲につき約550KBまでです。

## オーディオ形式

演奏をオーディオソングとして保存します。この形式での録音方法は、パートを指定しない録音のみです。一般的なCD音質(44.1kHz/16bit)のステレオWAV形式で保存されるので、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できます。この楽器で対応可能な録音時間は、1曲につき80分までです。オーディオ形式は、USB記憶装置にのみ保存が可能です。

USB記憶装置に録音したい場合は、事前に「USB記憶装置を接続する」(51ページ)を読み、USB記憶装置を[USB TO DEVICE]端子に接続してから下記手順に従ってください。

MIDIソングとオーディオソングの違いについては、27ページで詳しく説明しています。

## 録音の方法

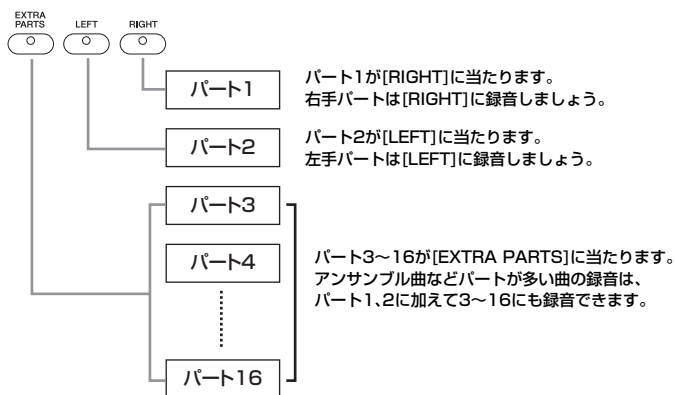
上記で説明したように、2通りの録音方法があります。

### パートを指定しない録音(MIDI/オーディオ形式) ..... 34ページ

MIDI形式の場合、自動的に[RライトRIGHT] (パート1)に録音されます。

### パートを指定する多重録音(MIDI形式) ..... 36ページ

左手/右手パートを別々に録音したり(右手パートを再生させながら左手パートを録音できます)、アンサンブルの曲を1パートずつ録音したりできます。



#### NOTE

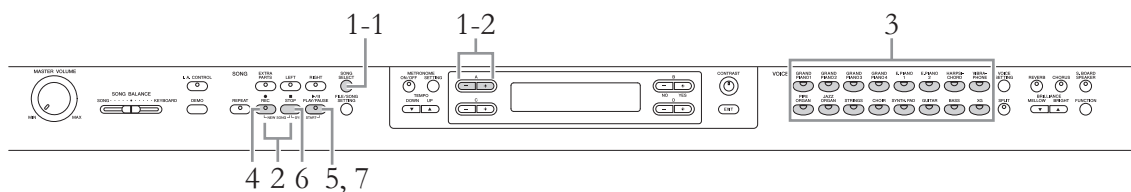
(多重録音の場合)市販の曲データなど、曲によっては、各ボタンへのパートの割り当てが左記のとおりではない場合があります。

形式、録音方法、および録音先(ドライブ)の関係は、下記の表をご覧ください。

		録音方法	
		パートを指定しない録音	パートを指定する多重録音
形式	MIDI形式(MIDIソング)	○	○
	録音先(ドライブ)	MEMORY/USB1*	MEMORY/USB1*
	オーディオ形式(オーディオソング)	○	×
	録音先(ドライブ)	USB AUDIO	-

\*PRESETドライブには録音できません。PRESETドライブを選ぶと、録音先は自動的にMEMORYドライブになります。

## パートを指定しない録音(MIDI/オーディオ形式)



### 1 録音先(ドライブ)を選ぶ

1-1 ソング セレクト [SONG SELECT] ボタンを押します。

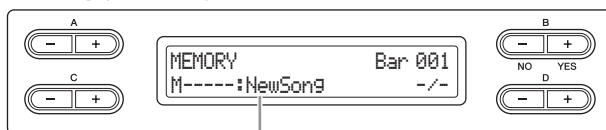
1-2 A [-]/[+] ボタンで録音先を選びます。

形式、録音方法、および録音先(ドライブ)の関係は、33ページの表をご覧ください。

### 2. レコード [REC] ボタンと ストップ [STOP] ボタンを同時に押して、空のソングファイルを用意する

MIDI形式の場合(手順1で、「MEMORY」や「USB1」を選んだ場合)

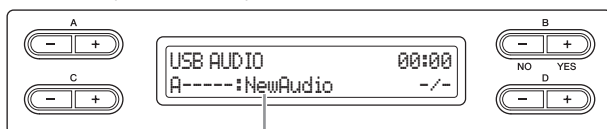
「NewSong」(ニューソング)の画面



空のソングファイル

オーディオ形式の場合(手順1で、「USB AUDIO」を選んだ場合)

「NewAudio」(ニューオーディオ)の画面



空のソングファイル

#### 注記

「NewSong」「NewAudio」以外のソングファイルを選んでデータがあるパートに録音すると、そのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

### 3. 録音に使う音色や、拍子などの設定を選ぶ

録音に使う音色を選びます(20ページ)。必要に応じてそのほかの設定(拍子やエフェクトなど)もここで選んでください。

#### メトロノームを使う

[METRONOME]を使って録音することもできます。ただし、メトロノームの音は録音されません。

#### NOTE

ソングバランスは記録(録音)されません。

#### NOTE

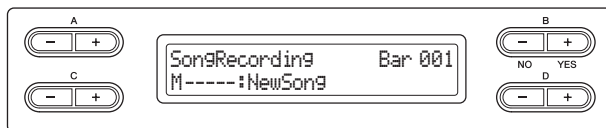
MIDI形式の場合、自動的に [RIGHT] (パート1)が指定されますが、デュアル/スプリットを使った録音では、指定したパートと実際に録音されるパートが異なります。詳しくは、40ページをご覧ください。

## 4. レコード [REC]ボタンを押して、録音モードに入る

MIDI形式での録音の場合は、[REC]、[RIGHT]、および[PLAY/PAUSE]のランプが点滅します。オーディオ形式では、[REC]、[RIGHT]、[LEFT]、[EXTRA PARTS]、および[PLAY/PAUSE]のランプが点滅します。いずれの場合にも、[PLAY/PAUSE]はテンポに合わせて点滅します。  
(録音を中止する場合は、もう一度[REC]ボタンまたは[STOP]ボタンを押します。)

MIDI形式の場合(手順1で、「MEMORY」や「USB1」を選んだ場合)

録音待機画面



オーディオ形式の場合(手順1で、「USB AUDIO」を選んだ場合)

録音待機画面



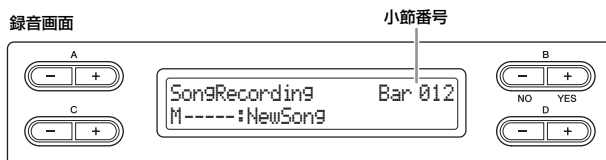
## 5. 録音をスタートする

MIDI形式での録音の場合(手順1で、「MEMORY」や「USB1」を選んだ場合)

鍵盤を弾くと同時に録音がスタートします。

曲の始めに空白の小節を録音したいときは、[PLAY/PAUSE]ボタンを押して録音をスタートさせます。

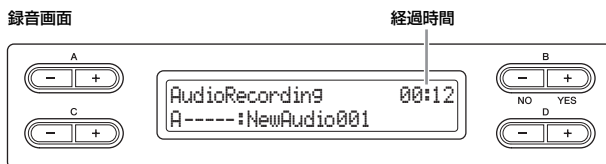
録音画面には録音中の小節番号が表示されます。



オーディオ形式での録音の場合(手順1で、「USB AUDIO」を選んだ場合)

[PLAY/PAUSE]ボタンを押して録音をスタートさせます。

録音画面には録音経過時間が表示されます。



## 6. [STOP]ボタンを押して、録音を終了する

録音モードを抜け、ソングは自動的に録音先に保存されます。保存が終わると、選曲表示(手順1の画面)に戻ります。

## 7. [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、録音した演奏を再生する

### NOTE

データがあるパートのランプは、緑に点灯します。データあり/なしとランプの関係は以下のとおりです。  
点灯(緑): データあり  
点滅(赤): 録音指定  
消灯: データなし

### NOTE

MIDI形式での録音の場合、録音中に[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、一時停止となります。再度押すか押鍵で録音を再開します。

### NOTE

オーディオ形式での録音の場合、AUX IN端子からの入力音も録音されます。

### NOTE

オーディオ形式での録音の場合、音色パートの音量(61ページ)が初期設定よりも大きいと、音がひずむことがあります。音色パートの音量を変更してある場合は、録音をスタートする前に初期設定の値以下にしてください。音量は、D [-][+]ボタンを同時に押すと初期設定に戻ります。

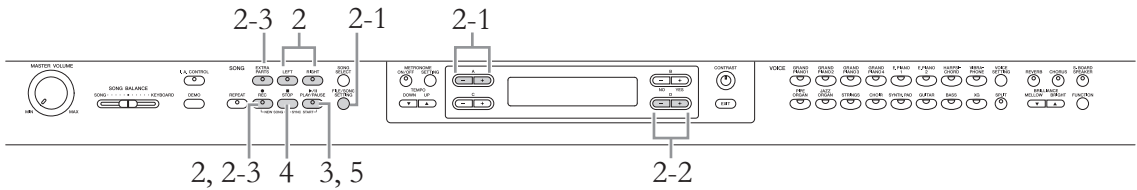
### NOTE

オーディオ形式での録音中に「Device (media) busy」メッセージが表示されると、録音は自動的に終了されます(そこまでに録音したデータは保存されます)。この場合、必要なデータが入っていないのを確認してからUSB記憶装置をフォーマットし、録音をやり直してください。フォーマットの方法は、46ページを参照してください。

### ソング名を変更する

録音した曲は自動的に名前が付けられますが、ご自分で名前を付け直すことができます(43ページ)。

## パートを指定する多重録音(MIDI形式)



### 1. 「パートを指定しない録音(MIDI/オーディオ形式)」(34ページ)の手順1~3と同じ方法で、録音の準備をする

#### NOTE

デュアル/スプリットを使った録音については、40ページをご覧ください。

### 2. 録音パートを指定し、録音モードに入る

右手/左手パート(パート1/2)に録音する場合

レコード ライト [REC] ボタンを押したまま [RIGHT] (右手) または [LEFT] (左手) ボタンを押します。

その他パート(パート3~16)に録音する場合

2-1 ファイル/ソングセッティング [FILE/SONG SETTING] ボタンを押してから A [-]/[+] ボタンを押して、ロックエキストラパーツチャンネル 「RecExtraPartsCh」 を表示させます。

2-2 D [-]/[+] ボタンを押して録音パートを選びます。

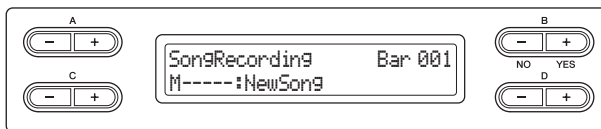
ここで選んだパートは、エキストラパーツ [EXTRA PARTS] ボタンに割り当てられます。



2-3 [REC] ボタンを押したまま [EXTRA PARTS] ボタンを押します。

録音パートを指定すると、[REC] ボタンと指定したパートのランプが、赤く点滅します。(録音を中止する場合は、もう一度 [REC] ボタンまたは [STOP] ボタンを押します。)

録音待機画面



### 3. プレイ/ポーズ演奏を始めるまたは [PLAY/PAUSE] ボタンを押して、録音を開始する

### 4. ストップ [STOP] ボタンを押して、録音を終了する

録音モードを抜け、ソングは自動的に保存されます。保存が終わると、選曲表示(27ページ)に戻ります。

### 5. [PLAY/PAUSE] ボタンを押して、録音した演奏を再生する

手順2の方法でパートを選び直し、演奏を重ねて(上書きして)いきましょう。

#### ソング名を変更する

録音した曲は自動的に名前が付けられますが、ご自分で名前を付け直すことができます(43ページ)。

#### NOTE

「Overwrite?->」=上書きしますか？

## そのほかの録音方法とテクニック

### 既存のソングのパートを差し替える(MIDI形式)

たとえば、既存のソングの左手パートを再生しながら、右手パートを差し替える(録音し直す)ことができます。

#### 1. パートを差し替えるソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

#### 2. 必要に応じて、変更したい内容(音色やその他の設定)を選ぶ

既存のパートを録音したときと設定を変えたい場合に行なってください。

#### 3. 36ページ「パートを指定する多重録音(MIDI形式)」の手順2~4と同じ方法でパートを選び、録音する

手順1で選んだソングが内蔵曲の場合、パートを差し替えたソングは新しいソングとして自動的にMEMORYドライブに保存されます。MEMORYドライブやUSB記憶装置のソングを選んだ場合には、ソングは上書きされます。

#### 4. [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、録音した演奏を再生する

### 部分的に録音し直す(MIDI形式)

MIDIソングは部分的に録音し直すことができます。ご自分で録音したMIDIソングの編集などにお使いください。

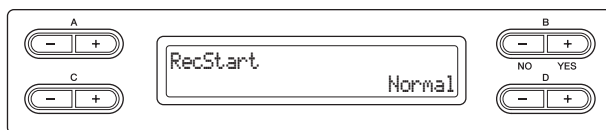
#### 1. 録音し直すMIDIソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

#### 2. 録音開始/終了方法を選ぶ

2-1 [FILE/SONG SETTING]ボタンを押します。

2-2 A [-][+]ボタンを押して、「RecStart」(録音開始方法)/「RecEnd」(録音終了方法)を表示させます。



2-3 D [-][+]ボタンを押して、録音開始/終了方法を選びます。

##### 録音開始方法

Normal (ノーマル): 録音開始以降のデータを消す

FirstKeyOn (ファーストキーオン): 録音開始しても最初に鍵盤を弾くまでのデータは消さない

##### 録音終了方法

Replace (リプレース): 録音終了以降にあった元のデータを消す

PunchOut (パンチアウト): 録音終了以降にある元のデータは消さない

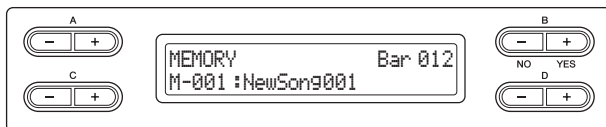
#### NOTE

ソングバランスは記録(録音)されません。

### 3. <sup>ソングセレクト</sup> [SONG SELECT]ボタンを押して、選曲表示(手順1の画面)に戻る

### 4. 録音開始をしたい場所を指定する

B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで小節を移動するか、[PLAY/PAUSE]ボタンを押して演奏を再生して、録音し直したい場所の手前でもう一度[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。



### 5. 必要に応じて、変更したい内容(音色やそのほかの設定)を選び直す

先に録音したときと設定を変えたい場合に行なってください。

### 6. 録音モードに入る

#### 録音パートを指定する場合

36ページの手順2と同じ方法で録音モードに入ります。

#### 録音パートを指定しない場合

[REC]ボタンを押して、録音モードに入ります。

### 7. <sup>プレイ/ポーズ</sup>演奏を始めるまたは[PLAY/PAUSE]ボタンを押して、録音を開始する

### 8. <sup>ストップ</sup>[STOP]ボタンを押して、録音を終了する

### 9. B [+ (YES)]ボタンを押して、録音したソングを上書き保存する

保存を中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

### 10. [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、録音した演奏を再生する

### 11. <sup>エグジット</sup>[EXIT]ボタンを押して、録音モードを抜ける

## 録音後に音色やテンポなどを変更する(MIDI形式)

MIDIソングは、録音を終えたあとでも、演奏データの設定を変更できます。たとえば、録音したあとで音色を変更して違った雰囲気曲にしたり、適切なテンポに調節したりできます。曲の途中からの変更もできます。

### 1. 変更するソングを選ぶ

選びかたは、27ページを参照してください。

### 2. 変更したい内容(音色やそのほかの設定)を選ぶ

設定が終わったら、[SONG SELECT]ボタンを押して、選曲表示(手順1の画面)に戻ります。

#### 注記

ここで選んだ設定が、手順4の操作を行なった時点で上書きされ、元に戻すことはできません。ご注意ください。

#### NOTE

ソングバランスは記録(録音)されません。

#### NOTE

部分的に録音し直す場合、拍子は変更できません。

#### NOTE

「Overwrite?->」=上書きしますか？

#### NOTE

拍子は変更できません。

### 3. <sup>レコード</sup> [REC]ボタンを押して、変更したいパートのランプが赤く点滅しているか確認する

変更したいパートのランプが赤く点滅していない場合は、[REC]とそのパートのボタンを同時に押して点滅させてください。

### 4. <sup>ストップ</sup> [STOP]と[REC]ボタンを同時に押して、演奏データの変更を実行する

手順2で設定した内容に変更されます。

### 5. B [+ (YES)]ボタンを押して、変更したソングを上書き保存する

録音モードを抜け、ソングは保存されます。保存を中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押しません。

### 6. <sup>プレイ/ポーズ</sup> [PLAY/PAUSE]ボタンを押して、変更したソングを再生する

#### MIDI形式での録音で記録されるデータの種類

##### パートごとに録音されるデータ

- ・ ノートデータ(弾いた音)
- ・ 音色選択
- ・ ペダル操作(ダンパー、ソフト、ソステヌート)
- ・ [REVERB]のかかり具合リバーブ「ReverbSend」リバーブセンド
- ・ [CHORUS]のかかり具合コーラス「ChorusSend」コーラスセンド
- ・ DSPエフェクトのかかり具合デプス「DSPDepth」
- ・ 音の明るさブライトネス「Brightness」
- ・ レゾナンス効果の設定ハーモニックコンテンツ「HarmonicContent」
- ・ 音色のオクターブ設定オクターブ「Octave」
- ・ 音色ごとの音量の設定ボリューム「Volume」
- ・ 音色ごとの左右の音の位置の設定パン「Pan」
- ・ 2つの音色の音の高さの微調整(デュアルのみ)デチューン「Detune」
- ・ 音色ごとのタッチに対する音量変化度合の設定タッチセンス「TouchSense」

##### 全パートで共通に録音されるデータ

- ・ 音律
- ・ テンポ
- ・ 拍子
- ・ [REVERB]のタイプ
- ・ [CHORUS]のタイプ
- ・ DSPエフェクトのタイプ

#### NOTE

ノートデータ、ペダル操作、オクターブ設定、および拍子は、録音後に変更できません。

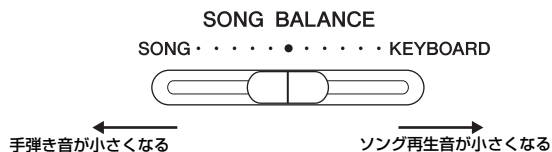
## ソング再生音と手弾き音の音量バランスを調節する

ソング バランス

### [SONG BALANCE]

複数のパートを重ねて録音していくときに、録音済みのパートの再生音と録音する手弾き音との音量バランスを調節できます。

#### 1. [SONG BALANCE]スライダーを左右に動かして調節します。



#### NOTE

ソングバランスは記録(録音)されません。

#### NOTE

市販のミュージックデータの中には、非常に大音量のデータがあります。そのようなデータを使用する場合、ソングバランスを調節してください。

#### NOTE

曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されません。

#### NOTE

楽器のパートボタン([RIGHT], [LEFT]、および[EXTRA PARTS])は、実際に録音に使われるパートが点灯します。

### デュアルやスプリットを使って録音する場合のパートの割り当て (MIDI形式)

デュアルやスプリットを使って録音する場合のパートの割り当ては特殊で、指定したパートと実際に録音に使われるパートが異なります。下記の表でご確認ください。

#### 注記

データがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

それぞれ指定した録音パートが1、2、<sup>エキストラパート</sup>EXTRA PARTn の場合を示します。

指定した録音パート	デュアル			スプリット			スプリットデュアル		
	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)
実際に録音に使われるパート	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
メイン (第1音色)	パート1	パート2	パートn	パート1	パートn	パート1	パートn		
レフト (第1音色)				パート2	パートn+1	パート2	パートn+1		
メイン (第2音色)	パート3	パート4	パートn+2			パート3	パートn+2		
レフト (第2音色)						パート4	パートn+3		

パートn = パート3~16



# ソングファイル进行操作する

## [FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して表示される画面では、内蔵曲(プリセットソング)、市販のミュージックデータ、ご自分で録音したソングなどの既存のソングファイルに関する操作ができます。

USB記憶装置をご使用になる場合は、事前に「USB記憶装置を接続する」(51ページ)をお読みください。

項目	表示	ページ
ソングを削除する	Delete	43ページ
ソング名を変更する	Rename	43ページ
ソングをコピーする*	Copy	44ページ
ソングを移動する*	Move	45ページ
USB記憶装置にフォルダーを作る	MakeFolder	45ページ
USB記憶装置をフォーマット(初期化)する	Format	46ページ
MIDIソングを再生しながらオーディオソングに変換する*	MIDItO AUDIO	47ページ
USB記憶装置の容量を表示する	DriveProperty	47ページ
USB記憶装置を接続したときソングを自動呼び出しする	SongAutoOpen	48ページ
表示文字の種類を切り替える	CharacterCode	48ページ

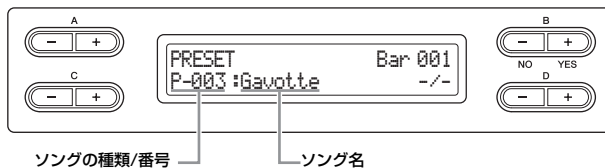
### ファイルとは

あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものです。ソングデータをソング番号単位でソングファイルと言います。

\*が付いている項目は、MIDIソングが選ばれているときにのみ有効です。

### ソングの種類とファイル操作の制限

ソング名の左に、ソングの種類を示すアルファベットとソング番号が表示されます。ソングの種類を示すアルファベットの意味とファイル操作の制限は、下記のとおりです。



保存場所		ソングの種類	説明	Delete	Rename	Copy	Move	MIDI to AUDIO
本体	PRESET (プリセットドライブ)	P-xxx	プリセットソング(MIDI)	×	×	○*1	×	×
	MEMORY (メモリードライブ)	M-xxx	MIDIソング	○	○	○	○	○
		M-xxxP	プリセットソング(MIDI)をMEMORYドライブにコピーしたものや、プロテクトがかかったMIDIソング	○	○	×	×	×
		M-xxxS M-xxxS*3	ヤマハ独自のプロテクトがかかったMIDIソング	○	○	×	○*2	×
USB 記憶装置	USB1	U1-xxx	MIDIソング	○	○	○	○	○
		U1-xxxP	プロテクトがかかったMIDIソング	×	×	○*1	×	×
		U1-xxxS U1-xxxS*4	ヤマハ独自のプロテクトがかかったMIDIソング	○	○	×	○*2	×
	USB AUDIO	A-xxx	オーディオソング	○	○	×	×	×

\*1 MEMORYドライブへのコピーのみ可能

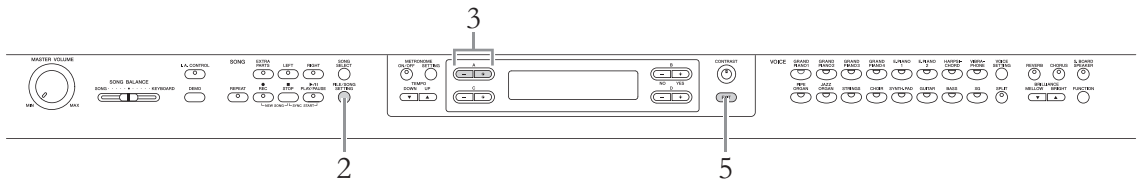
\*2 MEMORYドライブとUSB記憶装置間でのみの移動が可能

\*3 M-xxxSと同じフォルダーの中に置いてください。同じフォルダーの中にM-xxxSがないと再生できません。

\*4 U1-xxxSと同じフォルダーの中に置いてください。同じフォルダーの中にU1-xxxSがないと再生できません。

## ファイル画面の基本操作

ソングファイルの操作は以下の手順で行ないます。USB記憶装置に保存されているファイルを扱う場合は、USB記憶装置が正しく接続されているか確認してから操作してください。



### 1. ファイル操作の準備をする

下記のとおりファイル操作の準備をします。

デリート リネーム コピー ムーブ ミディ トゥー オーディオ  
**Delete、Rename、Copy、Move、MIDItoAUDIOの場合:**

対象となるソングを選びます。ソングの選びかたは、「曲(ソング)を再生する、練習する」(27ページ)をご覧ください。

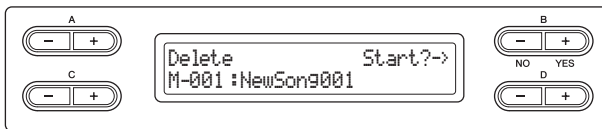
メイクフォルダー  
**MakeFolderの場合:**

ソングまたはフォルダーを選びます。ここで選んだソングまたはフォルダーと同じ階層に、フォルダーが作成されます。ソングの選びかたは、「曲(ソング)を再生する、練習する」(27ページ)をご覧ください。

フォーマット ドライブ プロパティ ソング オート オープン キャラクターコード  
**Format、DriveProperty、SongAutoOpen、CharacterCodeの場合:**

ここでの操作は不要です。

### 2. [FILE/SONG SETTING] ボタンを押して、ファイル操作モードに入る



これ以降、操作を中止する場合には[EXIT]ボタンを1回、操作を中止して操作モードを抜けるには[EXIT]ボタンを2回押します。

### 3. A [-]/[+] ボタンを何度か押して、設定したい項目を選ぶ

### 4. 操作を実行する

ここでの操作は、43~48ページで、該当する項目の手順を参照してください。操作中、画面にメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、84ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。

#### 注記

ファイル操作中やUSB記憶装置のマウント中は、USB記憶装置を外さないでください。USB記憶装置や楽器本体のデータが壊れたりするおそれがあります。

### 5. [EXIT] ボタンを押して、ファイル操作モードを抜ける

#### NOTE

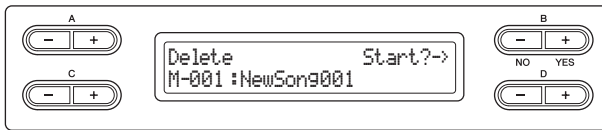
画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+ ] ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [- ] ボタンを押して1つ上のフォルダーに移動したりできます。

#### メッセージの例

「Start?->」=操作を開始しますか?  
「Overwrite?->」=上書きしますか?  
「Execute?->」=操作を実行しますか?  
「Sure?->」=いいですか?  
「Executing」=実行中  
「Completed」=完了しました

## ソングを削除する「Delete」（デリート）

削除できるソングの種類は、41ページを確認してください。



基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4は、下記に従って操作します。

スタート  
「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]を押します。あとは画面の指示に従って操作します。

### 注記

「Executing」（エクゼキューティング）の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

### NOTE

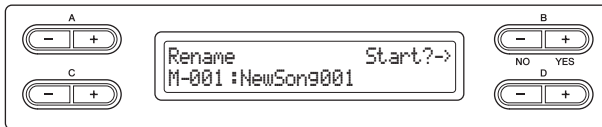
フォルダーを削除するには、42ページの手順1で対象のフォルダーを選びます。フォルダーは空の場合にのみ削除できます。

### NOTE

削除後、残ったソングのソング番号は自動的に前へ詰められます。

## ソング名を変更する「Rename」（リネーム）

名前を変更できるソングの種類は、41ページを確認してください。



基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4は、下記に従って操作します。

4-1 スタート 「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 ソング名を付けます。

C [-]/[+]ボタンでカーソル(下線)を移動します。同時押しでスペースが挿入されます。  
D [-]/[+]ボタンでカーソルの位置の文字を変更します。同時押しで文字が削除されます。

最大46文字のソング名を付けられます。画面からはみだした文字は、C [-]/[+]ボタンでカーソルを移動し、順次表示させることができます。

4-3 ネーム 「Name?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。あとは画面の指示に従って操作します。

ソング名変更後、自動的にアルファベットやアイウエオ順などに分類されて、番号が付け直されます。

### 注記

「Executing」（エクゼキューティング）の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

### NOTE

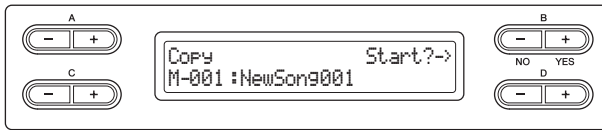
フォルダー名を変更する場合は、42ページの手順1で対象のフォルダーを選びます。フォルダー名は最大50文字です。

### NOTE

ソング名に使用できる文字の種類は、「表示文字の種類を切り替える (CharacterCode)」（48ページ）でご確認ください。

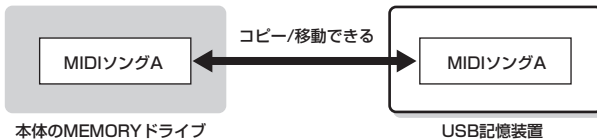
## ソングをコピーする「Copy」(コピー)

コピーできるソングの種類は、41ページを確認してください。

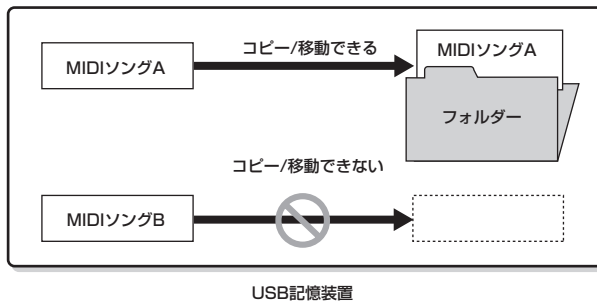


### コピー / 移動できる範囲

本体のMEMORYドライブとUSB記憶装置間でコピー/移動できます。



USB記憶装置内で、別のフォルダーにコピー/移動することはできますが、同一ルート上ではコピー/移動できません。



基本操作は、42ページをご覧ください。

手順4は、下記に従って操作します。

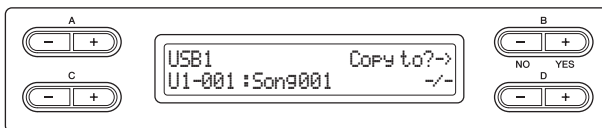
4-1 <sup>スタート</sup>「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 A [-]/[+]ボタンを押してコピー先を選びます。

フォルダー内にコピーする場合は、C [-]/[+]ボタンを押してフォルダーを選び、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ります。

ここで表示されているソングやフォルダーと同じ階層に、ソングがコピーされます。

4-3 B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。あとは画面の指示に従って操作します。



### 注記

「Executing」(エグゼキューティング)の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

### NOTE

市販のミュージックデータは著作権で保護されていますので、コピー機能は個人で楽しむ範囲でご利用ください。

### NOTE

フォルダーはコピーできません。

### NOTE

ソングの移動方法については45ページをご覧ください。

### ルートとは

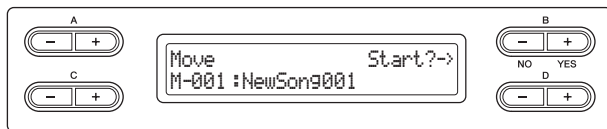
階層構造のいちばん上の部分を表わします。フォルダーに入っていない領域のことです。

### NOTE

フォルダーを上がる場合は、D [-]ボタンを押します。

## ソングを移動する「Move」(ムーブ)

移動できるソングの種類は、41ページを確認してください。



基本操作は、42ページをご覧ください。

手順4は、下記に従って操作します。

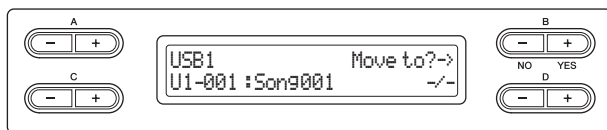
4-1 「<sup>スタート</sup>Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 A [-]/[+]ボタンを押して移動先を選びます。

フォルダー内に移動する場合は、C [-]/[+]ボタンを押してフォルダーを選び、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ります。

ここで表示されているソングやフォルダーと同じ階層に、ソングは移動します。

4-3 B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。あとは画面の指示に従って操作します。



### 注記

「Executing」(エグゼキューティング)の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

### NOTE

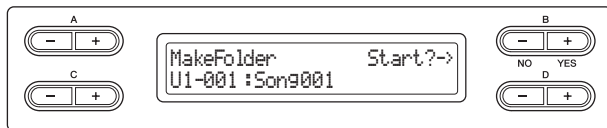
フォルダーは移動できません。

### NOTE

フォルダーを上げる場合は、D [-]ボタンを押します。

## USB記憶装置にフォルダーを作る「MakeFolder」(メイクフォルダー)

USB記憶装置内に、ソングを保存するためのフォルダーを作ることができます。本体のMEMORYドライブにフォルダーを作ることできません。



基本操作は、42ページをご覧ください。

手順4は、下記に従って操作します。

4-1 「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 フォルダー名を付けます。

名前<sup>リネーム</sup>の付けかたは、「Rename」(43ページ)の手順4-2と同じです。

最大50文字のフォルダー名を付けられます。

フォルダーは、USB 1 (U1と表示されます)の中のルートに作成されます。

### 注記

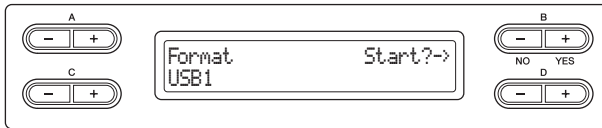
「Executing」(エグゼキューティング)の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

### ルートとは

階層構造のいちばん上の部分を表わします。フォルダーに入っていない領域のことです。

## USB記憶装置をフォーマット(初期化)する「Format」(フォーマット)

[USB TO DEVICE]端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合は、フォーマットを実行してください。



### 注記

フォーマットを実行すると、USB記憶装置に保存されているデータがすべて消去されます。大切なデータはコンピューターなど、他の記憶装置に保存しておいてください。

基本操作は、42ページをご覧ください。

手順4は、下記に従って操作します。

4-1 <sup>スタート</sup>「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 USB記憶装置を複数接続しているときは、C [-]/[+]ボタンを押してフォーマットする装置を選びます。

「USB1」を選ぶと、「USB AUDIO」のデータもフォーマットされます。「USB AUDIO」のみは選べません。

4-3 B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。あとは画面の指示に従って操作します。

### 注記

「Executing」(エクセキューティング)の表示中は、電源を切ったり、USB記憶装置を外さないでください。

## MIDIソングを再生しながらオーディオソングに変換する 「MIDItoAUDIO」(ミディトウー オーディオ)

メモリー  
MEMORYドライブやUSB記憶装置(USB1)のMIDIソングを、オーディオソングに変換してUSB記憶装置(USB AUDIO)に保存できます。変換できるソングの種類は、41ページを確認してください。



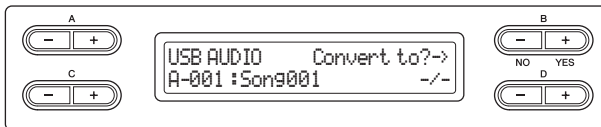
基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4は、下記に従って操作します。

4-1 <sup>スタート</sup>「Start?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 変換先をフォルダー内にする場合は、C [-]/[+]を押してフォルダーを選び、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ります。

ここで選んだソングまたはフォルダーと同じ階層に、変換されたファイルが保存されます。

4-3 B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。



4-4 <sup>シユア</sup>「Sure?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押して実行します。

オーディオ変換がスタートし、ソングが再生されます。オーディオ変換中は、オーディオ形式での録音中と同じ状態のため、鍵盤を弾いたり、AUX IN端子から入力したりしたオーディオ音声も、一緒に録音されます。

変換が終わると「Completed」<sup>コンプリーテッド</sup>と表示されます。

### NOTE

「USB AUDIO」は、「USB1」と同一のUSB記憶装置です。

### NOTE

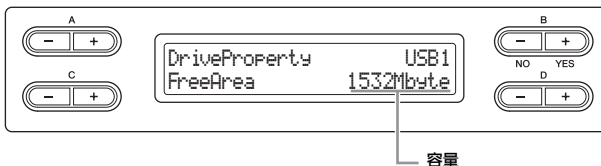
変換しても、MIDIソングは元の保存場所にそのまま残ります。

### NOTE

フォルダーを上がる場合は、D [-]ボタンを押します。

## USB記憶装置の容量を表示する「DriveProperty」(ドライブ プロパティ)

USB記憶装置の空き容量や全体容量を表示します。



基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4のは、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置を複数接続しているときは、B [-]/[+]ボタンを押して容量を表示する装置を選びます。

「USB1」と「USB AUDIO」は同一のUSB記憶装置であるため、どちらを選んで同じ値が表示されます。

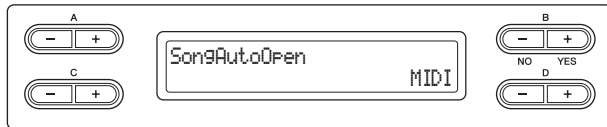
4-2 C [-]/[+]ボタンで「FreeArea」<sup>フリーエリア</sup> / 「AllArea」<sup>オールエリア</sup>を選びます。

FreeArea=空き容量

AllArea=全体容量

## USB記憶装置を接続したとき、ソングを自動呼び出しする「SongAutoOpen」（ソング オート オープン）

[USB TO DEVICE]端子にUSB記憶装置を接続した際、USB記憶装置のルートにある(フォルダーに入っていない)ソングを自動で呼び出せます(画面に表示されます)。



基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4は、下記に従って操作します。

### 4. D [-]/[+]ボタンで「MIDI」 / 「AUDIO」 / 「Off」を選ぶ

MIDIソングを呼び出す場合は「MIDI」を、オーディオソングを呼び出す場合は「AUDIO」を選びます。フォルダーに入っていないソングのうち、1つのソングが自動で呼び出されます。自動呼び出ししない場合は、「Off」を選びます。

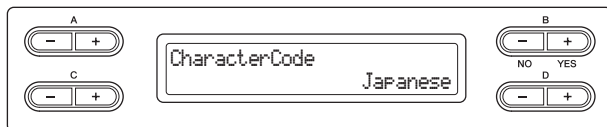
#### 選択範囲：

MIDI、AUDIO、Off

## 表示文字の種類を切り替える「CharacterCode」（キャラクターコード）

ソング名を表示/入力する際の文字の種類を切り替えます。

初期設定では、カタカナ表示/入力ができる「<sup>ジャパニーズ</sup>Japanese」になっていますが、内蔵曲名などを<sup>インターナショナル</sup>原題で表示させたいときに「International」に切り替えてください。



基本操作は、42ページをご覧ください。  
手順4は、下記に従って操作します。

### 4. D [-]/[+]ボタンで「Japanese」 / 「International」を選ぶ

#### 選択範囲：

Japanese、International

#### 文字一覧：

Japanese

0~9 A~Z a~z ア~ン ア~オ ヤ ュ ヨ ツ ° - 。 「 」 、 ・ ! # \$ % & ' ( ) + , - ; = @ [ ] ^ \_ ` { } ~ .

International

0~9 A~Z a~z Ä È Ī Ö Ü ä ë ĩ ö ü à è ì ò ù á é í ó ú â ê î ô û Ñ ñ ß Ç ç ° ì ÿ ! # \$ % & ' ( ) + , - ; = @ [ ] ^ \_ ` { } ~ .

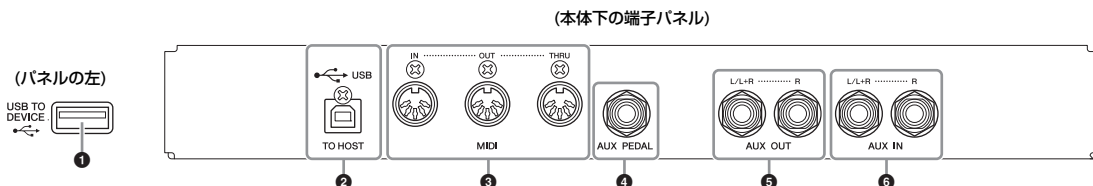


# 他の機器と接続する

## 端子について

⚠ 注意 外部のオーディオ機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

端子の位置は「各部の名前と機能」(11ページ)でご確認ください。



### ① [USB TO DEVICE]<sup>トゥー デバイス</sup>端子

USB記憶装置を接続する端子です。

詳しくは51ページの「USB記憶装置を接続する」をご覧ください。

### ② USB [TO HOST]<sup>トゥー ホスト</sup>端子

コンピューターを接続する端子です。

詳しくは52ページの「コンピューターと接続する」をご覧ください。

### ③ MIDI [IN][OUT][THRU]<sup>イン アウト スルー</sup>端子

MIDI接続専用のケーブルを使って外部MIDI機器と接続する端子です。

詳しくは53ページの「外部MIDI機器と接続する」をご覧ください。

### ④ [AUX PEDAL]<sup>ペダル</sup>端子

別売のフットコントローラーFC7や、フットスイッチFC4/FC5を接続する端子です。FC7を使うと、演奏中に手弾き音のボリュームをコントロールして演奏に抑揚を付けたり、いろいろな機能を設定して度合いをコントロールしたりすることができます。FC4/FC5を使うと、いろいろな機能を設定して、オン/オフをコントロールすることができます。

機能の設定は、[VOICE SETTING]<sup>ボイス セッティング</sup>の[AuxPedalFunc]<sup>エコーエックスペダルファンクション</sup>で行ないます(66ページ)。

また、[PLAY/PAUSE]<sup>プレイ/ポーズ</sup>の機能を割り当てることもできます(70ページ)。

#### NOTE

この楽器ののUSB端子には、USB [TO HOST]端子と[USB TO DEVICE]端子の2種類があります。どちらもUSB端子ですが、形状/用途が違いますので、接続するときに間違えないようご注意ください。(端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。)

#### NOTE

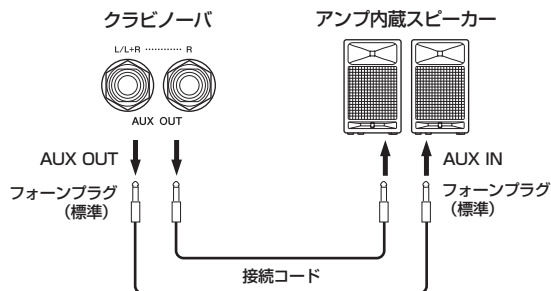
フットコントローラーやフットスイッチの抜き差しは、この楽器の電源を切った状態で行なってください。

## ⑤ AUX OUT [L/L+R][R]端子

クラビノーバにアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出します。接続コードを使って図のように接続します。

### 注記

クラビノーバのAUX OUTを使う場合、電源を入れるときは、クラビノーバ → 外部機器(アンプ内蔵スピーカーなど)の順に、電源を切るときは、外部機器 → クラビノーバの順に行なってください。



AUX OUT端子に出力される音量は、楽器本体の[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節できます。外部スピーカー使用時、本体スピーカーからの音を消したい場合は、スピーカーをOffにしてください(71ページ)。また、本体のスピーカーやヘッドフォンから出力される音の音質は、AUX OUT端子への外部機器の接続状況に応じて適切な設定になるように自動的に切り替わります。

### NOTE

接続コードおよび接続プラグは抵抗のないものをお使いください。

### NOTE

この楽器のAUX OUTから出力した音を、この楽器のAUX INに戻さないでください(AUX OUTからアンプ内蔵スピーカーなどの外部機器に接続した場合、そのスピーカーからふたたびこの楽器のAUX INに接続しないでください)。

### NOTE

モノ出力には、AUX OUT [L/L+R]端子をご使用ください。

## 本体出力音の音質

□ 本体スピーカーが鳴る  
■ 本体スピーカーは鳴らない

	AUX OUT端子にプラグを未接続			AUX OUT端子にプラグを接続中		
	スピーカー On	スピーカーNormal (HeadphoneSW)	スピーカー Off	スピーカー On	スピーカー Normal (HeadphoneSW)	スピーカー Off
ヘッドフォン接続中	本体スピーカーに最適なイコライザー*	フラット	フラット	フラット*	フラット	フラット
ヘッドフォン未接続	本体スピーカーに最適なイコライザー	本体スピーカーに最適なイコライザー	フラット	フラット*	フラット*	フラット

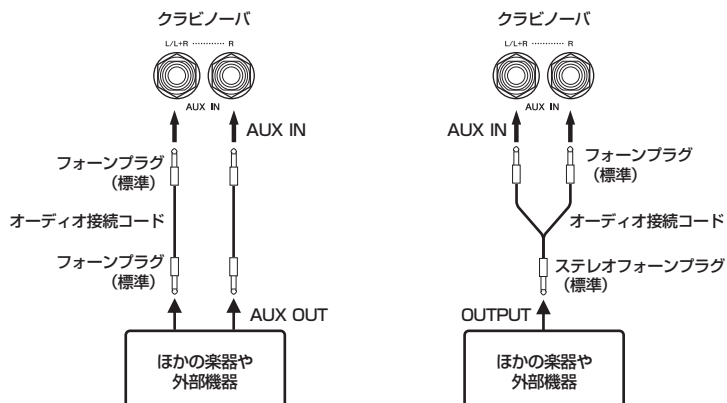
\*ヘッドフォン、AUX OUTの出力レベルが抑えられます。

## ⑥ AUX IN [L/L+R][R]端子

ほかの楽器や外部機器の音をクラビノーバ本体のスピーカーから出します。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。

### 注記

クラビノーバのAUX INを使う場合、電源を入れるときは、外部機器 → クラビノーバの順に、電源を切るときは、クラビノーバ → 外部機器の順に行なってください。



## USB記憶装置を接続する

[USB TO DEVICE]<sup>トウ デバイス</sup>端子にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で録音したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

### [USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機には[USB TO DEVICE]端子があります。[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

#### NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

#### ■ 使用できるUSB機器

- USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー、ハードディスクドライブなど)
- USBハブ

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。

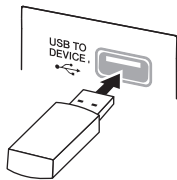
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/usb/>

#### NOTE

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

#### ■ USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



#### 注記

トップパネルの[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB機器を接続したままキーカバーを閉じると、USB機器がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。

- USBケーブルで接続する場合、3メートル以下のケーブルをご使用ください。
- 1つの[USB TO DEVICE]端子に2台のUSB機器を同時に接続したい場合は、USBハブを使います。電源付き(セルフパワー)のUSBハブを、電源を入れてご使用ください。USBハブは1台のみ使用可能です。USBハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、本機からUSBハブを抜き、本機の電源を入れなおした上で、再度USBハブを接続してください。
- 本機はUSB1.1に対応していますが、USB2.0の機器でも使用できます。ただし転送スピードはUSB1.1相当になりますので、ご了承ください。

### USB記憶装置の取り扱いについて

本機にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

#### ■ 接続できるUSB記憶装置の数

同時に使用できるUSB記憶装置は、2台までです。(USBハブを使用した場合でも、同時に使用できる記憶装置は2台までです。)また、1台のUSB記憶装置について4ドライブまで認識ができます。

#### ■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、本機で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。[USB TO DEVICE]端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください(46ページ)。

#### 注記

フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。特に複数のUSB記憶装置を接続しているときは、ご注意ください。

#### ■ 誤消去防止

USB記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSB記憶装置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

#### ■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存/コピー/削除/フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

#### 注記

USB記憶装置の頻繁な電源のオン/オフや抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。保存/コピー/削除/フォーマットなどデータのアクセス中やUSB記憶装置のマウント中は、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディアを取り出したり(USBフラッシュメモリーを抜いたり)、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

## コンピューターと接続する

USB [TO HOST]端子やMIDI端子とコンピューターを接続して、コンピューターとデータをやりとりしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。

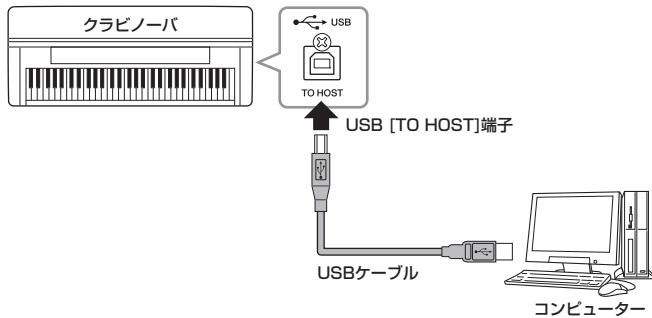
### 1. USBケーブルを接続する前に、楽器の電源を切る

### 2. コンピューターを起動させる

コンピューター上のアプリケーションは、起動させないでください。

### 3. 楽器とコンピューターをUSBケーブルで接続する

USBハブを経由せずに、直接接続してください。



### 4. 楽器の電源を入れる

お使いのコンピューターにUSB-MIDIドライバーが自動でインストールされます。

対応OS: Windows XP (SP3以降)、Windows Vista、Windows 7、Mac OS X Version 10.5 ~ 10.6.x

通常はこの状態で通信できますが、動作が不安定だったり、不具合が発生したりする場合は、ヤマハ標準のUSB-MIDIドライバーを下記のURLからインストールしてお使いください。インストール方法は、ダウンロードファイルに付属のインストールガイドを参照してください。  
[http://www.yamaha.co.jp/download/usb\\_midi/](http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/)

ヤマハ標準のUSB-MIDIドライバーの対応OSについては、上記URLでご確認ください。

#### NOTE

楽器のMIDI [IN]/[OUT]端子を使ってコンピューターと接続することもできます。この場合は、USBケーブルの代わりにヤマハUX16などのMIDIインターフェースを使用します。接続方法については、MIDIインターフェースの取扱説明書をご覧ください。

#### NOTE

使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

#### USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れ直してください。

#### 注記

- ・ USBケーブルは、ABタイプのもをご使用ください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- ・ USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・ 本体の電源を入れる前に、USB [TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
  - すべてのアプリケーションを終了させてください。
  - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

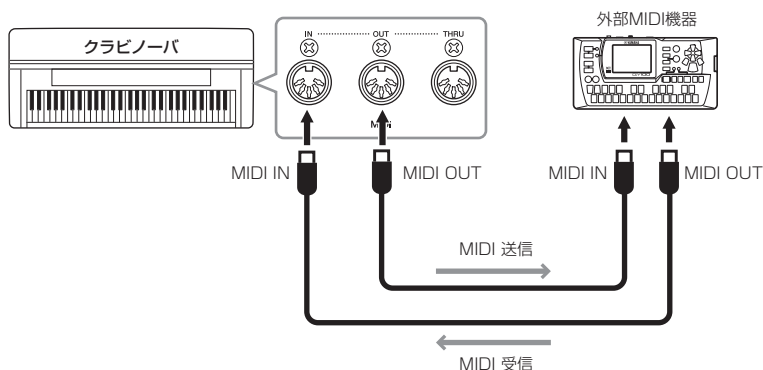
## 外部MIDI機器と接続する

ミディ  
MIDIケーブルを使って、クラビノーバと外部MIDI機器(キーボード、シンセサイザー、シーケンサーなど)のMIDI端子を接続すると、この楽器から外部MIDI機器をコントロールしたり、外部MIDI機器からこの楽器をコントロールしたりできます。

### ⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。

- **MIDI [IN]:** MIDIデータを受信する端子です。
- **MIDI [OUT]:** MIDIデータを送信する端子です。
- **MIDI [THRU]:** MIDI INから入ってきたデータをそのまま送信する端子です。複数の機器にMIDIデータを供給する場合などに使います。



### NOTE

MIDIについては、PDFマニュアル「MIDI入門」で詳しく説明しています。

### NOTE

MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるMIDIデータだけが送受信できることになります。この楽器で扱えるMIDIデータについては、PDFマニュアル「データリスト」をご覧ください。

## 設定項目の一覧表

### ソングの録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING]

ファイル/ソング

セッティング

\*が付いている項目は、MIDIソングが選ばれているときにのみ有効です。

項目	表示	初期設定	ページ
ソングを削除する	Delete	-	43ページ
ソング名を変更する	Rename	-	43ページ
ソングをコピーする*	Copy	-	44ページ
ソングを移動する*	Move	-	45ページ
USB記憶装置にフォルダーを作る	MakeFolder	-	45ページ
USB記憶装置をフォーマット(初期化)する*	Format	-	46ページ
MIDIソングを再生しながらオーディオソングに変換する*	MIDItoAUDIO	-	47ページ
USB記憶装置の容量を表示する	DriveProperty	-	47ページ
USB記憶装置を接続したとき、ソングを自動呼び出しする	SongAutoOpen	MIDI	48ページ
表示文字の種類を切り替える	CharacterCode	Japanese	48ページ
曲(ソング)を繰り返し再生する	SongRepeat	Off	57ページ
フレーズマークを使って再生する*	PhraseMark	RepeatOff	58ページ
音符のタイミングのずれを修正する*	Quantize	1/16	58ページ
クオンタイズの強さを設定する(Strength)*		100%	
最初の発音からすぐにスタートするかどうかを決める*	QuickPlay	On	59ページ
各チャンネルの中身を聞いて確かめる*	ChannelListen	Ch1	59ページ
1チャンネル単位でデータを消去する*	ChannelClear	Ch1	59ページ
録音開始方法を指定する	RecStart	Normal	37ページ
録音終了方法を指定する	RecEnd	Replace	37ページ
パート3~16に録音する	RecExtraPartsCh	Ch5	36ページ

### メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING]

メトロノーム

セッティング

項目	表示	初期設定	ページ
メトロノームの拍子設定	TimeSignature	4/4 (MIDIソング選択時は、ソングによる)	60ページ
メトロノームの音量設定	MetronomeVolume	82	60ページ
メトロノームの音色設定	MetronomeSound	BellOff (ベルオフ)	60ページ

## 音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING]

\*が付いている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。

項目	表示	初期設定	ページ
オクターブの設定*	Octave	音色による	61ページ
音量の設定*	Volume		61ページ
左右の音の位置の設定*	Pan		62ページ
音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)	Detune		62ページ
リバーブタイプの設定	ReverbType		62ページ
リバーブのかかり具合の設定*	ReverbSend		62ページ
コーラスタイプの設定	ChorusType		62ページ
コーラスのかかり具合の設定*	ChorusSend		63ページ
コーラスオン/オフの設定	ChorusOnOff		63ページ
DSPタイプの設定*	DSP Type		63ページ
ビブラフォンのビブラート効果のスピードの設定* (DSPタイプで「VibeRotor」を選んだ場合のみ)	VibeRotorSpeed		63ページ
ビブラフォンのビブラート効果オン/オフの設定* (DSPタイプで「VibeRotor」を選んだ場合のみ)	VibeRotorOnOff		64ページ
ロータリースピーカーの回転スピードの設定* (DSPタイプで「Rotary」を選んだ場合のみ)	RotarySpeed		64ページ
DSP効果のかかり具合の設定*	DSP Depth		64ページ
音の明るさを調節する*	Brightness		64ページ
レゾナンス効果を調節する*	HarmonicContent		64ページ
タッチに対する音量変化度合の設定*	TouchSense		65ページ
右ペダルの機能設定	RPedalFunc	SustainCont	65ページ
まん中のペダルの機能設定	CPedalFunc	Sostenuto	65ページ
左ペダルの機能設定	LPedalFunc	Soft	65ページ
外部ペダルの機能設定	AuxPedalFunc	Expression	66ページ
右ペダルの機能On/Off設定	RPedalOnOff	音色による	66ページ
まん中のペダルの機能On/Off設定	CPedalOnOff		66ページ
左ペダルの機能On/Off設定	LPedalOnOff		66ページ
外部ペダルの機能On/Off設定	AuxPedalOnOff		66ページ

## 音響効果の詳細設定

項目	表示	初期設定	ページ
I. A. コントロールの効果のかかり具合の設定	Acoustic Control Depth	0	67ページ
GPサウンドボードスピーカーの効果のかかり具合の設定	Soundboard Speaker Depth	110	67ページ

その他の詳細設定 [FUNCTION]

項目	表示	初期設定	ページ
キー (調) を変える	Transpose	Master	68ページ
トランスポーズ量の設定		0	
タッチ感度の選択	TouchResponse	Medium	68ページ
Fixedのボリュームの設定		64	
音の高さの微調整	Tune	A3=440.0Hz	69ページ
ピアノ音色の調律曲線の選択	PianoTuningCurve	Stretch	69ページ
音律の選択	Scale	Equal	69ページ
基音(演奏する曲の調の主音)を設定する		C	
スプリットポイントを決める	SplitPoint	F#2	70ページ
[PLAY/PAUSE]機能のペダルへの割り当て	PedalPlay/Pause	どのペダルもOff	70ページ
外部ペダルのタイプ選択	AuxPedalType	Make	70ページ
ハーフペダルポイントの設定	HalfPedalPoint	0	70ページ
ソフトペダルのかかり具合の設定	SoftPedalDepth	5	70ページ
弦共鳴音(ストリングレゾナンス)のかかり具合の設定	StringResonanceDepth	5	70ページ
ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定	SustainSamplingDepth	5	71ページ
キーオフ音の音量設定	KeyOffSamplingDepth	5	71ページ
ピッチバンド幅の設定	PitchBendRange	2	71ページ
スピーカーのオン/オフを切り替える設定	Speaker	Normal (HeadphoneSW)	71ページ
MIDI送信チャンネルの設定	MidiOutChannel	Main: Midi/Usb1 Ch1 Left: Midi/Usb1 Ch2 M.L.(MainLayer): Midi/Usb1 Ch3 L.L.(LeftLayer): Midi/Usb1 Ch4	71ページ
手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定		Keyboard	
MIDI受信チャンネルの設定	MidiInChannel	Midi/Usb1 Ch1 ~ Ch16: Song Usb2 Ch1: Keyboard Usb2 Ch2: Main Usb2 Ch3: Left Usb2 Ch4: M.L. (MainLayer) Usb2 Ch5: L.L. (LeftLayer) Usb2 Ch6 ~ Ch16: Off	72ページ
ローカルコントロールオン/オフの設定	LocalControl	On	72ページ
MIDI受信するデータの種類の設定	ReceiveParameter	すべてのデータがOn	72ページ
MIDI送信するデータの種類の設定	TransmitParameter	すべてのデータがOn	73ページ
パネル初期設定データの送信	InitialSetup	-	73ページ
電源オフ時に保存する項目の設定	MemoryBackup	Transpose、Main/LeftVoice、 MetronomeSetting、Function: Off、他: On	73ページ
初期設定に戻す	FactorySet	MemorySongExcluded	74ページ
データのバックアップ/読み込み	FullBackup	-	74ページ



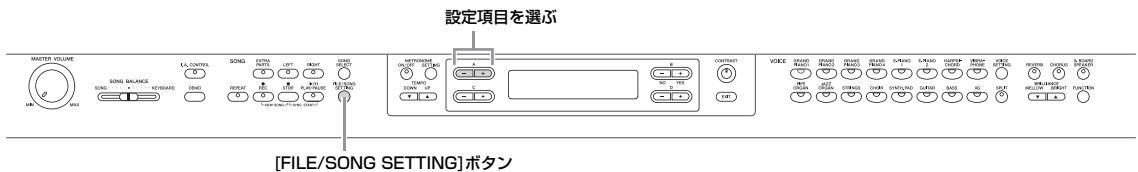
# ソングの録音/再生に関する詳細設定

## [FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

「Delete」～「CharacterCode」までの項目については、41ページの「ファイル操作をする[FILE/SONG SETTING]」を参照してください。

現在選ばれているソングに関する詳細設定ができます。まず、詳細設定をしたい曲を、「PRESET」(プリセット)、「MEMORY」(メモリー)、「USB1」の中から選んでおきます(28ページ)。

ソングを選んでから、[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して、ソングセッティングモードに入ります。設定する項目は、A [-]/[+]ボタンを押して選びます。



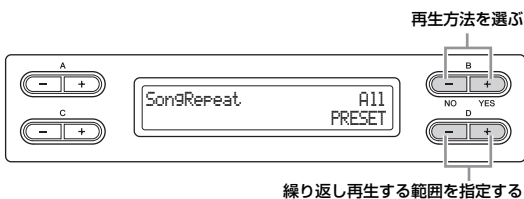
\*が付いている項目は、MIDIソングが選ばれているときのみ有効です。

### 曲(ソング)を繰り返し再生する

#### ソング リピート SongRepeat

ピアノソング50曲(内蔵曲)やUSB記憶装置内の指定のフォルダーに入っている曲全曲を連続再生させたり、1曲を繰り返し再生させることができます。

曲の再生をスタートすると、現在パネル上で選ばれている曲が再生されたあと、指定した範囲の曲の連続再生が始まります。[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。



#### 再生の選択範囲:

- **Off (オフ)**  
連続再生しない
- **Single (シングル)**  
選ばれたソング1曲を繰り返し再生
- **All (オール)**  
指定範囲内のソングを順番に連続再生
- **Random (ランダム)**  
指定範囲内のソングを順不同に連続再生

#### 再生方法の指定範囲:

- **PRESET (プリセット)**  
ピアノソング50曲(内蔵曲)全曲
- **MEMORY (メモリー)**  
クラビノーバのMEMORYドライブに入っている全曲
- **USB1~USBx**  
接続されているUSB記憶装置内の指定のフォルダーのMIDIソング全曲
- **USB AUDIO (USBオーディオ)**  
接続されているUSB記憶装置内の指定のフォルダーのオーディオソング全曲

**NOTE** 選択範囲をOffやSingleにした場合、繰り返し再生の範囲は指定できません。画面右下には、「--」が表示されます。

## フレーズマークを使って再生する\*

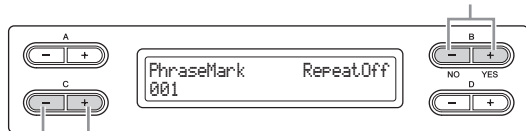
### フレーズ マーク PhraseMark

フレーズマークが入っている曲が選ばれている場合、楽譜に書いてあるフレーズ番号を指定して、フレーズマークの位置から再生したり、そのフレーズだけ繰り返し再生させることができます。

リピートオン  
「RepeatOn」の場合は、曲の再生をスタートすると、カウント音に続いて、指定したフレーズの再生がスタートします。[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。

リピートオフ  
「RepeatOff」の場合は、繰り返しなしの通常再生になります。

RepeatOn/RepeatOffを切り替える



フレーズ番号を指定する

**選択範囲:** RepeatOn/RepeatOff

**フレーズ番号の指定範囲:**

- --- (指定なし)
- 000~その曲の最終フレーズ番号

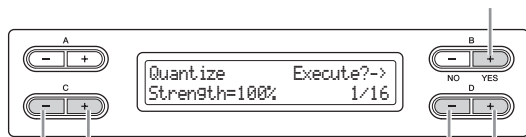
**NOTE** フレーズマークが入っていない曲が選ばれている場合は、Offに固定となります。

## 音符のタイミングのずれを修正する\*

### クオンタイズ Quantize

**NOTE** Quantize (クオンタイズ)=音符などのタイミングを補正する機能  
音符のタイミングのずれを修正します。たとえば、録音した曲の音符を正確に8分音符や16分音符に修正します。クオンタイズは1曲単位で実行されます。

修正したデータを書き込む



クオンタイズの強さを設定する

修正する音符の単位を選ぶ

**修正する音符の単位の選択範囲:**

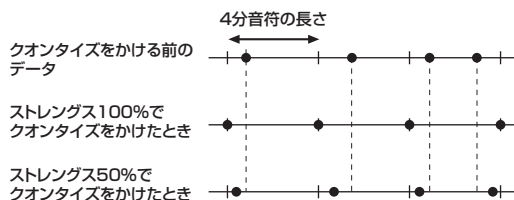
1/4.....		4分音符
1/6.....		3連4分音符
1/8.....		8分音符
1/12.....		3連8分音符
1/16.....		16分音符
1/24.....		3連16分音符
1/32.....		32分音符
1/8+1/12.....		8分音符+3連8分音符*
1/16+1/12... ..		16分音符+3連8分音符*
1/16+1/24... ..		16分音符+3連16分音符*

\*マークが付いたクオンタイズ設定は、異なる2つの音符の長さを同時に利用してクオンタイズできます。たとえば、8分音符と3連8分音符の両方の音符が録音されているパートに8分音符の長さでクオンタイズをかけると、そのパートのすべての音符が8分音符でクオンタイズされてしまい、3連符のリズムがなくなります。ところが、8分音符+3連8分音符の設定を使うと、8分音符と3連符の両方の音符をクオンタイズできます。

**初期設定:** 1/16

## クオンタイズの強さを設定する(Strength)\*

この画面では、クオンタイズをかける強さ(Strength=ストレングス)も設定できます。100%でジャストのタイミングにデータが移動します。100%以下でクオンタイズをかければ、自然な拍のずれを残せます。



**設定範囲:** 0%~100%

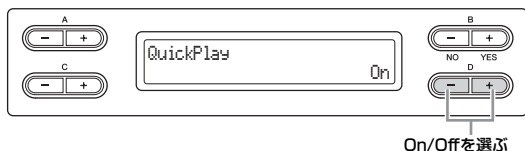
**初期設定:** 100%

## 最初の発音から すぐにスタートするかどうかを決める\*

### クイック プレイ QuickPlay

最初の音の前に空白がある曲(弱起の曲など)を再生する場合に、実際に音が鳴るところから再生するか、休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生するかを選びます。

**NOTE** 弱起の曲: 小節の途中から始まる曲



#### 選択範囲:

- On ...最初の発音、もしくはダンパーペダルの操作情報のところから再生
- Off ...休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生

初期設定: On

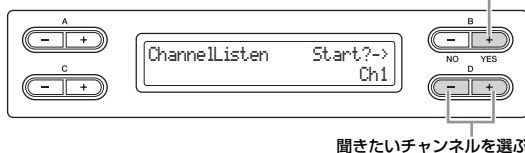
## 各チャンネルの中身を聞いて確かめる\*

### チャンネル リッスン ChannelListen

チャンネル別の中身を確認するために、1チャンネルだけを選んで再生できます。

実際の音が鳴るところからすぐに再生されます。

B [+ (YES)]ボタンを押している間に  
選んだチャンネルだけが再生される



選択範囲: Ch1~Ch16

初期設定: Ch1

**NOTE** 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

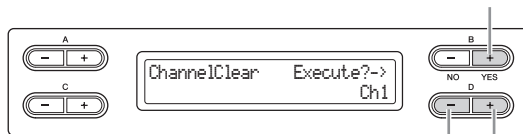
**NOTE** データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

## 1チャンネル単位でデータを消去する\*

### チャンネル クリア ChannelClear

1~16チャンネルの中から、1チャンネルずつ選んでデータを消去します。

データの消去を実行する



消去したいチャンネルを選ぶ

選択範囲: Ch1~Ch16、ALL (すべてのチャンネル)

初期設定: Ch1

**NOTE** 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

**NOTE** データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

**NOTE** ALLですべてのチャンネルを消去しても、曲を上書き保存できません。上書き保存すると、すべてのチャンネルが消去されて曲の設定だけが残ったファイルが保存されます。

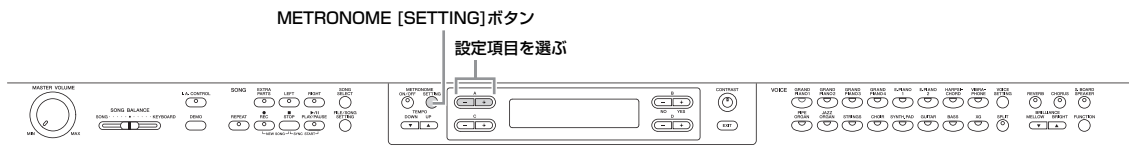
レックスタート レックエンド  
「RecStart」、「RecEnd」については、37ページの「部分的に録音し直す(MIDI形式)」を参照してください。  
レック エキストラパーツ チャンネル  
「RecExtraPartsCh」については、36ページの「パートを指定する多重録音(MIDI形式)」を参照してください。

# メトロノームに関する詳細設定

## METRONOME [SETTING] (メトロノームセッティング)

メトロノームの拍子、音量、音色を設定できます。

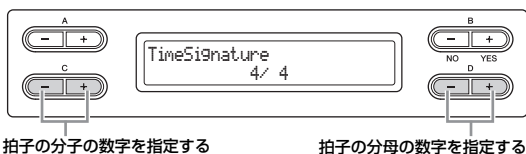
メトロノームセッティング  
METRONOME [SETTING] ボタンを押して、メトロノームセッティングモードに入ります。  
設定する項目は、A [-]/[+] ボタンを押して選びます。



### メトロノームの拍子設定

タイムシグネチャー  
TimeSignature

**NOTE** TimeSignature (タイムシグネチャー)=拍子記号



拍子の分子の数字を指定する

拍子の分母の数字を指定する

たとえば、3/4拍子にしたい場合は、C [-]/[+] ボタンで「3」、D [-]/[+] ボタンで「4」を選びます。

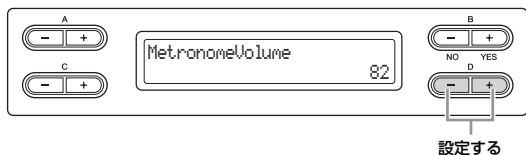
**分子の設定範囲:** 1~16

**分母の設定範囲:** 2、4、8

**初期設定:** 4/4 (MIDIソング選択時は、ソングによる)

### メトロノームの音量設定

メトロノーム ボリューム  
MetronomeVolume



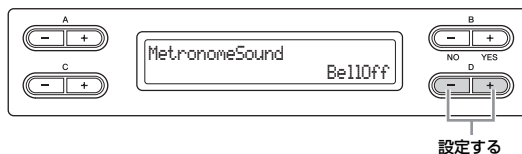
設定する

**設定範囲:** 0~127

**初期設定:** 82

### メトロノームの音色設定

メトロノーム サウンド  
MetronomeSound



設定する

**設定範囲:**

- BellOn (ベルオン)  
カチカチ音+ベル音
- BellOff (ベルオフ)  
カチカチというメトロノームの音
- EnglishVoice (イングリッシュボイス)  
カチカチ音+英語で「1、2、3、4」
- GermanVoice (ジャーマンボイス)  
カチカチ音+ドイツ語で「1、2、3、4」
- JapaneseVoice (ジャパニーズボイス)  
カチカチ音+日本語で「1、2、3、4」
- FrenchVoice (フレンチボイス)  
カチカチ音+フランス語で「1、2、3、4」
- SpanishVoice (スパニッシュボイス)  
カチカチ音+スペイン語で「1、2、3、4」

**初期設定:** BellOff

**NOTE** メトロノームを無拍子で鳴らしたい場合は、「BellOff」を選びます。

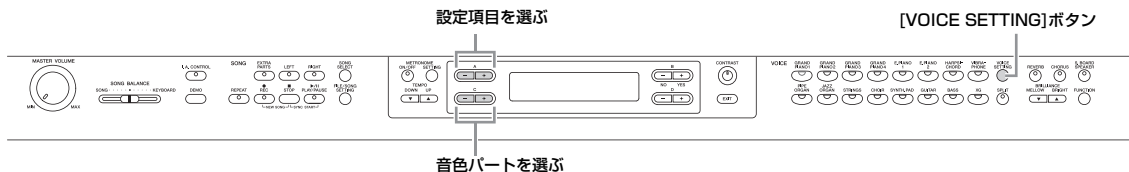
# 音色に関する詳細設定

## [VOICE SETTING](ボイスセッティング)

デュアルやスプリット、音響効果、ペダル機能など音色に関する詳細設定ができます。音色(または音色の組み合わせ)ごとに個別に設定します。鍵盤を弾いて音を確認しながら変更できます。

ボイスセッティング

音色を選んでから、[VOICE SETTING]ボタンを押して、ボイスセッティングモードに入ります。設定する項目は、A [-]/[+]ボタンを押して選びます。



必要に応じて、C [-]/[+]ボタンを押して設定対象となる音色パートも選びます。

### 音色パート

- **Main (メイン)**  
この音色パートを選択した場合、設定は右側音色(単音色、スプリット時の右側)にかかります。
- **M.L. (メインレイヤー)**  
右側(単音色、スプリット時の右側)のデュアル第2音色にかかります。
- **Main×Layer (メイン×レイヤー)**  
右側(単音色、スプリット時の右側)のデュアル第1と第2音色にかかります。

- **Left (レフト)**  
左側音色(スプリット時の左側)にかかります。
- **L.L. (レフトレイヤー)**  
左側(スプリット時の左側)のデュアル第2音色にかかります。
- **Left×Layer (レフト×レイヤー)**  
左側(スプリット時の左側)のデュアル第1と第2音色にかかります。

### NOTE

- 単音色=スプリットもデュアルも使っていない状態
- Layer (レイヤー)=重ねる

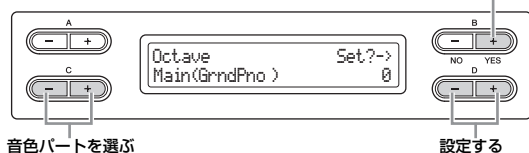
\*がついている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。

### オクターブの設定\*

オクターブ  
Octave

同じ鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上下にシフトできます。

設定を記憶させる



**設定範囲:** -2 (2オクターブ下)~0 (シフトしない)~+2 (2オクターブ上)

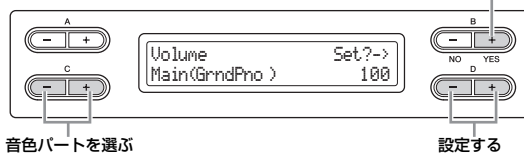
**初期設定:** 音色による

### 音量の設定\*

ボリューム  
Volume

音色パートごとに音量を設定できます。

設定を記憶させる



**設定範囲:** 0~127

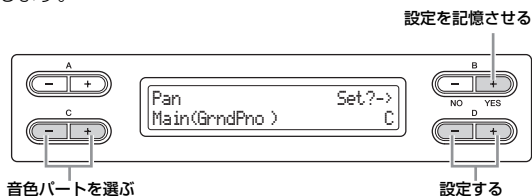
**初期設定:** 音色による

## 左右の音の位置の設定\*

### パン Pan

**NOTE** Pan (パン)=左右に動かす

音が左右のどのあたりから聞こえてくるようにするかを設定します。



**設定範囲:** L64 (左寄り)~C (中央)~R63 (右寄り)

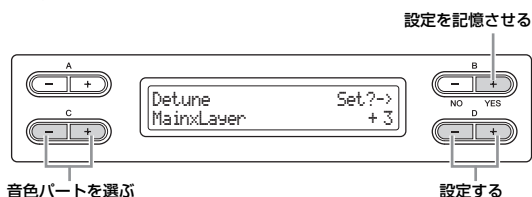
**初期設定:** 音色による

## 音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)

### デチューン Detune

**NOTE** Detune (デチューン)=チューニングをずらす

デュアルで選んだ2音色の音の高さを微妙にずらすことができます。



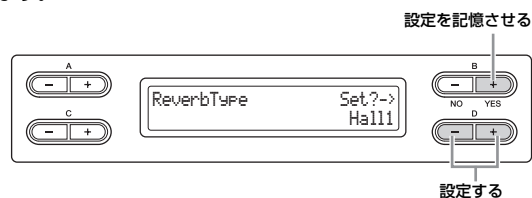
**設定範囲:** -20~+20 (+方向で第1音色の音が高く、第2音色の音が低くなる。-方向はその逆)

**初期設定:** 音色による

## リバーブタイプの設定

### リバーブタイプ ReverbType

リバーブタイプの設定は、すべてのパートに共通してかかります。



### 設定範囲:

- Room (ルーム)  
部屋のような残響
- Hall1 (ホール1)  
コンサートホールのような残響
- Hall2 (ホール2)  
Hall1より少し長めの残響
- Stage (ステージ)  
ソロ楽器向きの残響
- Plate (プレート)  
プレートリバーブといわれる金属板による振動を利用したリバーブ装置のような残響

**初期設定:** 音色、または音色の組み合わせによる

## リバーブのかかり具合の設定\*

### リバーブセンド ReverbSend

**NOTE** ReverbSendの設定が0の場合はリバーブ効果はかかりません。



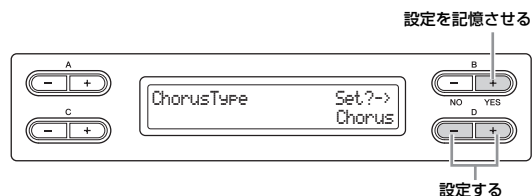
**設定範囲:** 0~127

**初期設定:** 音色による

## コーラスタイプの設定

### コーラスタイプ ChorusType

コーラスタイプの設定は、すべてのパートに共通してかかります。



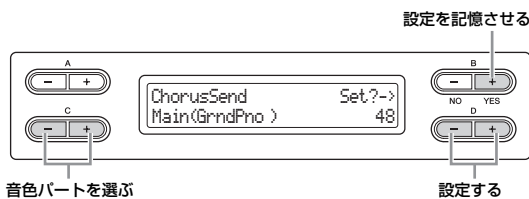
### 設定範囲:

- Chorus (コーラス)  
豊かな広がりを加える効果
- Celeste (セレステ)  
うねりと広がりを加える効果
- Flanger (フランジャー)  
ジェット機の上昇、下降音のようなうねりを加える効果

**初期設定:** 音色、または音色の組み合わせによる

## コーラスのかかり具合の設定\*

### コーラスセンド ChorusSend



設定範囲: 0~127

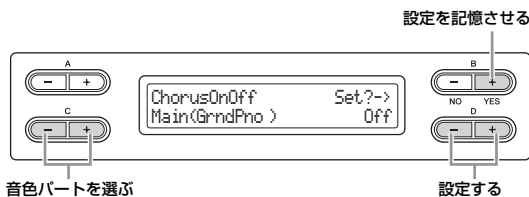
初期設定: 音色による

## コーラスOn/Offの設定\*

### コーラス オンオフ ChorusOnOff

音色ごとにパネルの[CHORUS]ボタンのOn/Offを設定します。音色を選ぶと、ここでの設定に従って自動的に[CHORUS]ボタンのOn/Offが切り替わります。

**NOTE** ここでOnになっていても、ChorusSend (コーラスセンド)の設定が0の場合はコーラス効果はかかりません。



設定範囲: On/Off

初期設定: 音色による

## DSPタイプの設定\*

### ディーエスピー タイプ DSP Type

リバープ、コーラス以外の音色効果をここで選んでかけることができます。



## 設定範囲:

- **DamperReso (ダンパーレゾナンス)**  
ダンパーペダルを踏んだときのグランドピアノのような共鳴効果
- **DelayLCR (ディレイLCR)**  
左、中央、右の3つの位置でかかるディレイ(音を遅らせる)効果
- **DelayLR (ディレイLR)**  
左右2つの位置でかかるディレイ効果
- **Echo (エコー)**  
「こだま」のようなディレイ効果
- **CrossDelay (クロスディレイ)**  
左右2つのディレイを交差してかけた効果
- **Symphonic (シンフォニック)**  
豊かで奥行きのある響きを作る効果
- **Rotary (ロータリー)**  
ロータリースピーカー (回転スピーカー)を使っているようなビブラート感が得られる効果
- **Tremolo (トレモロ)**  
音量が周期的に変化する効果
- **VibeRotor (バイプローター)**  
ビブラフォン特有のビブラート
- **AutoPan (オートパン)**  
音が左右、前後に揺れ動くような効果
- **Phaser (フェーザー)**  
位相を周期的に変化させ、音にうねりを持たせる効果
- **AutoWah (オートワウ)**  
ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させる効果
- **Off**  
効果なし

初期設定: 音色による

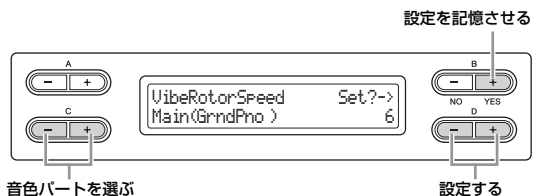
## ビブラフォンのビブラート効果の スピードの設定\*

### バイプローター スピード VibeRotorSpeed

**NOTE** Rotor (ローター)=電動機などの回転子

DSP Typeで<sup>バイプローター</sup>VibeRotorを選んだときだけ表示されます。

<sup>ビブラフォン</sup>Vibraphoneを選んでいてVibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果の音揺れのスピードを設定します。



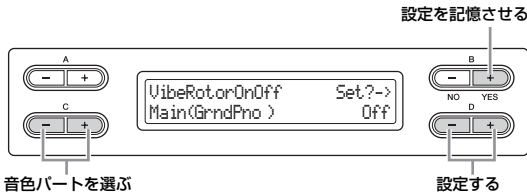
設定範囲: 1~10

初期設定: 音色による

## ビブラフォンのビブラート効果 On/Off の設定\*

バイプローター オンオフ  
**VibeRotorOnOff**

DSP TypeでVibeRotorを選んだときだけ表示されます。  
VibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果の  
On/Offを設定します。



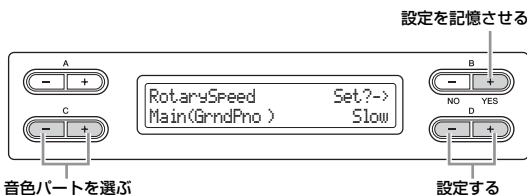
**設定範囲:** On/Off

**初期設定:** 音色による

## ロータリースピーカーの 回転速度の設定\*

ロータリースピード  
**RotarySpeed**

DSP TypeでRotaryを選んだときだけ表示されます。  
ロータリースピーカーエフェクトの回転速度を設定しま  
す。



**設定範囲:** Slow/Fast (遅い/速い)

**初期設定:** 音色による

## DSP効果のかかり具合の設定\*

ディーエスピー デプス  
**DSP Depth**

DSP効果(63ページ)のかかり具合を設定します。  
DSP Typeの中にはDSP Depthの設定ができないものがあ  
ります。



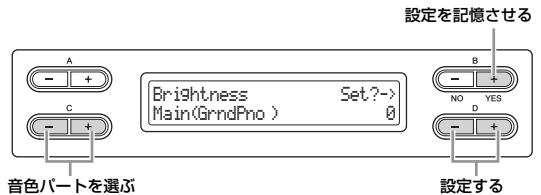
**設定範囲:** 1 (ほとんどエフェクトのかかっていない元の音だけ  
を出力)~127 (エフェクトのかかった音だけを出力)

**初期設定:** 音色による

## 音の明るさを調節する\*

ブライトネス  
**Brightness**

**NOTE** 音色によっては、効果のかかり具合がわかりにくい、もしくは効果  
がかからないものがあります。



**設定範囲:** -64~+63 (値が大きいほど、明るい音になります)

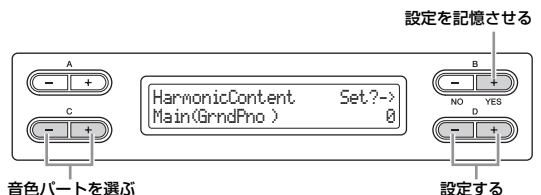
**初期設定:** 音色による

## レゾナンス効果を調節する\*

ハーモニック コンテント  
**HarmonicContent**

レゾナンスの値を上げると、音に独特のクセを付けることが  
できます。

**NOTE** 音色によっては、効果のかかり具合がわかりにくい、もしくは効果  
がかからないものがあります。



**設定範囲:** -64~+63

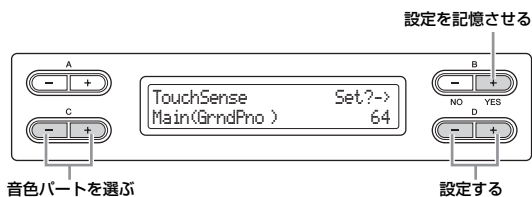
**初期設定:** 音色による



## タッチに対する音量変化度合の設定\*

### タッチセンス TouchSense

タッチに対する音量変化幅/音量の出やすさを設定します。「HARPSICHORD」や「PIPE ORGAN」の音色は、タッチによる音量変化がない楽器なので、初期設定は127(音量が出やすく一定音量)になっています。



**設定範囲:** 0 (音量が出にくい)~64 (音量変化幅が最大)~127 (音量が出やすく一定音量)

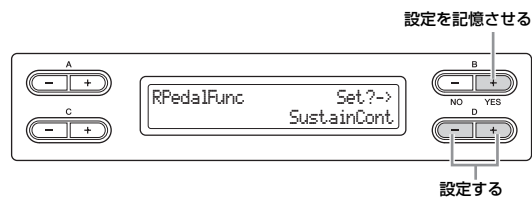
**初期設定:** 音色による

**NOTE** TouchSenseでは、MIDI出力されるノートオンのベロシティデータは一定で、ベロシティが同じときの音量が変わります。

## 右ペダルの機能設定

### ライトペダル ファンクション RPedalFunc

右ペダルに、別の機能を割り当てることができます。



**設定範囲:**

- **Sustain (サステイン)**  
On/Offスイッチ式のダンパー (16ページ)
- **SustainCont (サステインコンティニューアスリー)**  
踏み込むほど音が長く伸びるダンパー (16ページ)
- **Sostenuto (ソステヌート)**  
ソステヌート(16ページ)
- **Soft (ソフト)**  
ソフト(16ページ)
- **Expression (エクスプレッション)**  
演奏中に音の強弱を付ける機能
- **PitchBend Up (ピッチベンドアップ)**  
音の高さを連続的に上げる機能
- **PitchBend Down (ピッチベンドダウン)**  
音の高さを連続的に下げる機能
- **RotarySpeed (ロータリースピード)**  
JazzOrgan (ジャズオルガン)のロータリースピーカーの回転数の変化(踏むごとに速い/遅いが切り替わる)

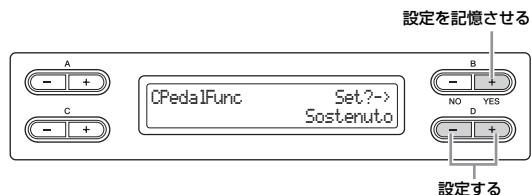
- **VibeRotor (バイプローター)**  
Vibraphone (ビブラフォン)のビブラートのOn/Off (踏むごとにOn/Offが切り替わる)

**初期設定:** SustainCont

## まん中のペダルの機能設定

### センターペダル ファンクション CPedalFunc

まん中のペダルに、別の機能を割り当てることができます。



**設定範囲:**

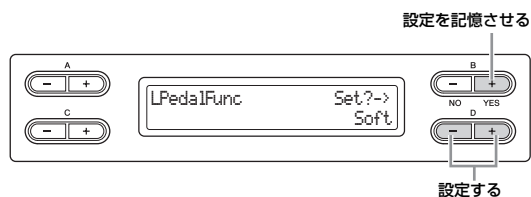
- **Sustain (サステイン)**
- **Sostenuto (ソステヌート)**
- **Soft (ソフト)**
- **RotarySpeed (ロータリースピード)**
- **VibeRotor (バイプローター)**

**初期設定:** Sostenuto

## 左ペダルの機能設定

### レフトペダル ファンクション LPedalFunc

左ペダルに、別の機能を割り当てることができます。



**設定範囲:**

- **Sustain (サステイン)**
- **Sostenuto (ソステヌート)**
- **Soft (ソフト)**
- **RotarySpeed (ロータリースピード)**
- **VibeRotor (バイプローター)**

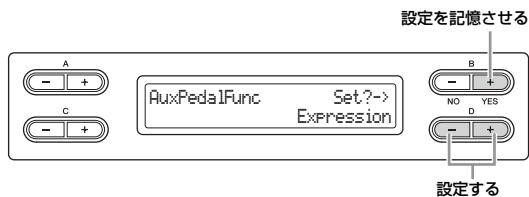
**初期設定:** Soft

ただし、JazzOrgan (ジャズオルガン)とMellowOrgan (メロオルガン)の場合はRotarySpeed、Vibraphone (ビブラフォン)の場合はVibeRotor。

## 外部ペダルの機能設定

### エーユーエックスペダルファンクション AuxPedalFunc

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能を設定します。



**設定範囲:** 「右ペダルの機能設定」(前述)と同じ。

**初期設定:** Expression (エクスプレッション)

**NOTE** 別売ペダル

#### ヤマハフットコントローラー FC7

Expression (エクスプレッション)、SustainCont (サステインコンティニューアスリー)、PitchBend Up/Down (ピッチベンドアップ/ダウン)をコントロールするのに適したフットコントローラーです。

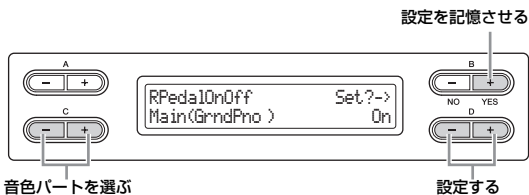
#### ヤマハフットスイッチFC4/FC5

Sustain (サステイン)、Sostenuto (ソステヌート)、Soft (ソフト)、RotarySpeed (ロータリースピード)、VibeRotor (バイブローター)をコントロールするのに適したフットスイッチです。

## 右ペダルの機能On/Off 設定

### ライトペダル オンオフ RPedalOnOff

右ペダルの機能をOn/Offします。ペダルの機能On/Offは、音色パートごとに設定できます。



**設定対象:** Main (メイン)、M.L. (メインレイヤー)、Left (レフト)、L.L. (レフトレイヤー)

**設定範囲:** On/Off

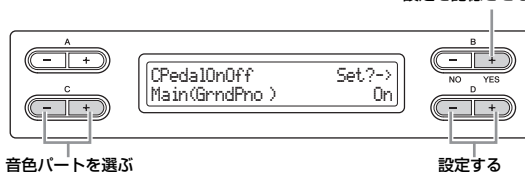
**初期設定:** 音色による

## まん中のペダルの機能On/Off 設定

### センターペダル オンオフ CPedalOnOff

まん中のペダルの機能をOn/Offします。ペダルの機能On/Offは、音色パートごとに設定できます。

設定を記憶させる



音色パートを選ぶ

設定する

**設定対象:** Main (メイン)、M.L. (メインレイヤー)、Left (レフト)、L.L. (レフトレイヤー)

**設定範囲:** On/Off

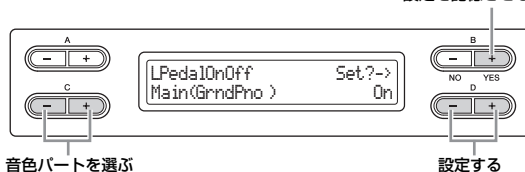
**初期設定:** 音色による

## 左ペダルの機能On/Off 設定

### レフトペダル オンオフ LPedalOnOff

左ペダルの機能をOn/Offします。ペダルの機能On/Offは、音色パートごとに設定できます。

設定を記憶させる



音色パートを選ぶ

設定する

**設定対象:** Main (メイン)、M.L. (メインレイヤー)、Left (レフト)、L.L. (レフトレイヤー)

**設定範囲:** On/Off

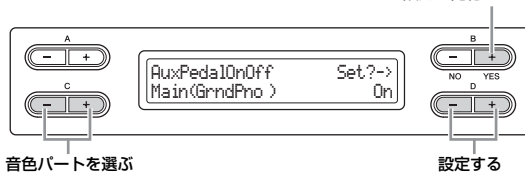
**初期設定:** 音色による

## 外部ペダルの機能On/Off 設定

### エーユーエックスペダル オンオフ AuxPedalOnOff

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能をOn/Offします。ペダルの機能On/Offは、音色パートごとに設定できます。

設定を記憶させる



音色パートを選ぶ

設定する

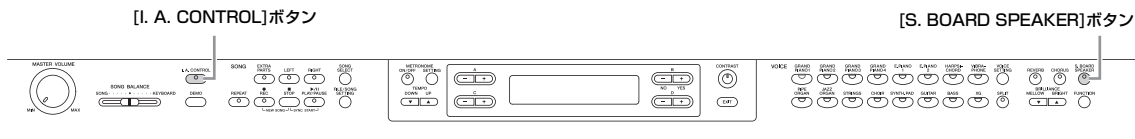
**設定対象:** Main (メイン)、M.L. (メインレイヤー)、Left (レフト)、L.L. (レフトレイヤー)

**設定範囲:** On/Off

**初期設定:** 音色による

# 音響効果の詳細設定

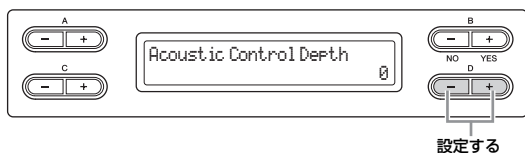
I. A. コントロールやGPサウンドボードスピーカーの効果のかけ具合を設定できます。



## I. A. コントロールの 効果のかけ具合の設定

アコースティック コントロール デフス  
**Acoustic Control Depth**

I. A. コントロール(14ページ)の効果のかけ具合を設定します。[I. A. CONTROL]ボタンを押したまま、D [-]/[+]ボタンを押して設定します。値が大きいほど、音量が小さいときの低音や高音がよりしっかりと聞こえるように補正されます。



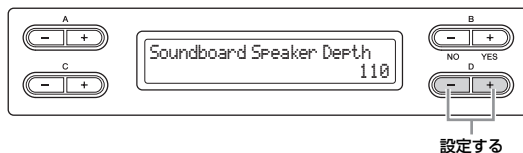
**設定範囲:** -3~+3

**初期設定:** 0

## GPサウンドボードスピーカーの効果の かけ具合の設定

サウンドボード スピーカー デフス  
**Soundboard Speaker Depth**

GPサウンドボードスピーカー(15ページ)の効果のかけ具合を設定します。[S. BOARD SPEAKER]ボタンを押したまま、D [-]/[+]ボタンを押して設定します。

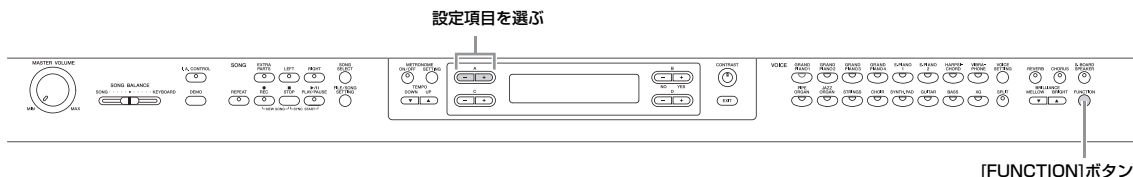


**設定範囲:** 0~127

**初期設定:** 110

# その他の詳細設定 [FUNCTION](ファンクション)

ファンクション  
[FUNCTION]ボタンを押したあとA [-]/[+]ボタンを押して、タッチ感度やチューニング、音律などの細かい設定をする画面を呼び出せます。



## キー (調) を変える

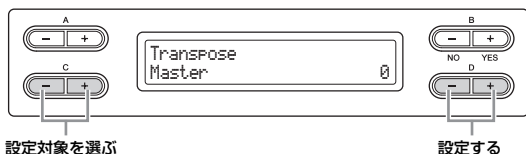
### トランスポーズ Transpose

**NOTE** TRANSPOSE (トランスポーズ)=移調する

**NOTE** 移調: 曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー (調) を変えること。

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー (調) を合わせたり、演奏する曲や再生する曲を移調 (=トランスポーズ) できます。トランスポーズは半音単位で設定できます。たとえばトランスポーズ量を「5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「八長調」の弾きかたで「へ長調」の演奏になります。

**NOTE** オーディオソングの再生音はトランスポーズされません。



#### 設定対象:

- **Master (マスター)**  
楽器全体の音 (手弾き音、再生曲)
- **Keyboard (キーボード)**  
手弾きの音
- **Song (ソング)**  
再生する曲

**初期設定:** Master

#### トランスポーズ量の設定

**設定範囲:** -12 (-1オクターブ) ~ 0 (標準音程) ~ +12 (+1オクターブ)

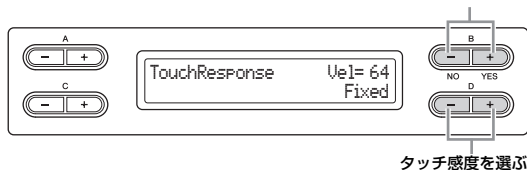
**初期設定:** 0

## タッチ感度の選択

### タッチレスポンス TouchResponse

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付かた (タッチ感度) を選ぶことができます。

Fixedのボリュームを設定する



#### 設定範囲:

- **Light (ライト)**  
弱いタッチで大きい音を出すことができます。
- **Medium (ミディアム)**  
標準的なタッチです。
- **Heavy (ヘビー)**  
強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。
- **Fixed (フィックスト)**  
タッチによる強弱は付かず一定のボリュームが出ます。そのボリュームはB [- (NO)] [+ (YES)] ボタンで設定します。  
**Fixedのボリュームの設定範囲:** 1 ~ 127 (初期設定: 64)

**初期設定:** Medium

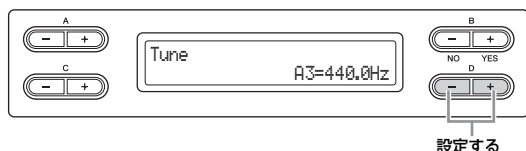
**NOTE** TouchResponseでは、MIDI出力されるノートオンのペロシティーデータも変わります。

## 音の高さの微調整

### チューン Tune

楽器全体の音の高さを微調整することができます。ほかの楽器との合奏やCDの再生に合わせて演奏するときなどに、ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

**NOTE** オーディオソング再生音の高さは変わりません。



**設定範囲:** A3=414.8Hz~466.8Hz (約0.2Hz単位)

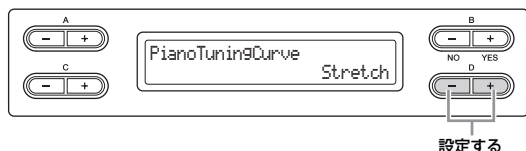
**初期設定:** A3=440.0Hz

## ピアノ音色の調律曲線の選択

### ピアノ チューニングカーブ Piano Tuning Curve

グランドピアノ

「GRAND PIANO 1」～「GRAND PIANO 4」の音色の調律曲線を選ぶことができます。多重録音をしたときなど、ピアノ特有の調律カーブが他の楽器の音の高さと微妙に合わないと感じた場合に、「Flat」を選ぶと解消されます。



**設定範囲:**

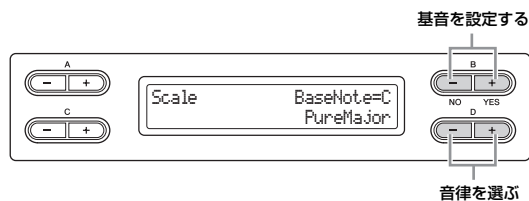
- **Stretch (ストレッチ)**  
ピアノ特有の調律曲線
- **Flat (フラット)**  
全音域に渡ってオクターブで周波数が倍になる調律曲線

**初期設定:** Stretch

## 音律の選択

### スケール Scale

**NOTE** Scale (スケール)=音階



**設定範囲:**

- **Equal (イコール=平均律)**  
1オクターブを12の間隔で等分した音律。現在もっともポピュラーなピアノの調律法。
- **PureMajor/PureMinor (ピュアメジャー /ピュアマイナー=純正律「長調」/「短調」)**  
自然倍音を基準とするため、主要3和音が美しく純粋に響くのが特長。現在でも合唱のハーモニーなどで見られる。
- **Pythagorean (ピタゴリアン=ピタゴラス音律)**  
ギリシャ時代の哲学者ピタゴラスによって考えられた5度音程だけの組み合わせからできた音律。3度はうなりが生じるが4度と5度の音程が美しく、旋律の演奏に向いている。
- **MeanTone (ミーントーン=中全音律)**  
ピタゴラス音律の3度のうなりをなくすために改良された音律。16世紀後半から18世紀後半までにかけて広く普及し、ヘンデルも使用した。
- **Werckmeister/Kirnberger (ヴェルクマイスター /キルンベルガー)**  
中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた音律で、両者はその組み合わせかたが異なる。転調により曲想が変化するのが特長。バッハやベートーベン時代に使用され、現在でもその時代の音楽をハーブシコード(=チェンバロ)などで演奏するときしばしば用いられる。

**初期設定:** Equal

### 基音(演奏する曲の調の主音)を設定する

Equal以外の音律を選んだときは、基音(演奏する曲の調の主音)を設定する必要があります。B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで設定します。

**設定範囲:** C, C#, D, Eb, E, F, F#, G, Ab, A, Bb, B

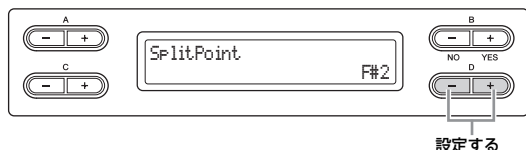
**初期設定:** C

## スプリットポイントを決める

### スプリットポイント SplitPoint

スプリットポイント(鍵盤の右手領域と左手領域の境め)を決めることができます。

**NOTE** スプリットポイントにしたい鍵盤を押して設定することもできます。



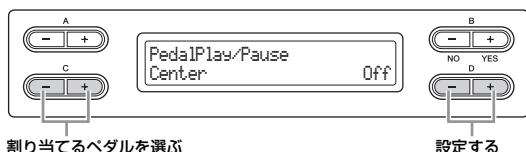
**設定範囲:** A-1~C7

**初期設定:** F#2

## プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE]機能の ペダルへの割り当て

### ペダル プレイ/ポーズ PedalPlay/Pause

**NOTE** ここで[PLAY/PAUSE]の機能を割り当て、Onにして使っている間は、[FUNCTION]ボタンでそのペダルに設定したペダル機能(65ページ)は無効になります。



**設定対象:** Left (レフト)、Center (センター)、AUX

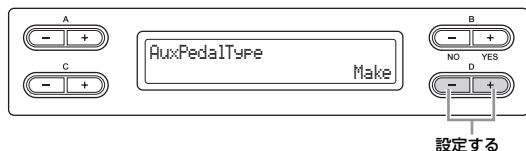
**設定範囲:** On/Off

**初期設定:** どのペダルもOff

## 外部ペダルのタイプ選択

### エーユーエックスペダル タイプ AuxPedalType

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルによって、踏んだときの効果(On/Offや強弱など)が逆になる場合があります。そのような場合に切り替えてください。



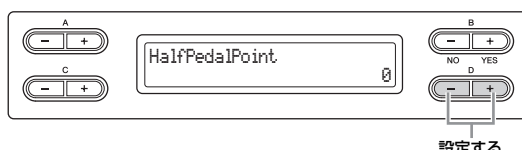
**設定範囲:** Make (メイク)、Break (ブレイク)

**初期設定:** Make

## ハーフペダルポイントの設定

### ハーフペダル ポイント HalfPedalPoint

サステインコンティニューアスリーペダル(右、AUX)をどのくらい踏み込めば SustainContの効果(65ページ)が効き始めるのかを設定することができます。

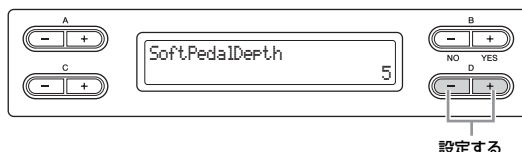


**設定範囲:** -2 (浅い位置で効く)~0~+4 (深い位置で効く)

**初期設定:** 0

## ソフトペダルのかかり具合の設定

### ソフトペダル デプス SoftPedalDepth



**設定範囲:** 1~10

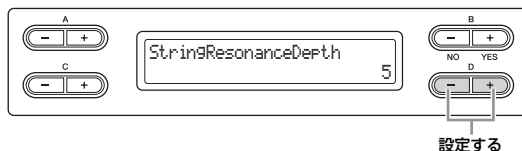
**初期設定:** 5

## 弦共鳴音(ストリングレゾナンス)の かかり具合の設定

### ストリングレゾナンス デプス StringResonanceDepth

**NOTE** String Resonance (ストリングレゾナンス)=弦共鳴音

グランドピアノ音色に有効です。ストリングレゾナンスを付けられる音色について詳しくは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)を確認してください。



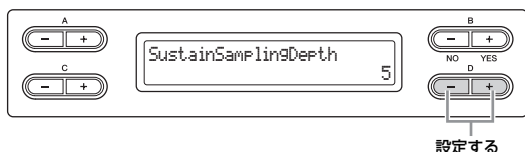
**設定範囲:** Off、1~10

**初期設定:** 5

## ダンパーペダル使用時の共鳴効果 (サステインサンプリング)の かかり具合の設定

### サステインサンプリング デプス SustainSamplingDepth

グランドピアノ音色の一部に有効です。サステインサンプリングを付けられるグランドピアノ音色について詳しくは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)を確認してください。



設定範囲: Off、1~10

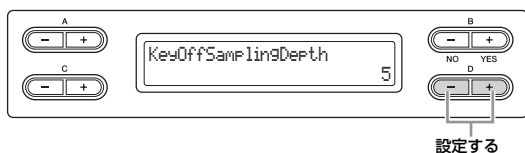
初期設定: 5

## キーオフ音の音量設定

### キーオフサンプリング デプス KeyOffSamplingDepth

キーオフ音(鍵盤を離れたときの微妙な発音)の音量を変えることができます。

グランドピアノ [GRAND PIANO1~3]、エレキピアノ [E. PIANO2]、およびハーピシコード [HARPSICHORD] の音色に有効です。キーオフサンプリングを付けられる音色について詳しくは、「音色一覧(詳細版)」(75ページ)を確認してください。



設定範囲: Off、1~10

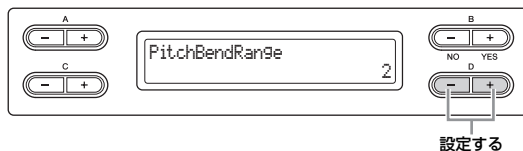
初期設定: 5

## ピッチベンド幅の設定

### ピッチベンドレンジ PitchBendRange

音の高さを連続的に変化させるピッチベンド機能の変化幅を設定します。

- この設定は手弾き音に対して有効です。
- 半音単位で設定できます。
- 音の高さを上げるか下げるかはペダルの機能設定(65ページ)で設定できます。



設定範囲: 0~+12 (ペダルを踏むと12半音<1オクターブ>上がる/下がる)

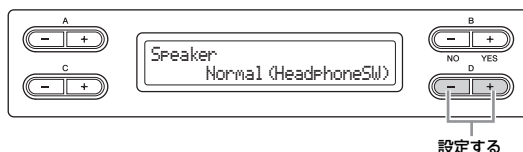
初期設定: 2

NOTE ピアノとハーピシコードの一部の音色では、ピッチベンド幅の設定どおりに音の高さが変化しない場合があります。

## スピーカーのOn/Offを切り替える設定

### スピーカー Speaker

スピーカーのOn/Offを切り替えることができます。



設定範囲:

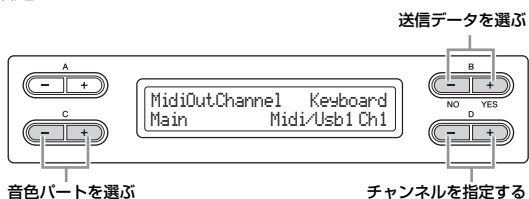
- **Normal (HeadphoneSW)** (ノーマル<ヘッドフォンスイッチ>)
  - ヘッドフォンが接続されていないときだけスピーカーが鳴ります。
- **On**
  - 常にスピーカーが鳴ります。
- **Off**
  - スピーカーは鳴りません。

初期設定: Normal (HeadphoneSW)

## MIDI送信チャンネルの設定

### メディアアウト チャンネル MidiOutChannel

クラビノーバからMIDIデータを送信するときのチャンネルを設定します。



設定対象: Main (メイン)、Left (レフト)、M.L. (メインレイヤー)、L.L. (レフトレイヤー)

設定範囲: Midi/Usb1 Ch1~Ch16、Off (送信しない)

**初期設定:**

- Main ..... Midi/Usb1 Ch1
- Left..... Midi/Usb1 Ch2
- M.L. .... Midi/Usb1 Ch3
- L.L..... Midi/Usb1 Ch4

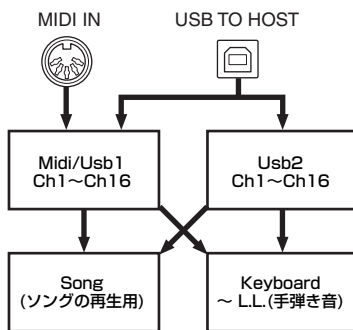
**手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定**

この画面では、手弾き音かソング再生音のデータのどちらをMIDI送信するかも設定できます。

**設定範囲:**

- Keyboard (キーボード)  
手弾きの音
- Song (ソング)  
再生するソングの音

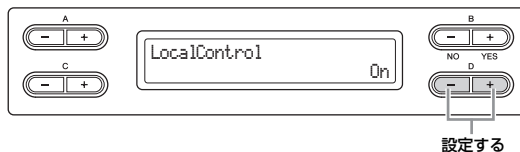
初期設定: Keyboard



**ローカルコントロールOn/Offの設定**

ローカルコントロール  
**LocalControl**

クラビノーバの鍵盤を弾くとクラビノーバの「音源部」から音が鳴る状態を、「ローカルコントロールオン」と呼びます。「ローカルコントロールオフ」にすると「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもクラビノーバからは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いたデータはMIDI送信されますので、クラビノーバでは音を鳴らさずにMIDI接続した外部音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをOffにします。



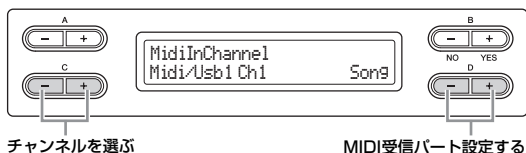
設定範囲: On/Off

初期設定: On

**MIDI受信チャンネルの設定**

ミディイン チャンネル  
**MidiInChannel**

MIDI [IN]端子と、USB [TO HOST]端子から受信したデータについて、受信するかどうかを、チャンネルごとに設定することができます。



**対象のチャンネル:**

- Midi/Usb1 Ch1~16
- Usb2 Ch1~16

設定範囲: Song (ソング)、Main (メイン)、Left (レフト)、M.L. (メインレイヤー)、L.L. (レフトレイヤー)、Keyboard (キーボード)、Off

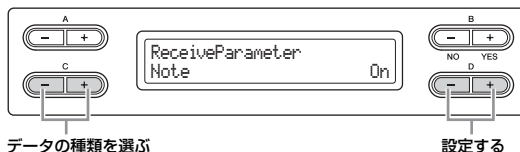
**初期設定:**

- Midi/Usb1 Ch1~16.....Song
- Usb2 Ch1 .....Keyboard
- Usb2 Ch2 .....Main
- Usb2 Ch3 .....Left
- Usb2 Ch4 .....M.L.
- Usb2 Ch5 .....L.L.
- その他.....Off

**MIDI受信するデータの種類の設定**

レシーブ パラメーター  
**ReceiveParameter**

MIDIデータの種類ごとに、受信するかないかを設定することができます。



データの種類: Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチバンド)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

設定範囲: On (受信する)/Off (受信しない)

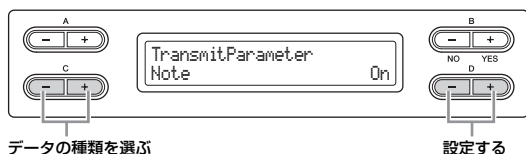
初期設定: すべてのデータがOn



## MIDI送信するデータの種類の設定

トランスミット パラメーター  
**TransmitParameter**

MIDIデータの種類ごとに、送信するかしないかを設定することができます。



**データの種類:** Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SystemRealTime (システムリアルタイム)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

**設定範囲:** On (送信する)/Off (送信しない)

**初期設定:** すべてのデータがOn

## パネル初期設定データの送信

イニシャル セットアップ  
**InitialSetup**

クラビノーバに接続したシーケンサーなどへ、音色選択などのパネル設定データを送信することができます。外部シーケンサーに演奏データを録音する際、演奏データの頭に、録音データを再生しながら自分で演奏するためのパネル設定データを送信して記録しておく、再生しながらの演奏の際、便利です。



B [+ (YES)]ボタンを押すと「Sure?->」(いいですか?)と確認表示が出ます。もう一度B [+ (YES)]ボタンを押すと実行されます。

## 電源オフ時に保存する項目の設定

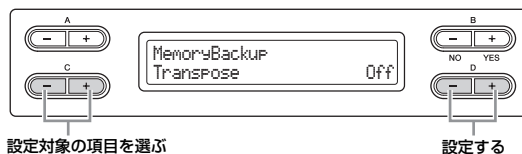
メモリー バックアップ  
**MemoryBackup**

音色選択やメトロノームに関する設定などで自身で設定した内容を、電源をオフにしても消さずに残しておくようにする(=バックアップする)ことができます。

MEMORYドライブに保存した曲とここでのバックアップオン/オフの設定自体、および「CharacterCode」<sup>キャラクターコード</sup>の設定(48ページ)は、常にバックアップされます。

### 注記

設定を保存するまでに、数秒かかります。設定変更後すぐに電源を切ると、設定が保存されないことがあります。



### 設定対象:

Transpose (トランスポーズ)  
Brilliance (ブリリアンス)  
ReverbOnOff (リバースオンオフ)  
SoundSetting (サウンドセッティング: I.A.コントロール、GPサウンドボードスピーカーの設定)  
SplitPoint (スプリットポイント)  
Main/LeftVoice (メイン/レフトボイス)  
MetronomeSetting (メトロノームセッティング)  
File/SongSetting (ファイル/ソングセッティング)  
MidiSetting (MIDIセッティング: ファンクションの中のMIDI関連の設定)  
Function (ファンクション)\*  
\*Transpose (トランスポーズ)、SplitPoint (スプリットポイント)、MidiSetting (MIDIセッティング)は除く

**設定範囲:** On (バックアップする)/Off (バックアップしない)

**初期設定:** Transpose、Main/LeftVoice、MetronomeSetting、およびFunctionはOff、そのほかはOn

## 初期設定に戻す

### ファクトリーセット FactorySet

クラビノーバを、初期設定(工場出荷時の状態=初めて電源を入れたときの状態)に戻すことができます。

- [FILE/SONG SETTING]操作の「CharacterCode」の設定は変わりません。
- 「MemoryBackup」(73ページ)のOn/Off設定も初期設定に戻ります。
- MEMORYドライブに保存した曲については、消去するかしないかを選択できます。

#### 初期設定とは

本書では、はじめて電源を入れたときの設定(工場出荷時の設定)のことです。

#### 注記

ファクトリーセット中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

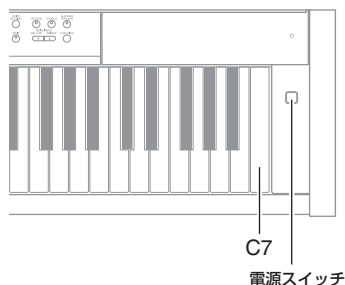


#### MEMORYドライブの曲についての選択：

- MemorySongExcluded  
(メモリーソング エクスルーデッド) ..... 消去しない
- MemorySongIncluded  
(メモリーソング インクルーデッド) ..... 消去する

#### 初期設定に戻す他の方法

右端の白鍵(C7)を押したまま電源をオン(電源スイッチを押す)にしても、初期設定に戻すことができます。この場合、MEMORYドライブに保存した曲は消去されません。



## データのバックアップ/読み込み

### フル バックアップ FullBackup

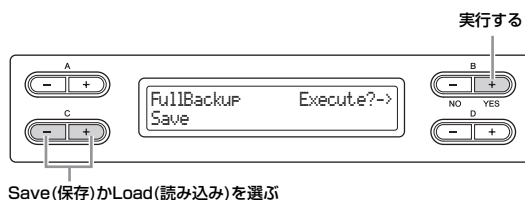
本体の設定や本体に保存したデータの万一の事故に備えて、大切なデータをUSB記憶装置にバックアップとして保存できます。また、保存したデータを本体に読み込んで、元の設定に戻すこともできます。USB記憶装置を接続してから操作してください。

#### 注記

- ソングの再生中やソングのファイル操作中(41ページ)などにバックアップ/読み込みを実行しないでください。データの破損の原因になります。
- バックアップ/読み込み中に電源を切らないでください。データ破損の原因になります。

#### NOTE

- データのバックアップを保存するときは、USB記憶装置を複数接続しないことをおすすめします。USBハブなどを使って複数の記憶装置を接続しても、バックアップ先を選ぶことができません。
- バックアップが完了するまでに、1~2分かかることがあります。
- プロテクトがかかったソング(ソング名の左にMSまたはMsと表示されます)は、バックアップできません。バックアップ前に、USB記憶装置に移動(45ページ)してください。プロテクトがかかったソングは、バックアップデータを本体に読み込んだときに消去されてしまいます。



#### バックアップファイル名: clp-480.bup

**NOTE** USB記憶装置内にすでに同名のファイルがある場合は上書きされます。

# 付録

## 音色一覧(詳細版)

音色グループ	音色名	タッチレスポンス	ステレオサンプリング	キーオフサンプリング	サステインサンプリング	ストリングレゾナンス	音色紹介
GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	Grand Piano (グランドピアノ)	○	○	○	○	○	コンサートグランドピアノからサンプリングされたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。また、ダンパーペダル使用時のペダル位置による音色変化、鍵盤を離したタイミングによる微妙な発音など、さまざまな要素においてアコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音作ります。また、生ピアノ独特の、弦どうしの共鳴(ストリングレゾナンス)も再現しました。クラシックはもちろん、どんなジャンルピアノ曲にも合います。
	Ballad Grand (バラードピアノ)	○	○	○	○	○	スタンダードですが、温かみのあるソフトなピアノの音です。バラードの演奏に最適です。
	Rock Piano (ロックピアノ)	○	○	○	○	○	明るい響きを持ったブライトピアノの音です。ロック系の音楽に最適です。
	HonkyTonk Piano (ホンキートンクピアノ)	○	○	○	○	-	ホンキートンク風のピアノの音です。グランドピアノと異なったキャラクターをお楽しみください。
GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	Mellow Grand (メローグランド)	○	○	○	-	○	アタック感がない、メローなピアノの音です。静かなゆったりとした音楽に最適です。
	Warm Grand (ウォームグランド)	○	○	○	○	○	温かみあるしっとりとしたピアノの音です。落ち着いた曲に合います。
GRAND PIANO 3 (グランドピアノ3)	Bright Grand (ブライトグランド)	○	○	○	○	○	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
	Pop Grand (ポップグランド)	○	○	○	○	○	Grand Pianoより少し明るめなピアノの音です。ポピュラー系の音楽に最適です。
GRAND PIANO 4 (グランドピアノ4)	Live Grand (ライブグランド)	○	○	-	-	-	明るい響きを持った広がりのあるクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
	Dynamic Grand (ダイナミックグランド)	○	○	○	○	-	低音感のある硬い感じのピアノ音です。ダイナミック感のある演奏に合います。
E.PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	DX E.Piano (DXエレクトリックピアノ)	○	-	-	-	-	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。
	Synth Piano (シンセピアノ)	○	-	-	-	-	ポピュラー音楽でよく耳にするシンセサイザーによる電子ピアノの音です。アコースティックピアノとのデュアルでも楽しめます。
E.PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	Stage E.Piano (ステージエレクトリックピアノ)	○	-	○	-	-	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
	Vintage E.Piano (ビンテージエレクトリックピアノ)	○	-	-	-	-	異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。
HARPSICHORD (ハーpsiコード)	Harpsichord 8' (ハーpsiコード8')	-	○	○	-	-	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
	Harpsichord 8'+4' (ハーpsiコード8'+4')	-	○	○	-	-	オクターブ上の音がミックスされたハーpsiコードの音です。より華やかさが感じられます。
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	Vibraphone (ビブラフォン)	○	○	-	-	-	マレットでたたいた比較的柔らかなビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
	Marimba (マリンバ)	○	○	-	-	-	ステレオサンプリングによる広がり感と臨場感あるマリンバの音です。
	Celesta (チェレスタ)	○	○	-	-	-	チェレスタ(鍵盤を弾くと、ハンマーが金属製の音板をたたいて音を出す打楽器)の音です。チャイコフスキーの組曲「くるみ割り人形」の「こんぺいとうの踊り」での印象的なフレーズが有名です。

音色グループ	音色名	タッチレスポンス	ステレオサンプリング	キーオフサンプリング	サステインサンプリング	ストリングレゾナンス	音色紹介
PIPE ORGAN (パイプオルガン)	Pipe Organ Principal (パイプオルガン プリンシパル)	-	○	-	-	-	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
	Pipe Organ Tutti (パイプオルガン トゥッティ)	-	○	-	-	-	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカブラーの音です。
	Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガン フルート1)	-	○	-	-	-	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート)です。讃美歌の伴奏などに適した柔らかい音です。
	Pipe Organ Flute 2 (パイプオルガン フルート2)	-	○	-	-	-	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)混合音栓の音(8フィート+4フィート+1(1/3)フィート)です。Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガンフルート1)よりやや華やかな音色で、ソロ向きです。
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	Jazz Organ (ジャズオルガン)	-	-	-	-	-	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。
	Rotary Organ (ロータリーオルガン)	-	-	-	-	-	明るく華やかな感じのする電気オルガンの音です。
	Mellow Organ (メローオルガン)	-	-	-	-	-	メロウな感じの電気オルガンの音です。落ち着いた曲に最適です。
STRINGS (ストリングス)	Strings (ストリングス)	○	○	-	-	-	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。アコースティックピアノとのデュアルでも楽しめます。
	Synth Strings (シンセストリングス)	○	-	-	-	-	明るく広がりのあるストリングスの音です。アンサンブルのバックの通奏音に適しています。
	Slow Strings (スローストリングス)	○	○	-	-	-	立ち上がりの緩やかな弦楽アンサンブルの音です。GRAND PIANO (グランドピアノ)やE.PIANO (エレクトリックピアノ)とのデュアルに向いています。
CHOIR (クワイア)	Choir (クワイア)	○	-	-	-	-	空間に広がる心和む合唱の音です。スローな曲で和音の広がりが増えます。
	Slow Choir (スロークワイア)	○	-	-	-	-	立ち上がりの緩やかな合唱の音です。GRANDPIANOやE.PIANOとのデュアルに向いています。
	Scat (スカット)	○	-	-	-	-	ジャズのスカットが楽しめます。弾く強さ、音域でいろいろな音が飛び出します。
SYNTH.PAD (シンセパッド)	Synth Pad 1 (シンセパッド1)	○	-	-	-	-	暖かくメローで広がりのあるシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
	Synth Pad 2 (シンセパッド2)	○	-	-	-	-	空間的広がりのあるクリアなシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
GUITAR (ギター)	Nylon Guitar (ナイロンギター)	○	○	-	-	-	ステレオサンプリングによる臨場感ある音です。ナチュラルな響きのあるこの音は、あらゆるジャンルに合います。
	Steel Guitar (スチールギター)	○	-	-	-	-	明るく華やかな感じのするスチールギターの音です。ポピュラー音楽に最適です。
BASS (ベース)	Wood Bass (ウッドベース)	○	-	-	-	-	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
	Bass & Cymbal (ベース&シンバル)	○	-	-	-	-	シンバルの音を重ねてあります。ジャズのウォーキングベースに用いると効果的です。
	Electric Bass (エレクトリックベース)	○	-	-	-	-	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポピュラーなどの音楽によく用いられます。
	Fretless Bass (フレットレスベース)	○	-	-	-	-	フレッドレスベースの音です。ジャズ、フュージョンなどの音楽に向いています。

#### キーオフサンプリングとは

鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングしたものです。

#### サステインサンプリングとは

ダンパーペダルを踏んだときの音をサンプリングしたものです。

#### ストリングレゾナンスとは

弦の共鳴音をシミュレーションしたものです。

## [VOICE SETTING]で設定できるエフェクトタイプ

### リバーブタイプ

Effect Name	MSB	LSB
Hall1	1	0
Hall2	1	17
Room	2	17
Stage	3	17
Plate	4	16

### コーラスタイプ

Effect Name	MSB	LSB
Chorus	65	8
Celeste	66	8
Flanger	67	1

### DSPタイプ

Effect Name	MSB	LSB
OFF	64	0
DamperReso	123	16
DelayLCR	5	16
DelayLR	6	0
Echo	7	0
CrossDelay	8	0
Symphonic	68	16
Rotary	66	18
Tremolo	70	18
VibeRotor	119	0
AutoPan	71	21
Phaser	72	17
AutoWah	78	16

# XG音色一覧

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Piano	GrandPiano	0	0	1	2	
	GrndPianoKSP	0	1	1	1	
	MellowGrPno	0	18	1	2	
	PianoStrings	0	40	1	2	
	Dream	0	41	1	2	
	BrightPiano	0	0	2	2	
	BritePhoKSP	0	1	2	1	
	ElecGrandPno	0	0	3	2	
	ElecGrPnoKSP	0	1	3	2	
	DetunedCP80	0	32	3	2	
	LayeredCP1	0	40	3	2	
	LayeredCP2	0	41	3	2	
	Honkytonk	0	0	4	2	
	HonkytonkKSP	0	1	4	2	
	El.Piano1	0	0	5	2	
	El.Piano1KSP	0	1	5	1	
	MellowEP1	0	18	5	2	
	ChorusEP1	0	32	5	2	
	HardEl.Piano	0	40	5	2	
	VxfadeEl.P1	0	45	5	2	
	60sEl.Piano1	0	64	5	1	
	El.Piano2	0	0	6	2	
	El.Piano2KSP	0	1	6	1	
	ChorusEP2	0	32	6	2	
	DXEPHard	0	33	6	2	
	DXLegend	0	34	6	2	
	DXPhaseEP	0	40	6	2	
	DX+ AnalogEP	0	41	6	2	
	DXKotoEP	0	42	6	2	
	VxfadeEl.P2	0	45	6	2	
	Harpsichord	0	0	7	1	
	Harpsi.KSP	0	1	7	1	
	Harpsichord2	0	25	7	2	
	Harpsichord3	0	35	7	2	
	Clavi.	0	0	8	1	
	Clavi.KSP	0	1	8	1	
	Clavi.Wah	0	27	8	2	
	PulseClavi.	0	64	8	1	
	PierceClavi.	0	65	8	2	
	Chromatic Percussion	Celesta	0	0	9	1
		Glockenspiel	0	0	10	1
		MusicBox	0	0	11	2
		Orgel	0	64	11	2
		Vibraphone	0	0	12	1
		VibesKSP	0	1	12	1
		HardVibes	0	45	12	2
		Marimba	0	0	13	1
MarimbakKSP		0	1	13	1	
SineMarimba		0	64	13	2	
Balimba		0	97	13	2	
LogDrums		0	98	13	2	
Xylophone		0	0	14	1	
TubularBells		0	0	15	1	
ChurchBells		0	96	15	2	
Carillon		0	97	15	2	
Dulcimer		0	0	16	1	
Dulcimer2		0	35	16	2	
Cimbalom		0	96	16	2	
Santur		0	97	16	2	
Organ	DrawbarOrgan	0	0	17	1	
	DetDrawOrgan	0	32	17	2	
	60sDrawOrg1	0	33	17	2	
	60sDrawOrg2	0	34	17	2	
	70sDrawOrg1	0	35	17	2	
	DrawbarOrg2	0	36	17	2	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Organ	60sDrawOrg3	0	37	17	2
	EvenBarOrg	0	38	17	2
	16+2'2_3Org	0	40	17	2
	OrganBass	0	64	17	1
	70sDrawOrg2	0	65	17	2
	CheezyOrgan	0	66	17	2
	DrawbarOrg3	0	67	17	2
	Perc.Organ	0	0	18	1
	70sPercOrg1	0	24	18	2
	DetPercOrgan	0	32	18	2
	LightOrgan	0	33	18	2
	Perc.Organ2	0	37	18	2
	RockOrgan	0	0	19	1
	RotaryOrgan	0	64	19	2
	SlowRotary	0	65	19	2
	FastRotary	0	66	19	2
	ChurchOrgan	0	0	20	2
	ChurchOrgan3	0	32	20	2
	ChurchOrgan2	0	35	20	2
	NotreDame	0	40	20	2
	OrganFlute	0	64	20	2
	Trem.OrganFl	0	65	20	2
	ReedOrgan	0	0	21	1
	PuffOrgan	0	40	21	2
	Accordion	0	0	22	1
	Accordit	0	32	22	2
	Harmonica	0	0	23	1
Harmonica2	0	32	23	2	
TangoAccord	0	0	24	1	
TangoAccord2	0	64	24	2	
Guitar	NylonGuitar	0	0	25	1
	NylonGuitar2	0	16	25	1
	NylonGuitar3	0	25	25	2
	VelGtrHarmo	0	43	25	1
	Ukulele	0	96	25	1
	SteelGuitar	0	0	26	1
	SteelGuitar2	0	16	26	1
	12StrGuitar	0	35	26	2
	Nylon&Steel	0	40	26	2
	Steel&Body	0	41	26	2
	Mandolin	0	96	26	2
	JazzGuitar	0	0	27	1
	MellowGuitar	0	18	27	1
	JazzAmp	0	32	27	2
	CleanGuitar	0	0	28	1
	ChorusGuitar	0	32	28	2
	MutedGuitar	0	0	29	1
	FunkGuitar1	0	40	29	2
	MuteSteelGtr	0	41	29	2
	FunkGuitar2	0	43	29	1
	JazzMan	0	45	29	2
	Overdriven	0	0	30	1
	GuitarPinch	0	43	30	1
	Distortion	0	0	31	1
	FeedbackGtr	0	40	31	2
	FeedbackGtr2	0	41	31	2
	GtrHarmonics	0	0	32	1
GtrFeedback	0	65	32	1	
GtrHarmonic2	0	66	32	1	
Bass	AcousticBass	0	0	33	1
	JazzRhythm	0	40	33	2
	VXUprghtBass	0	45	33	2
	FingerBass	0	0	34	1
	FingerDark	0	18	34	2
FlangeBass	0	27	34	2	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Bass	Bass&DistEG	0	40	34	2
	FingerSlap	0	43	34	1
	FingerBass2	0	45	34	2
	Mod.Bass	0	65	34	2
	PickBass	0	0	35	1
	MutePickBass	0	28	35	1
	FretlessBass	0	0	36	1
	Fretless2	0	32	36	2
	Fretless3	0	33	36	2
	Fretless4	0	34	36	2
	Syn.Fretless	0	96	36	2
	SmthFretless	0	97	36	2
	SlapBass1	0	0	37	1
	ResonantSlap	0	27	37	1
	PunchThumb	0	32	37	2
	SlapBass2	0	0	38	1
	Velo.Sw.Slap	0	43	38	1
	SynthBass1	0	0	39	1
	SynBass1Dark	0	18	39	1
	FastResoBass	0	20	39	1
	AcidBass	0	24	39	1
	ClaviBass	0	35	39	2
	TechnoBass	0	40	39	2
	Orbiter	0	64	39	2
	SquareBass	0	65	39	1
	RubberBass	0	66	39	2
	Hammer	0	96	39	2
	SynthBass2	0	0	40	2
	MellowSyBass	0	6	40	1
	SequenceBass	0	12	40	2
	ClickSynBass	0	18	40	2
	SynBass2Dark	0	19	40	1
	SmoothSyBass	0	32	40	2
	ModulrSyBass	0	40	40	2
	DXBass	0	41	40	2
	XWireBass	0	64	40	2
Strings	Violin	0	0	41	1
	SlwAtkViolin	0	8	41	1
	Viola	0	0	42	1
	Cello	0	0	43	1
	Contrabass	0	0	44	1
	Trem.Strings	0	0	45	1
	SlwAtTremStr	0	8	45	1
	SuspenseStr	0	40	45	2
	PizzicatoStr	0	0	46	1
	Orch.Harp	0	0	47	1
	YangChin	0	40	47	2
	Timpani	0	0	48	1
Ensemble	Strings1	0	0	49	1
	StereoStrngs	0	3	49	2
	SlwAtkStrings	0	8	49	1
	ArcoStrings	0	24	49	2
	60'sStrings	0	35	49	2
	Orchestra	0	40	49	2
	Orchestra2	0	41	49	2
	TremOrchestra	0	42	49	2
	Velo.Strings	0	45	49	2
	Strings2	0	0	50	1
	S.SlowStrings	0	3	50	2
	LegatoStrings	0	8	50	2
	WarmStrings	0	40	50	2
	Kingdom	0	41	50	2
	70'sStrings	0	64	50	1
	Strings3	0	65	50	1
	SynStrings1	0	0	51	2

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Ensemble	ResoStrings	0	27	51	2	
	SynStrings4	0	64	51	2	
	SynStrings5	0	65	51	2	
	SynStrings2	0	0	52	2	
	ChoirAahs	0	0	53	1	
	StereoChoir	0	3	53	2	
	ChoirAahs2	0	16	53	2	
	MellowChoir	0	32	53	2	
	ChoirStrings	0	40	53	2	
	VoiceOohs	0	0	54	1	
	SynthVoice	0	0	55	1	
	SynthVoice2	0	40	55	2	
	Choral	0	41	55	2	
	AnalogVoice	0	64	55	1	
	OrchestraHit	0	0	56	2	
	OrchestraHit2	0	35	56	2	
	Impact	0	64	56	2	
	Brass	Trumpet	0	0	57	1
		Trumpet2	0	16	57	1
		BriteTrumpet	0	17	57	2
WarmTrumpet		0	32	57	2	
Trombone		0	0	58	1	
Trombone2		0	18	58	2	
Tuba		0	0	59	1	
Tuba2		0	16	59	1	
MutedTrumpet		0	0	60	1	
FrenchHorn		0	0	61	1	
Fr.HornSolo		0	6	61	1	
FrenchHorn2		0	32	61	2	
HornOrchestr		0	37	61	2	
BrassSection		0	0	62	1	
Tp&TbSection		0	35	62	2	
BrassSect2		0	40	62	2	
HighBrass		0	41	62	2	
MellowBrass		0	42	62	2	
SynthBrass1		0	0	63	2	
QuackBrass		0	12	63	2	
ResoSynBrass		0	20	63	2	
PolyBrass		0	24	63	2	
SynthBrass3		0	27	63	2	
JumpBrass		0	32	63	2	
AnaVelBrass1		0	45	63	2	
AnalogBrass1		0	64	63	2	
SynthBrass2		0	0	64	1	
SoftBrass		0	18	64	2	
SynthBrass4	0	40	64	2		
ChoirBrass	0	41	64	2		
AnaVelBrass2	0	45	64	2		
AnalogBrass2	0	64	64	2		
Reed	SopranoSax	0	0	65	1	
	AltoSax	0	0	66	1	
	SaxSection	0	40	66	2	
	HyperAltoSax	0	43	66	1	
	TenorSax	0	0	67	1	
	BreathyTenor	0	40	67	2	
	SoftTenorSax	0	41	67	2	
	TenorSax2	0	64	67	1	
	BaritoneSax	0	0	68	1	
	Oboe	0	0	69	1	
	EnglishHorn	0	0	70	1	
	Bassoon	0	0	71	1	
Clarinet	0	0	72	1		
Pipe	Piccolo	0	0	73	1	
	Flute	0	0	74	1	
	Recorder	0	0	75	1	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Pipe	PanFlute	0	0	76	1	
	BlownBottle	0	0	77	2	
	Shakuhachi	0	0	78	1	
	Whistle	0	0	79	1	
Synth. Lead	Ocarina	0	0	80	1	
	SquareLead	0	0	81	2	
	SquareLead2	0	6	81	1	
	LMSquare	0	8	81	2	
	Hollow	0	18	81	1	
	Shroud	0	19	81	2	
	Mellow	0	64	81	2	
	SoloSine	0	65	81	2	
	SineLead	0	66	81	1	
	SawtoothLead	0	0	82	2	
	SawtoothLd2	0	6	82	1	
	ThickSaw	0	8	82	2	
	DynamicSaw	0	18	82	1	
	DigitalSaw	0	19	82	2	
	BigLead	0	20	82	2	
	HeavySynth	0	24	82	2	
	WaspySynth	0	25	82	2	
	PulseSaw	0	40	82	2	
	Dr.Lead	0	41	82	2	
	VelocityLead	0	45	82	2	
	Seq.Analog	0	96	82	2	
	CalliopeLead	0	0	83	2	
	PureLead	0	65	83	2	
	ChiffLead	0	0	84	2	
	Rubby	0	64	84	2	
	CharangLead	0	0	85	2	
	DistortedLd	0	64	85	2	
	WireLead	0	65	85	2	
	VoiceLead	0	0	86	2	
	SynthAahs	0	24	86	2	
	VoxLead	0	64	86	2	
	FifthsLead	0	0	87	2	
	BigFive	0	35	87	2	
	Bass&Lead	0	0	88	2	
	Big&Low	0	16	88	2	
	Fat&Perky	0	64	88	2	
	SoftWhirl	0	65	88	2	
	Synth. Pad	NewAgePad	0	0	89	2
		Fantasy	0	64	89	2
		WarmPad	0	0	90	2
ThickPad		0	16	90	2	
SoftPad		0	17	90	2	
SinePad		0	18	90	2	
HornPad		0	64	90	2	
RotaryStrngs		0	65	90	2	
PolySynthPad		0	0	91	2	
PolyPad80		0	64	91	2	
ClickPad		0	65	91	2	
AnalogPad		0	66	91	2	
SquarePad		0	67	91	2	
ChoirPad		0	0	92	2	
Heaven		0	64	92	2	
ltopia		0	66	92	2	
CCPad		0	67	92	2	
BowedPad		0	0	93	2	
Glacier		0	64	93	2	
GlassPad		0	65	93	2	
MetallicPad		0	0	94	2	
TinePad		0	64	94	2	
PanPad		0	65	94	2	
HaloPad		0	0	95	2	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Synth. Pad	SweepPad	0	0	96	2
	Shwimmer	0	20	96	2
	Converge	0	27	96	2
	PolarPad	0	64	96	2
	Celestial	0	66	96	2
Synth. Effects	Rain	0	0	97	2
	ClaviPad	0	45	97	2
	HarmoRain	0	64	97	2
	AfricanWind	0	65	97	2
	Carib	0	66	97	2
	SoundTrack	0	0	98	2
	Prologue	0	27	98	2
	Ancestral	0	64	98	2
	Crystal	0	0	99	2
	SynthDr.Comp	0	12	99	2
	Popcorn	0	14	99	2
	TinyBells	0	18	99	2
	RoundGlocken	0	35	99	2
	GlockenChime	0	40	99	2
	ClearBells	0	41	99	2
	ChorusBells	0	42	99	2
	SynthMallet	0	64	99	1
	SoftCrystal	0	65	99	2
	LoudGlocken	0	66	99	2
	ChristmasBel	0	67	99	2
	VibeBells	0	68	99	2
	DigitalBells	0	69	99	2
	AirBells	0	70	99	2
	BellHarp	0	71	99	2
	Gamelimba	0	72	99	2
	Atmosphere	0	0	100	2
	WarmAtmos.	0	18	100	2
	HollwRelease	0	19	100	2
	NylonElPiano	0	40	100	2
	NylonHarp	0	64	100	2
	HarpVox	0	65	100	2
	Atmos.Pad	0	66	100	2
	Planet	0	67	100	2
	Brightness	0	0	101	2
	FantasyBells	0	64	101	2
	Smokey	0	96	101	2
	Goblins	0	0	102	2
	GoblinsSynth	0	64	102	2
	Creeper	0	65	102	2
	RingPad	0	66	102	2
Ritual	0	67	102	2	
ToHeaven	0	68	102	2	
Night	0	70	102	2	
Glisten	0	71	102	2	
BellChoir	0	96	102	2	
Echoes	0	0	103	2	
Echoes2	0	8	103	2	
EchoPan	0	14	103	2	
EchoBells	0	64	103	2	
BigPan	0	65	103	2	
SynthPiano	0	66	103	2	
Creation	0	67	103	2	
StarDust	0	68	103	2	
Reso&Panning	0	69	103	2	
Sci-Fi	0	0	104	2	
Starz	0	64	104	2	
Ethnic	Sitar	0	0	105	1
	DetunedSitar	0	32	105	2
	Sitar2	0	35	105	2
	Tambra	0	96	105	2



音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Ethnic	Tamboura	0	97	105	2
	Banjo	0	0	106	1
	MutedBanjo	0	28	106	1
	Rabab	0	96	106	2
	Gopichant	0	97	106	2
	Oud	0	98	106	2
	Shamisen	0	0	107	1
	Koto	0	0	108	1
	Taisho-kin	0	96	108	2
	Kanoon	0	97	108	2
	Kalimba	0	0	109	1
	Bagpipe	0	0	110	2
	Fiddle	0	0	111	1
	Shanai	0	0	112	1
	Shanai2	0	64	112	1
	Pungi	0	96	112	1
Hichiriki	0	97	112	2	
Percussive	TinkleBell	0	0	113	2
	Bonang	0	96	113	2
	Altair	0	97	113	2
	GamelanGongs	0	98	113	2
	StereoGamlan	0	99	113	2
	RamaCymbal	0	100	113	2
	AsianBells	0	101	113	2
	Agogo	0	0	114	2
	SteelDrums	0	0	115	1
	GlassPerc.	0	97	115	2
	ThaiBells	0	98	115	2
	Woodblock	0	0	116	1
	Castanets	0	96	116	1
	TaikoDrum	0	0	117	1
	GranCassa	0	96	117	1
	MelodicTom	0	0	118	2
	MelodicTom2	0	64	118	1
	RealTom	0	65	118	2
	RockTom	0	66	118	2
	SynthDrum	0	0	119	1
AnalogTom	0	64	119	1	
ElectroPerc.	0	65	119	2	
Rev.Cymbal	0	0	120	1	
Sound Effects	GtrFretNoise	0	0	121	1
	BreathNoise	0	0	122	1
	Seashore	0	0	123	2
	BirdTweet	0	0	124	2
	TelephonRing	0	0	125	1
	Helicopter	0	0	126	1
	Applause	0	0	127	1
	Gunshot	0	0	128	1
SFX	CuttingNoise	64	0	1	1
	CuttingNoiz2	64	0	2	2
	StringSlap	64	0	4	1
	Fl.KeyClick	64	0	17	1
	Shower	64	0	33	1
	Thunder	64	0	34	1
	Wind	64	0	35	1
	Stream	64	0	36	2
	Bubble	64	0	37	2
	Feed	64	0	38	2
	Dog	64	0	49	1
	Horse	64	0	50	1
	BirdTweet2	64	0	51	1
	Ghost	64	0	55	2
	Maou	64	0	56	2
	PhoneCall	64	0	65	1
DoorSqueak	64	0	66	1	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
SFX	DoorSlam	64	0	67	1
	ScratchCut	64	0	68	1
	ScratchSplit	64	0	69	2
	WindChime	64	0	70	1
	TelephonRing2	64	0	71	1
	CarEngineIgn	64	0	81	1
	CarTiresSqel	64	0	82	1
	CarPassing	64	0	83	1
	CarCrash	64	0	84	1
	Siren	64	0	85	2
	Train	64	0	86	1
	JetPlane	64	0	87	2
	Starship	64	0	88	2
	Burst	64	0	89	2
	RollrCoaster	64	0	90	2
	Submarine	64	0	91	1
	Laugh	64	0	97	1
	Scream	64	0	98	1
	Punch	64	0	99	1
	Heartbeat	64	0	100	1
	FootSteps	64	0	101	1
	MachineGun	64	0	113	1
	LaserGun	64	0	114	2
	Explosion	64	0	115	2
Firework	64	0	116	2	

# XGドラムキット一覧

・ Key Off 腕に「O」がついている楽器は、鍵盤を離したときに発音が止まります。

・ Alternate Group 欄の番号はグループを表し、同じグループ番号の中で、1つの楽器を発音させると同じグループの中の他の楽器の発音が止まります。

Standard Kit 1と同じ

音は鳴りません

Bank Select MSB (0-127)		127	127	127	127	127	127	127	
Bank Select LSB (0-127)		0	0	0	0	0	0	0	
Program Change (0-127)		0	1	8	16	24	25	27	
Program Change (1-128)		1	2	9	17	25	26	28	
MIDI Note#	Key Off	Alternate Group	Standard Kit1	Standard Kit2	Room Kit	Rock Kit	Electro Kit	Analog Kit	Dance Kit
13	C#-1	3	Surdo Mute						
14	D-1	3	Surdo Open						
15	D#-1		Hi Q						
16	E-1		Whip Slap						
17	F-1	4	Scratch H						
18	F#-1	4	Scratch L						
19	G-1		Finger Snap						
20	G#-1		Click Noise						
21	A-1		Metronome Click						
22	A#-1		Metronome Bell						
23	B-1		Seq Click L						
24	C0		Seq Click H						
25	C#0		Brush Tap						
26	D0	O	Brush Swirl						
27	D#0		Brush Slap						
28	E0	O	Brush Tap Swirl				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal	Reverse Cymbal
29	F0	O	Snare Roll						
30	F#0		Castanet				Hi Q 2	Hi Q 2	Hi Q 2
31	G0		Snare Soft	Snare Soft 2		Snare Noisy	Snare Snappy Electro	Snare Noisy 4	Snare Techno
32	G#0		Sticks						
33	A0		Kick Soft				Kick 3	Kick 3	Kick Techno Q
34	A#0		Open Rim Shot	Open Rim Shot H Short					Rim Gate
35	B0		Kick Tight			Kick 2	Kick Gate	Kick Analog Short	Kick Techno L
36	C1		Kick	Kick Short		Kick Gate	Kick Gate Heavy	Kick Analog	Kick Techno
37	C#1		Side Stick	Side Stick Light				Side Stick Analog	Side Stick Analog
38	D1		Snare	Snare Short	Snare Snappy	Snare Rock	Snare Noisy 2	Snare Analog	Snare Clap
39	D#1		Hand Clap						
40	E1		Snare Tight	Snare Tight H	Snare Tight Snappy	Snare Rock Tight	Snare Noisy 3	Snare Analog 2	Snare Dry
41	F1		Floor Tom L		Floor Tom Room 1	Tom Rock 1	Tom Electro 1	Tom Analog 1	Tom Analog 1
42	F#1	1	Hi-Hat Closed					Hi-Hat Closed Analog	Hi-Hat Closed 3
43	G1		Floor Tom H		Tom Room 2	Tom Rock 2	Tom Electro 2	Tom Analog 2	Tom Analog 2
44	G#1	1	Hi-Hat Pedal					Hi-Hat Closed Analog 2	Hi-Hat Closed Analog 3
45	A1		Low Tom		Tom Room 3	Tom Rock 3	Tom Electro 3	Tom Analog 3	Tom Analog 3
46	A#1	1	Hi-Hat Open					Hi-Hat Open Analog	Hi-Hat Open 3
47	B1		Mid Tom L		Tom Room 4	Tom Rock 4	Tom Electro 4	Tom Analog 4	Tom Analog 4
48	C2		Mid Tom H		Tom Room 5	Tom Rock 5	Tom Electro 5	Tom Analog 5	Tom Analog 5
49	C#2		Crash Cymbal 1					Crash Analog	Crash Analog
50	D2		High Tom		Tom Room 6	Tom Rock 6	Tom Electro 6	Tom Analog 6	Tom Analog 6
51	D#2		Ride Cymbal 1						
52	E2		Chinese Cymbal						
53	F2		Ride Cymbal Cup						
54	F#2		Tambourine						
55	G2		Splash Cymbal						
56	G#2		Cowbell					Cowbell Analog	Cowbell Analog
57	A2		Crash Cymbal 2						
58	A#2		Vibraslap						
59	B2		Ride Cymbal 2						
60	C3		Bongo H						
61	C#3		Bongo L						
62	D3		Conga H Mute					Conga Analog H	Conga Analog H
63	D#3		Conga H Open					Conga Analog M	Conga Analog M
64	E3		Conga L					Conga Analog L	Conga Analog L
65	F3		Timbale H						
66	F#3		Timbale L						
67	G3		Agogo H						
68	G#3		Agogo L						
69	A3		Cabasa						
70	A#3		Maracas					Maracas 2	Maracas 2
71	B3	O	Samba Whistle H						
72	C4	O	Samba Whistle L						
73	C#4		Guiro Short						
74	D4	O	Guiro Long						
75	D#4		Claves					Claves 2	Claves 2
76	E4		Wood Block H						
77	F4		Wood Block L						
78	F#4		Cuica Mute				Scratch H 2	Scratch H 2	Scratch H 2
79	G4		Cuica Open				Scratch L 2	Scratch L 2	Scratch L 2
80	G#4	2	Triangle Mute						
81	A4	2	Triangle Open						
82	A#4		Shaker						
83	B4		Jingle Bells						
84	C5		Bell Tree						
85	C#5								
86	D5								
87	D#5								
88	E5								
89	F5								
90	F#5								
91	G5								

Bank Select MSB (0-127)		127	127	127	126	126		
Bank Select LSB (0-127)		0	0	0	0	0		
Program Change (0-127)		32	40	48	0	1		
Program Change (1-128)		33	41	49	1	2		
MIDI Note#	Key Note	Alternate Off	Group	Jazz Kit	Brush Kit	Symphony Kit	SFX Kit1	SFX Kit2
13	C#1		3					
14	D-1		3					
15	D#-1							
16	E-1							
17	F-1		4					
18	F#-1		4					
19	G-1							
20	G#-1							
21	A-1							
22	A#-1							
23	B-1							
24	C0							
25	C#0							
26	D0	O						
27	D#0							
28	E0	O						
29	F0	O						
30	F#0							
31	G0			Snare Jazz H	Brush Slap 2			
32	G#0							
33	A0					Kick Soft 2		
34	A#0				Open Rim Shot Light			
35	B0					Gran Cassa		
36	C1			Kick Jazz	Kick Jazz	Gran Cassa Mute	Cutting Noise	Phone Call
37	C#1			Side Stick Light	Side Stick Light		Cutting Noise 2	Door Squeak
38	D1			Snare Jazz L	Brush Slap 3	Band Snare		Door Slam
39	D#1						String Slap	Scratch Cut
40	E1			Snare Jazz M	Brush Tap 2	Band Snare 2		Scratch H 3
41	F1				Tom Brush 1			Wind Chime
42	F#1		1					Telephone Ring 2
43	G1				Tom Brush 2			
44	G#1		1					
45	A1				Tom Brush 3			
46	A#1		1					
47	B1				Tom Brush 4			
48	C2				Tom Brush 5			
49	C#2					Hand Cymbal		
50	D2				Tom Brush 6			
51	D#2					Hand Cymbal Short		
52	E2						Flute Key Click	Car Engine Ignition
53	F2							Car Tires Squeal
54	F#2							Car Passing
55	G2							Car Crash
56	G#2							Siren
57	A2					Hand Cymbal 2		Train
58	A#2							Jet Plane
59	B2					Hand Cymbal 2 Short		Starship
60	C3							Burst
61	C#3							Roller Coaster
62	D3							Submarine
63	D#3							
64	E3							
65	F3							
66	F#3							
67	G3							
68	G#3						Shower	Laugh
69	A3						Thunder	Scream
70	A#3						Wind	Punch
71	B3	O					Stream	Heart Beat
72	C4	O					Bubble	Foot Steps
73	C#4						Feed	
74	D4	O						
75	D#4							
76	E4							
77	F4							
78	F#4							
79	G4							
80	G#4		2					
81	A4		2					
82	A#4							
83	B4							
84	C5						Dog	Machine Gun
85	C#5						Horse	Laser Gun
86	D5						Bird Tweet 2	Explosion
87	D#5							Firework
88	E5							
89	F5							
90	F#5						Ghost	
91	G5						Maou	

# メッセージ一覧

メッセージ	内容
<b>Access error</b> アクセス エラー	<p>「操作に失敗しました」</p> <p>以下の原因が考えられます。以下に該当しない場合は、操作しようとしているファイルが壊れていることが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルの操作方法が間違っています。「ソングファイルを操作する」(41ページ)や「データのバックアップ/読み込み」(74ページ)で操作方法をご確認ください。</li> <li>• 接続中のUSB記憶装置は、この楽器では使用できません。使用できるUSB記憶装置については、51ページをご確認ください。</li> <li>• 操作しようとしているプロテクトのかかったソングに不備があります。</li> </ul>
<b>Canceled</b> キャンセルド	<p>「操作をキャンセルしました」</p> <p>操作をキャンセルしたことを知らせています。</p>
<b>Cannot be executed</b> キャンノット ビー エクセキューテッド	<p>「操作を実行できません」</p> <p>以下の原因が考えられます。原因を解決してから、操作し直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オーディオソングでは、できない操作です。操作の制限は、41、54ページで確認してください。</li> <li>• 内蔵曲やフォルダーではできないファイル操作です。操作の制限は、41ページをご確認ください。</li> <li>• ドライブ、空のソング(34ページ)、およびNoSongでは、ソングファイルの操作はできません。NoSong: 選択したドライブにソングがない場合に表示されます。</li> </ul>
<b>Completed</b> コンプリーテッド	<p>「操作を完了しました」</p> <p>操作の完了を知らせています。「Executing (エクセキューティング)」メッセージに続いて表示されます。このメッセージが表示されたあと、次の操作へ進めます。</p>
<b>Convert to?-&gt;</b> コンバート トゥー?	<p>「MIDI→オーディオソングの変換先を選んでください」</p> <p>「MIDIソングを再生しながらオーディオソングに変換する」(47ページ)の手順に従ってください。</p>
<b>Copy to?-&gt;</b> コピー トゥー?	<p>「ソングのコピー先を選んでください」</p> <p>「ソングをコピーする」(44ページ)の手順に従ってください。</p>
<b>Device (media) busy</b> デバイス (メディア) ビジー	<p>「オーディオソングへの変換や、オーディオソングの再生/録音に失敗しました」</p> <p>録音や削除を繰り返し行なったUSB記憶装置をお使いの場合に、表示されます。USB記憶装置に必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットし(46ページ)、操作をし直してください。</p>
<b>Device (media) removed</b> デバイス (メディア) リムーブド	<p>「USB記憶装置が楽器本体から外されました」</p> <p>USB記憶装置が外されたことを知らせています。</p>
<b>Duplicate name</b> デュプリケート ネーム	<p>「ファイル(フォルダー)名が重複しています」</p> <p>ソングファイルの操作時(41ページ)、同名のファイルが存在することを知らせています。ファイル名を変更するなどしてください。</p>
<b>Execute?-&gt;</b> エクセキュート?	<p>「操作を実行しますか?」</p> <p>操作を実行するか確認しています。実行する場合はB [+ (YES)]ボタンを、実行しない場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。</p>
<b>Executing</b> エクセキューティング	<p>「操作を実行しています」</p> <p>操作を実行していますので、このメッセージが表示されている間はほかの操作ができません。しばらくお待ちください。</p>
<b>Factory set executing</b> <b>Memory Song excluded</b> ファクトリーセット エクセキューティング メモリー ソング エクスクルーテッド	<p>「楽器の設定を、初期設定に戻しています(74ページ)。MEMORYドライブのソングは消去されません」</p> <p>初期設定に戻していることを知らせています。MEMORYドライブのソングは消去されません。</p>
<b>Factory set executing</b> <b>Memory Song included</b> ファクトリーセット エクセキューティング メモリー ソング インクルーテッド	<p>「楽器の設定を、初期設定に戻しています(74ページ)。MEMORYドライブのソングも消去されます」</p> <p>初期設定に戻していることを知らせています。MEMORYドライブのソングも消去されます。</p>
<b>FactorySet Completed</b> <b>Restart</b> ファクトリーセット コンプリーテッド リスタート	<p>「この楽器の設定を、初期設定に戻しました」</p> <p>このメッセージのあと、楽器は再起動されます。</p>
<b>Files still in folder</b> ファイルズ スティル イン フォルダー	<p>「削除しようとしているフォルダーの中にファイルが存在します」</p> <p>フォルダーは空の場合にのみ削除できます。フォルダーの中のファイルを削除してから、フォルダーを削除してください。</p>

メッセージ	内容
<b>FullBackup Completed Restart</b> フルバックアップ コンプリート リスタート	「バックアップデータを、この楽器へ読み込みました」 このメッセージのあと、楽器は再起動されます。
<b>Incompatible device</b> インcompatible デバイス	「サポートされていないUSB記憶装置が接続されています」 動作確認済みのUSB記憶装置をお使いください(51ページ)。
<b>Internal hardware error</b> インターナル ハードウェア エラー	「この楽器に異常が発生しました」 巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。
<b>Last power off invalid Checking memory</b> ラスト パワー オフ インバリッド チェック メモリー	「前回、不正に電源を切ったため、楽器の内部をチェックしています」 ソングファイルの操作時(41ページ)や、データのバックアップ中(74ページ)に電源を切り、もう一度電源を入れた場合に表示されます。内部をチェックした結果、楽器の設定が破損している場合は、初期設定に戻ります。MEMORYドライブの曲(ソング)が破損している場合は、削除されます。
<b>Maximum no. of devices exceeded</b> マキシム ナンバー オブ デバイスズ エクシーデッド	「接続したUSB記憶装置の数が、この楽器での制限を超えました」 同時に使用できるUSB記憶装置は、2台までです。詳しくは、51ページを参照してください。
<b>Memory full</b> メモリー フル	「操作/録音先の容量やファイル数がいっぱいです」 MEMORYドライブ/USB記憶装置の容量やファイル数がいっぱい、操作/録音ができません。 MEMORYドライブ/USB記憶装置の曲(ソング)を削除するか、別のUSB記憶装置に移動してから(45ページ)、改めて操作/録音してください。
<b>Move to?-&gt;</b> ムーブ トゥー?	「ソングの移動先を選んでください」 「ソングを移動する」(45ページ)の手順に従ってください。
<b>Name?-&gt;</b> ネーム?	「表示されているソング/フォルダー名を変更しますか?」 変更する場合は、「ソング名を変更する」(43ページ)や「USB記憶装置にフォルダーを作る」(45ページ)の手順に従ってください。変更しない場合は、B [- (NO)]ボタンを押してください。
<b>No device</b> ノー デバイス	「操作に必要なUSB記憶装置が接続されていません」 接続し、操作をし直してください。
<b>No device (media)</b> ノー デバイス (メディア)	「選択したUSB記憶装置に、メディアが挿入されていません」 メディアを挿入してください。
<b>No file</b> ノー ファイル	「バックアップデータ用のファイルがありません」 接続したUSB記憶装置にバックアップ用のファイルがありません。
<b>No response from USB device</b> ノー レスポンス フロム ユーエスピー デバイス	「接続したUSB機器と通信できません」 USB機器を接続し直してください(51ページ)。正しく接続してもこのメッセージが表示される場合は、USB機器が壊れている可能性があります。
<b>Notice: Protected Song</b> ノーティス: プロテクトド ソング	「プロテクトがかかったソングを操作しようとしています。実行しますか?」 プロテクトがかかったソングの操作制限は、41ページを参照してください。
<b>Overwrite?-&gt;</b> オーバーライト?	「同名のファイルが存在します。上書きしますか?」 上書きする場合はB [+ (YES)]ボタンを、上書きしない場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。
<b>Please wait</b> プリーズ ウェイト	「お待ちください」 データを処置していますので、このメッセージが表示されている間はほかの操作ができません。しばらくお待ちください。
<b>Protected device (media)</b> プロテクトド デバイス (メディア)	「書き込みできないUSB記憶装置です」 ライトプロテクト機能の付いたUSB記憶装置に、ファイル操作(41ページ)、録音、保存などをしようとしています。USB記憶装置を書き込み可にして操作し直してください。書き込みを可にしてもこのメッセージが表示される場合は、USB記憶装置に内部的なプロテクトがかかっている可能性があります。その場合は、書き込みできません。
<b>Protected Song</b> プロテクトド ソング	「プロテクトがかかったソング、または読み取り専用のファイルです」 プロテクトがかかったソングは、ファイル操作に制限があります(41ページ)。また、録音の編集には使えません。 読み取り専用のファイルは、コンピューターで読み取り専用を解除してからお使いください。

メッセージ	内容
<b>Remaining space on drive is low</b> リメイニング スペース オン ドライブ イズ ロー	「MEMORYドライブ/USB記憶装置の残り容量が少なくなりました」 MEMORYドライブ/USB記憶装置内の不要なファイルを削除(43ページ)してから、録音を始めてください。
<b>Selected drive?-&gt;</b> セレクトッド ドライブ?	「表示されているUSB記憶装置でよいですか？」 よい場合はB [+ (YES)]ボタンを、よくない場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。
<b>Set?-&gt;</b> セット?	「設定を記憶させますか？」 各種操作の設定を記憶させるか確認しています。記憶させる場合はB [+ (YES)]ボタンを、記憶させない場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。
<b>Song error</b> ソング エラー	「曲(ソング)データに不具合が発見されました」 ソングの選択時や再生中に、ソングデータに不具合が発見されたことを知らせています。もう一度ソングを選択し、再生してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、ソングデータが壊れている可能性があります。
<b>Song too large</b> ソング トゥー ラージ	「ソング(MIDI/オーディオ)データのサイズが制限を超えています」 以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>再生しようと選択したソングのサイズが制限を超えています。サイズの制限は、MIDI: 約550KB、オーディオ: 80分までです。</li> <li>録音中に、ソングのサイズが制限を超えました。サイズの制限は、MIDI: 約550KB、オーディオ: 80分までです。そこで自動的に録音を終了されます。そこまでに録音したデータは保存されます。</li> <li>MIDI→オーディオソングの変換中に、ソングのサイズが制限を超えました。</li> </ul>
<b>Start?-&gt;</b> スタート?	「操作を開始しますか？」 操作を開始するか確認しています。開始する場合はB [+ (YES)]ボタンを、開始しない場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。
<b>Sure?-&gt;</b> シュアー?	「よいですか？」 実行前の最後の確認です。よい場合はB [+ (YES)]ボタンを、よくない場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。
<b>System limit</b> システム リミット	「ファイル数が、保存できる数の制限を超えました」 MEMORYドライブ/USB記憶装置に保存できるファイル数は、1フォルダーに、ファイルとフォルダーを併せて250までです。その制限を超えて保存しようとしたため、表示されました。不要なファイルを削除/移動して、保存し直してください。
<b>Unformatted device (media)</b> アンフォーマットド デバイス (メディア)	「フォーマットされていないUSB記憶装置です」 フォーマットされていないUSB記憶装置を使うようとしたため、表示されました。フォーマット(46ページ)してから操作してください。
<b>Unsupported device</b> アンサポータード デバイス	「サポートされていないUSB記憶装置が接続されています」 動作確認済みのUSB記憶装置をお使いください(51ページ)。
<b>USB device overcurrent error</b> ユーエスピー デバイス オーバーカレント エラー	「USB機器に過電流が流れたため、USB機器との通信を停止しました」 USB機器を[USB TO DEVICE]端子から抜き、楽器の電源を入れ直してください。
<b>USB hub hierarchical error</b> ユーエスピー ハブ ヒエラルキカル エラー	「USBハブが2階層以上になって接続されました」 USBハブを2階層で接続することはできません。
<b>USB power consumption exceeded</b> ユーエスピー パワー コンサンプション エクシーテッド	「接続したUSB機器の消費電力が規定値を越えました」 バスパワーのUSBハブを使用した場合に表示されます。電源付き(セルフパワー)のUSBハブを、電源を入れてお使いください。
<b>Wrong device</b> ロング デバイス	「選択したUSB記憶装置へは、ファイル操作できません」 以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマットされていないUSB記憶装置です。フォーマット(46ページ)してから操作してください。</li> <li>ファイル数が保存できる数の制限を超えました。MEMORYドライブ/USB記憶装置に保存できるファイル数は、1フォルダーに、ファイルとフォルダーを併せて250までです。その制限を超えて保存しようとしたため、表示されました。不要なファイルを削除/移動してから、保存してください。</li> <li>メディアが挿入されていません。メディアを挿入してください。</li> </ul>

メッセージ	内容
<b>Wrong name</b> ロング ネーム	<b>「曲(ソング)名が不適切です」</b> ソング名の変更(43ページ)やフォルダー作成(45ページ)の際、以下の原因で表示されます。B [-(NO)]ボタンで1つ前の画面に戻り、名前を付け直してください。 ・ 入力文字がありません。 ・ ソング名の先頭/後尾にピリオドやスペースが入っています。
<b>Wrong selection</b> ロング セレクション	<b>「選択したドライブへはできないファイル操作です」</b> ソングファイルの操作制限は、41ページで確認してください。

# 困ったときは

画面にメッセージが表示された場合は、メッセージ一覧(84ページ)をご参照ください。

現象	原因と解決法
電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません。電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(12ページ)。
電源スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
クラビノーバから雑音が出る。	クラビノーバの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。クラビノーバの近くに携帯電話を置かないでください。
全体的に音が小さい。または、まったく音が出ない。	音量(マスターボリューム)が下がっています。[MASTER VOLUME]ダイヤルで音量を上げてください(14ページ)。 手弾き音の音量が下がっています。[SONG BALANCE]スライダーを「KEYBOARD」(キーボード)の方向へ動かしてください(40ページ)。 スピーカーの設定が「Normal (HeadphoneSW)」で(71ページ)、ヘッドフォンを接続しているとスピーカーからは音が出ません。ヘッドフォンのプラグを抜いてください。 スピーカーの設定が「Off」になっています。スピーカーの設定を「Normal (HeadphoneSW)」または「On」にしてください(71ページ)。 ローカルコントロールが「Off」になっています。ローカルコントロールを「On」にしてください(72ページ)。 右ペダルまたはAUXペダルの機能が「Expression」に設定されています。ペダルの機能を「Expression」以外に設定してください(65、66ページ)。
ヘッドフォンを[PHONES]端子に差ししてもスピーカーから音が出る。	スピーカーの設定が「On」になっています。スピーカーの設定を「Normal (HeadphoneSW)」にしてください(71ページ)。
スピーカーまたはヘッドフォンの音質や音量感が変わった。	本体のスピーカーまたはヘッドフォンから出力される音の音質は、AUX OUT端子への外部機器の接続状況に応じて適切な設定になるように自動的に切り替わります。50ページの表で確認してください。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[PEDAL]端子にしっかり差し込まれていません。本体の電源を切った状態で、ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に確実に差し込んでください。その際、プラグの金属部分が見えなくなるまで、しっかり差し込んでください(91ページ)。
[AUX PEDAL]端子に接続したペダルのON/OFF (強/弱)が逆になる	接続するペダルの種類によって、ON/OFFや強/弱の動作が逆になる場合があります。[FUNCTION]の「AuxPedalType」(70ページ)で、設定を切り替えてください。
鍵盤で弾く音がソングの再生音に比べて小さい。	手弾き音の音量が下がっています。[SONG BALANCE]スライダーを「KEYBOARD」(キーボード)の方向へ動かしてください。
ボタンを押しても動作しない。	ほかの機能の動作中にはできない操作がいくつかあります。ソングの再生中はソングの再生を止めて、その他の場合は[EXIT]ボタンを押して音色表示(基本画面)に戻ってから操作してください。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。異常ではありません。
トランスポーズやオクターブを設定したときに、高い方や低い方の音がおかしい。	トランスポーズやオクターブを設定したときに、発音できる音域はC-2~G8です。C-2より低くなる音は1オクターブ上の音で、G8より高くなる音は1オクターブ下の音で鳴ります。
デュアル/スプリットで録音したはずの音が録音されていない。または思わぬパートのデータが消えてしまった。	曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されません。また、デュアルの第2音色/スプリットの左側の音色の録音パートは自動的に決められます(40ページ)。したがって、それらのパートに既存のデータがあった場合は、上書きされて消えてしまいます。
ソング名表示がおかしい。	名前を付けたときと異なる「CharacterCode」が設定されていたり、ほかの楽器で録音した曲の場合は、正しく表示されないことがあります。[FILE/SONG SETTING]の「CharacterCode」(48ページ)で、設定を切り替えてください。ただし、ほかの楽器で録音した曲の場合は、「CharacterCode」を切り替えても正しく表示されないことがあります。

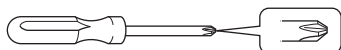


# クラビノーバを組み立てる

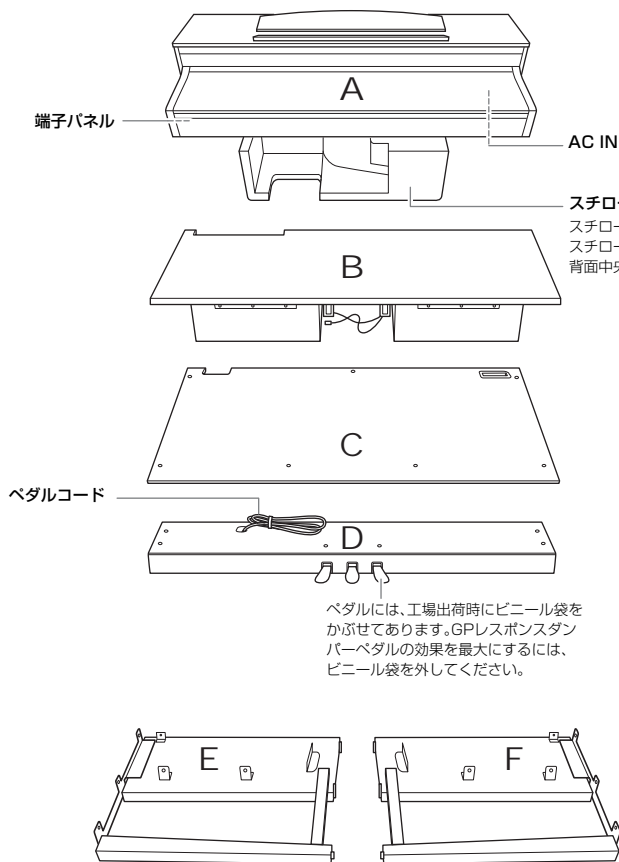
## ⚠ 注意

- 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- 組み立ては、硬くて平らな場所で行なってください。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

ネジのサイズに合ったプラス(+)<sup>+</sup>のドライバーを用意してください。



すべての部品を取り出し、部品がそろっているか確かめてください。



長いネジ(6×20mm)×4



先のとがったネジ(4×20mm)×4



短いネジ(6×16mm)×6



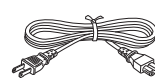
コードホルダー×2



細いネジ(4×14mm)×9



電源コード



細いネジ(4×10mm)×2



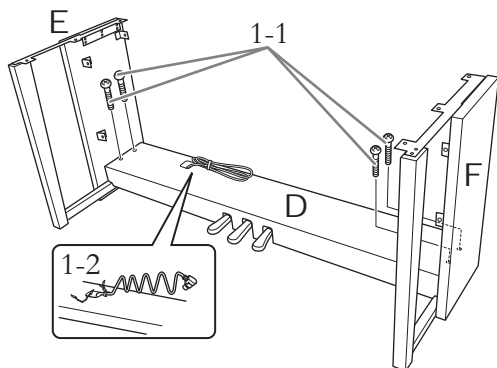
ヘッドフォンハンガー



## 1. EとFをDに固定する。

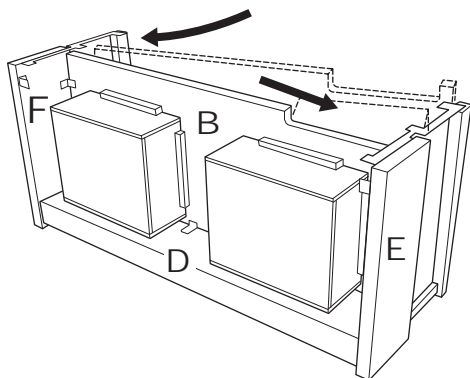
1-1 長いネジ(6×20mm) 4本で固定する。

1-2 ペダルコードを束ねているビニールひもをほどく。  
穴のところで留めてあるものはほどかない。外したビニールひもは、手順6で使用する。



## 2. Bを固定する。

2-1 Bを図のようにEとFのあいだに入れる。



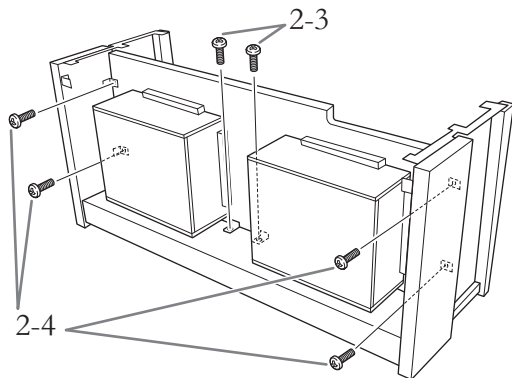
2-2 BをD/E/Fの前側に合わせてはめ込む。

2-3 細いネジ(4×14mm) 2本で固定する。

\*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(2か所とも)。

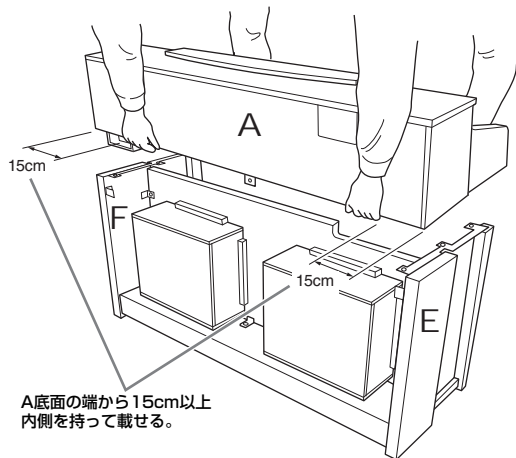
2-4 細いネジ(4×14mm) 4本で仮留めする。

\*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(4か所とも)。



## 3. Aを載せる。

A底面のネジ穴とE、Fのネジ穴の位置を合わせて、Aを載せる。



A底面の端から15cm以上内側を持って載せる。

### ⚠ 注意

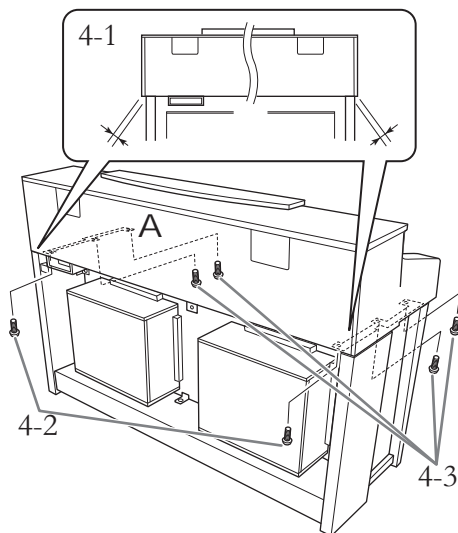
- 指をはさんだり、本体を落としたりしないよう、十分ご注意ください。
- 指定した位置以外を持たないでください。

## 4 Aを固定する。

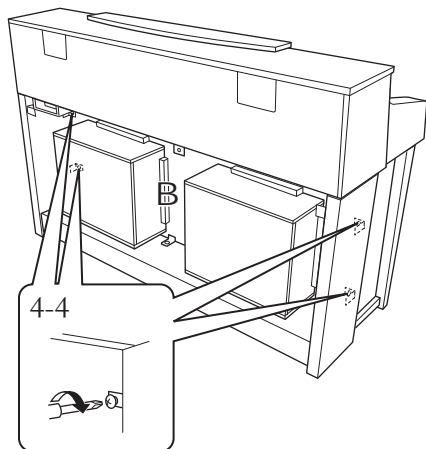
4-1 背面から見て、Aの張り出し部分が左右均等になるように調整する。

4-2 背面から、短いネジ(6×16mm) 2本で固定する。

4-3 前面から、短いネジ(6×16mm) 4本で固定する。

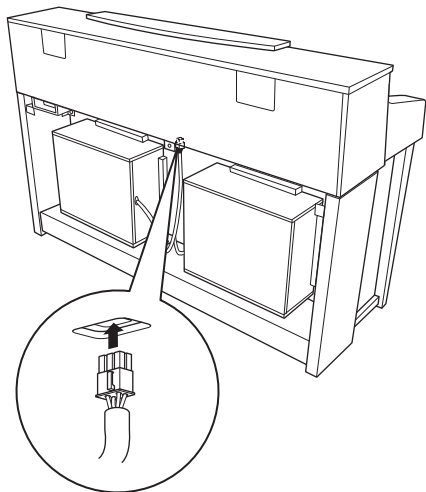


- 4-4 Bを仮留めしたネジ(手順2-4)を上側→下側の順にきつく締め直す。



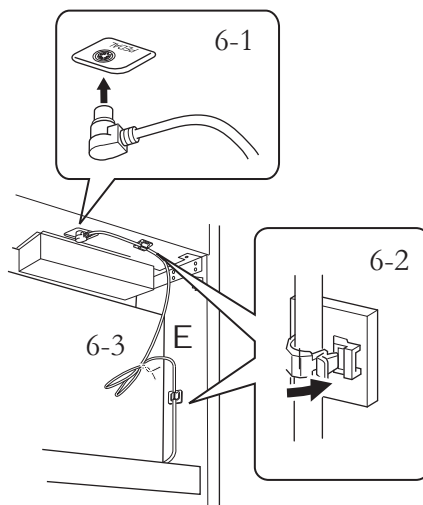
## 5. スピーカーコードを接続する。

- 5-1 スピーカーコードをほどく。  
5-2 スピーカーコードのプラグを、つめが背面から見て手前にくる向きで、端子に差し込む。

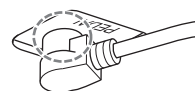


## 6. ペダルコードを接続する。

- 6-1 ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に差し込む。  
6-2 コードホルダーを貼り付け、ペダルコードを固定する。このとき、プラグとコードホルダーの間でペダルコードがたるまないように注意する。  
6-3 ペダルコードを、ビニールひもで束ねる。

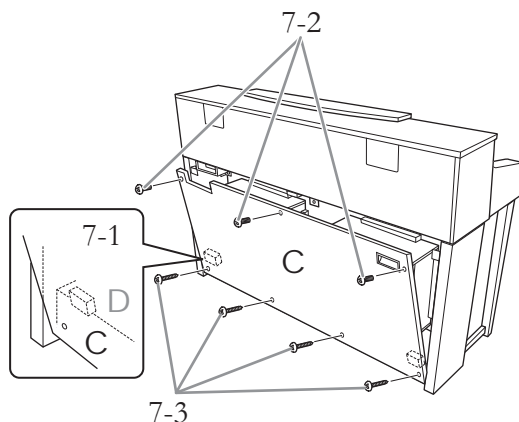


プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。



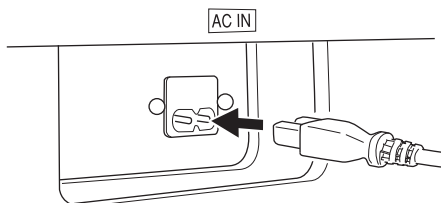
## 7. Cを固定する。

- 7-1 Cの下側にある留め木をDにのせてから、上側をはめる。  
7-2 上側の左右と中央を、細いネジ(4×14mm) 3本で固定する。  
7-3 下側を、先のとがったネジ(4×20mm) 4本で固定する。



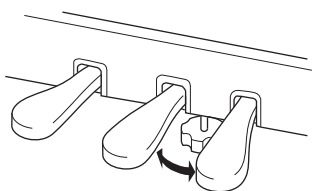
## 8. 電源コードを接続する。

電源コードのプラグを差し込む。



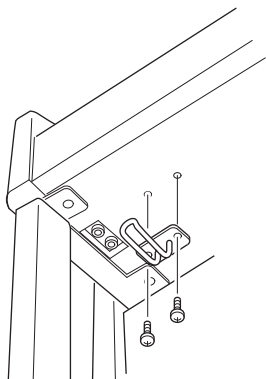
## 9. アジャスターを回す。

アジャスターを回して、床にぴったりつける。



## 10. ヘッドフォンハンガーを固定する。

付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付ける。

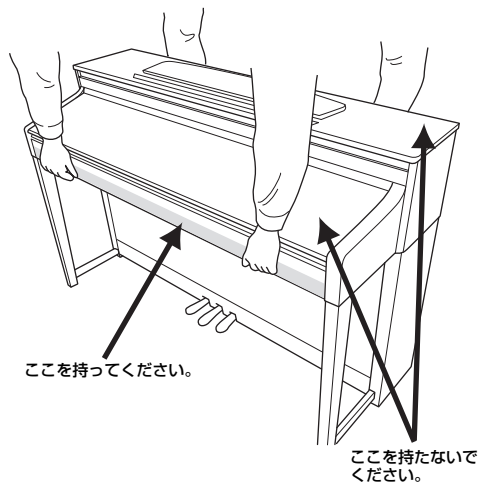


組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか？  
→ 組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどがクラビノーバにあたりませんか？  
→ クラビノーバを移動してください。
- クラビノーバがぐらぐらしませんか？  
→ ネジを確実に締めてください。
- ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか？  
→ アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- スピーカーコード、ペダルコード、および電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？  
→ 確認してください。
- 使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

### ⚠ 注意

- 組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面と裏板の取っ手を持ってください。
- キーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



クラビノーバを設置したときや移動したあとは、GPサウンドボードスピーカー (15ページ)の効果を最適にするために、本体の背面を壁から1~2cm離れたところへ設置してください。

# 仕様

サイズ/質量	幅 [つや出し仕上げのモデルの場合]		1420mm [1424mm]
	高さ [つや出し仕上げのモデルの場合]		940mm [943mm]
	高さ(譜面立てを立てた場合) [つや出し仕上げのモデルの場合]		1108mm [1109mm]
	奥行き [つや出し仕上げのモデルの場合]		513mm [513mm]
	質量 [つや出し仕上げのモデルの場合]		87.5kg [91.0kg]
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	ナチュラルウッド(NW) 鍵盤象牙調仕上げ(白鍵に木材を使用)
		リニアグレードハンマー	○
		タッチ感度	○
	ペダル	ペダル数	3 (ダンパー、ソステヌート、ソフト)
		ハーフペダル	○ (ダンパーペダル)
		GPレスポンスダンパーペダル	○
	ディスプレイ	タイプ	LCD (24文字 X 2行)
		バックライト	○
		コントラスト	○
言語		英語・カナ	
パネル	言語	英語	
本体	鍵盤蓋		スライド式キーカバー
	譜面立て		○
	譜面止め		○
音源/音色	音源	音源方式	リアルグランドエクスプレッション(RGE)
		スムーズリリース	○
	ピアノ音源の効果	サステインサンプリング	○
		キーオフサンプリング	○
		ストリングレゾナンス	○
	発音数	最大同時発音数	256
	プリセット	音色数	40、XG音色: 480+12ドラムキット
	音源フォーマット	XG	○
GS		○	
GM		○	
GM2		○	
効果	タイプ	リバーブ	5
		コーラス	3
		プリリアンス	7
		DSP	12
		その他	インテリジェント アコースティック コントロール、 GPサウンドボードスピーカー
	ファンクション	デュアル	○
		スプリット	○

録音/再生 (MIDIソング)	録音	曲数	250(最大)
		トラック数	16
		データ容量	約1.5MB (最大) <約550KB/曲(最大)>
	再生	データ容量	約550KB/曲(最大)
	フォーマット	録音	SMF (フォーマット0)
再生		SMF (フォーマット0、フォーマット1)、 ESEQ (ピアノプレーヤ用ソングのみ)	
内蔵曲 (プリセットソング)	曲数	ピアノソング50曲	
録音/再生 (オーディオソング)	時間	80分/曲(最長)	
	フォーマット	.wav (サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo)	
ファンクション	デモ	音色デモ: 16	
	全体設定	メトロノーム	○
		テンポ	○
		トランスポーズ	○
		チューニング	○
		スケール(音律)	7タイプ
メモリー/ 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.5MB
		外付けドライブ(USB記憶装置)	別売
	接続端子	ヘッドフォン	ヘッドフォン端子×2
		MIDI	[IN][OUT][THRU]
		AUX IN	[L/L+R][R]
		AUX OUT	[L/L+R][R]
		[AUX PEDAL]	○
		[USB TO DEVICE]	○
USB [TO HOST]	○		
アンプ/ スピーカー	アンプ出力	(30W + 30W + 20W + 20W) × 2	
	スピーカー	(16cm + 8cm + 2.5cm) × 2 + 8cm × 2	
	トライ・アンプシステム	○	
電源	定格電源	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	80W	
付属品	同梱品	保証書、取扱説明書(本書)、ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)、 ヘッドフォン、電源コード、高低自在イス、ユーザー登録のご案内	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 別売品のご紹介

ヘッドフォン HPE-160



# 別売ミュージックデータ紹介

## ミュージックデータのご使用にあたって

ミュージックデータをご使用の際は、下記のサイトで案内している動作確認済みのUSB記憶装置をお使いください。  
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/usb/>

## Mumaソフト

Muma (ミューマ)とは、ミュージックデータの自動販売システムです。およそ楽器データ28,000タイトル、112,000曲、電子楽譜13,000曲(2010年10月現在)を超えるリストからお好きなミュージックデータを選び、その場でUSBフラッシュメモリーに収録できます。

\*USBフラッシュメモリーはご持参ください。

Muma設置店はヤマハミュージックメディアホームページにてご確認ください。  
<http://www.ymm.co.jp/muma/>

Mumaで購入できるミュージックデータには、「月刊Piano」掲載楽譜対応データや「スタンダードMIDIファイル」などがあります。

### 「月刊Piano」掲載楽譜対応データ

「月刊Piano」掲載曲(一部)に対応したデータです。リスニング用として、また練習時の参考としてお聞きいただくのはもちろん、バックバンドに合わせて練習や演奏をお楽しみいただけます。PSPとSMF/XGの2種類のデータタイプが用意されていますが、CLP-480でお使いになる場合は、SMF/XGのデータをお求めください。

### 「スタンダードMIDIファイル(SMF/XG)」

XG音源の豊富な音色、表現力を使って制作されたミュージックデータです。邦楽ポップスから洋楽ポップス、イージーリスニングなど幅広いジャンルからラインアップされています。

上記でご紹介したミュージックデータは2010年10月現在のものです。

上記およびそのほかのMumaミュージックデータについて詳しくは、ヤマハミュージックメディアホームページのMumaソフトカタログをご覧ください。



## 音楽データショップ

ミュージックデータを、インターネットで購入できるサービスです。下記のURLからアクセスしてください。  
<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

**NOTE** Mumaと音楽データショップで購入できるミュージックデータは、異なります。

ヤマハのミュージックデータのほかに、6ページで説明したフォーマットに該当する、市販の多くのソフトがご利用いただけます。

# 索引

## A

ABリピート..... 32

## D

DriveProperty (ドライブプロパティ)..... 47

## G

GPサウンドボードスピーカー..... 15

GPレスポンスダンパーペダル..... 16

## I

I. A. コントロール..... 14

## M

MEMORY (メモリー)..... 28, 41

MIDItoAUDIO (ミディトゥー オーディオ)..... 47

MIDI設定→その他の詳細設定..... 56

MIDIソング..... 27

MIDI入門..... 7

## P

PDFマニュアル..... 7

PianoDemo (ピアノデモ)..... 22

PRESET (プリセット)..... 28, 41

## R

Rename (リネーム)..... 43

## S

SongAutoOpen (ソング オート オープン)..... 48

## U

USB AUDIO (USBオーディオ)..... 28, 41

USB1..... 28, 41

USB記憶装置..... 51

## V

VoiceDemo (ボイス デモ)..... 22

## い

一時停止..... 28

移調..... 68

移動..... 45

インテリジェント アコースティック コントロール .... 14

## え

エフェクト→音に効果をかける..... 23

## お

オーディオソング..... 27

オーディオ変換..... 47

お手入れ..... 19

音色..... 20

音色(デュアル)..... 24

音律(調律法)..... 69

音量(デュアル/スプリット)..... 61

音量(マスターボリューム)..... 14

音量(メトロノーム)..... 60

## か

画面→メッセージ..... 84

画面の明るさの調整..... 14

## き

キーオフ音(キーオフサンプリング)..... 71, 77

キーカバー..... 12

キー(調)..... 68

基音..... 69

キャラクターコード..... 48

## く

組み立て..... 89

繰り返し再生..... 32

## こ

コーラス..... 23

工場出荷時の状態..... 74

コピー..... 44

困ったときは..... 88

コントラスト..... 14

コンピューター..... 52

## さ

削除(ソング)..... 43

サステインサンプリング..... 71, 77

## し

初期化→初期設定に戻す(本体)..... 74

初期化(USB記憶装置)..... 46

初期設定とは..... 74

シンクロスタート..... 30



## す

スケール→音律.....	69
ストリングレゾナンス.....	70, 77
スピーカーのOn/Off切り替え.....	71
スプリット.....	25

## そ

ソング.....	27
ソングの種類.....	41

## た

タッチ感度.....	68
端子.....	49
ダンパーレゾナンス.....	63

## ち

チューニング→チューン(音の高さの微調整).....	69
調→キー.....	68
調律(音の高さ).....	69
調律法(音律).....	69

## て

データの互換性→フォーマット.....	94
データリスト.....	7
デモ曲.....	21
デュアル.....	24
電源.....	12
テンポ(ソング再生).....	29
テンポ(メトロノーム).....	17

## と

ドライブ.....	28
トランスポーズ.....	68

## な

内蔵曲→プリセットソング.....	41
-------------------	----

## は

パート(再生).....	31
パート(録音).....	34
ハーフペダル.....	16
バックアップオン/オフの設定.....	73
バックアップデータの保存/読み込み.....	74
早送り.....	29

## ひ

拍子.....	60
表示→メッセージ.....	84

## ふ

ファイル操作.....	41
ファクトリーセット.....	74
ファンクション.....	68
フォーマット(初期化).....	46
付属品.....	7
ふた→キーカバー.....	12
譜面立て.....	13
譜面止め.....	14
プリセット.....	28, 41
プリセットソング→内蔵曲.....	41
プリリアンス.....	23

## へ

ペダル.....	16, 70
ヘッドフォン.....	15
ヘッドフォンハンガー.....	15
変換→オーディオ変換.....	47

## ほ

ボイス→音色.....	20
ボリューム(デュアル/スプリット).....	61
ボリューム(メトロノーム).....	60
ボリューム→音量(マスターボリューム).....	14

## ま

巻き戻し.....	29
-----------	----

## め

メッセージ一覧.....	84
メトロノーム.....	17
メモリー.....	28, 41

## も

文字種→キャラクターコード.....	48
--------------------	----

## り

リセット→設定値を元に戻す.....	18
リバーブ.....	23
リピート→繰り返し(ABリピート/1曲).....	32
リピート→ソングリピート.....	57
リピート→ソングリピート(フォルダー単位).....	32

## れ

連続再生.....	57
-----------	----

## ろ

録音.....	33
録音データ.....	39

×E

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げ日から本体は1年間、ヘッドフォンは6カ月です。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の例  
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、  
リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ■修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通番号)  **0570-012-808**  
市内通話料でOK  
ナビダイヤル® ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金をご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、  
土曜日 9:00～17:00  
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 053-463-1127

### ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45  
(祝日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

#### 北海道サービスステーション

〒064-8543

札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

#### 首都圏サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

#### 名古屋サービスセンター

〒454-0058

名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX 052-652-0043

#### 大阪サービスセンター

〒564-0052

吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX 06-6330-5535

#### 九州サービスステーション

〒812-8508

福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

\*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

● クラビノーバの機能や取り扱いについては、ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

## お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-006-808**

携帯電話、PHS、IP 電話からは 053-460-5272

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00

土曜日 10:00～17:00

( 祝日およびセンター指定休日を除く )

<http://jp.yamaha.com/support/>

### ピアノ / キーボードのホームページ

<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/>

### ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

### あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイー klub

<http://www.music-eclub.com/>

## ヤマハ株式会社

デジタル楽器事業部 マーケティング部 CL・PK グループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

\* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

U.R.G., Digital Musical Instruments Division

© 2011 Yamaha Corporation

WV81540

103MWAP\*.\*-\*\*B1